（１９）保健・福祉施設

１）施設概要

①　施設一覧

本市では、市民の健康と福祉を増進する施設として、保健・福祉施設を６施設保有しています。

設置目的：市民の健康の増進、地域福祉活動の推進及び文化教養の向上を図り、もって市民福祉の向上に寄与することを目的とする。

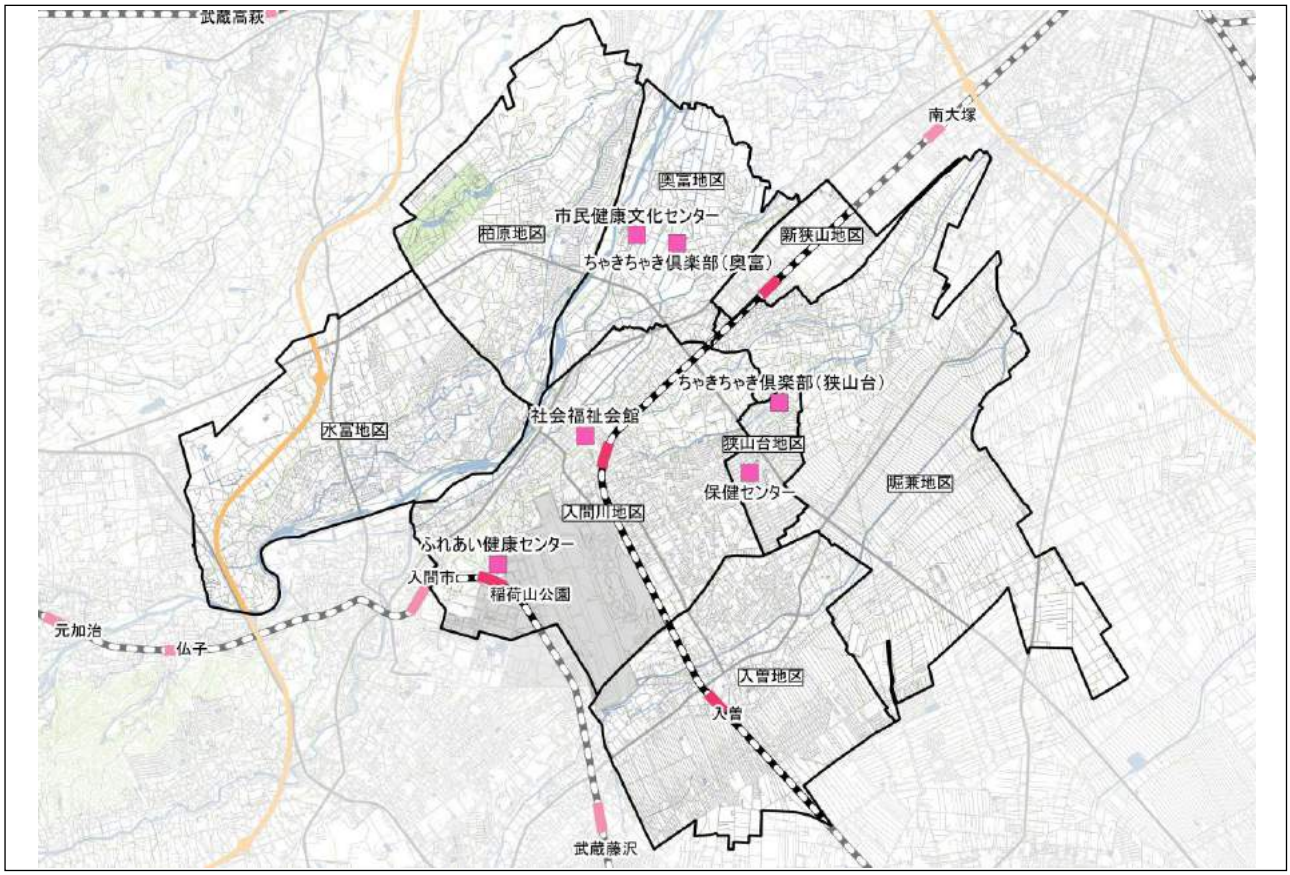
図表　施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積（㎡）	建築年度（年度）	構造（主たる建物）	複合施設	土地所有
入間川	1 社会福祉会館	入間川 2-4-13	1,168.00	昭和62	鉄筋コンクリート		市
狭山台	2 保健センター	狭山台 3-24	2,502.00	昭和58	鉄筋コンクリート		市
入間川	3 ふれあい健康センター（サピオ稲荷山）	稲荷山 1-12-3	4,391.64	平成9	鉄筋コンクリート	デイサービス稲荷山	市
奥富	4 市民健康文化センター（サンパーク奥富）	下奥富 2552-1	2,053.00	平成13	鉄筋コンクリート		一部所有
奥富	5 ちゃきちゃき倶楽部（奥富）	下奥富 1100	255.94	昭和51	鉄筋コンクリート	奥富地区センター分室ほか	市
狭山台	6 ちゃきちゃき倶楽部（狭山台）	狭山台 1-21	220.36	昭和49	鉄筋コンクリート	狭山元気プラザ（さやま市民大学）ほか	市
合計			10,590.94				

※　　：築 30 年以上施設

②　配置状況

図表　保健・福祉施設位置図



③　開館日・開館時間

施設名	休館日	開館時間
社会福祉会館	毎月第 4 日曜日、祝日、年末年始（12 月 28 日～1 月４日）	午前９時～午後 10 時
保健センター	日曜日及び土曜日、祝日、年末年始（12 月 29 日～1 月３日）	午前８時 30 分～午後５時 15 分
ふれあい健康センター（サピオ稲荷山）	毎月第１月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)、年末年始（12 月 30 日～1 月２日）	午前９時～午後 10 時（一部施設は午前 10 時から）
市民健康文化センター（サンパーク奥富）	毎週月曜日（祝日の場合は翌日)、年末年始(12 月 29 日～1 月３日）	午前９時～午後９時（一部施設は午前 10 時から）

施設名	開催日	開催時間
ちゃきちゃき倶楽部（奥富・狭山台）	月曜日・木曜日　または 火曜日・金曜日	午前 10 時から午前 12 時 午後２時から午後４時

④事業内容

社会福祉会館は、市民の皆さんが地域福祉活動のために利用できる場として会議室等の貸出を行っています。

保健センターでは、健康相談及び健康教育、保健指導及び栄養指導、健康診査、予防接種、機能訓練に関することなどを行っています。

狭山市ふれあい健康センター〝サピオ稲荷山〟は、温水プールを中心とする「市民の健康づくりとふれあいの場」として、また更に高齢化社会に対応する「在宅介護支援」を目的としたデイサービス事業を行う健康増進施設です。

市民健康文化センター〝サンパーク奥富〟は、施設の１階を講演会やスポーツ活動に利用できる多目的ホール、学習室などの「文化教養の場」、２階を歩行浴、展望浴、気泡浴のできる浴槽やジェットバスを備えた多目的浴室、大広間などの「健康増進とふれあいの場」としています。

ちゃきちゃき倶楽部は、介護が必要となるおそれの高い二次予防事業の対象者が通所する施設で、対象者一人ひとりに合わせた運動などのプログラムを行い、介護が必要になる状態を予防する介護予防事業を行っています。

⑤　予約方法・使用料金等

社会福祉会館の会議室等の利用は、施設へ直接申し込み。減免対象団体は、利用日の属する月の初日２ヶ月前、減免対象外の団体は１か月前より予約可。

【社会福祉会館】　（円）

施設の名称	定員（人）	面積	午前９時～午前12時30分	午前13時～午後５時	午後６時～午後10時
大会議室	60人	99.2㎡	1,500	1,700	2,000
第１会議室	24人	47.0㎡	700	800	900
第２会議室	30人	45.5㎡	700	800	900
研修室	24人	37.7㎡	500	600	700
和室	なし	27畳	1,200	1,300	1,500
調理室	なし	22.0㎡	300	400	500

【ふれあい健康センター（サピオ稲荷山）】

● 個人利用　狭山・所沢・飯能・入間市外の方は５割増　（円）

利用者区分	プール(2時間)	トレーニングルーム(2時間)	浴室、リラックスプール、大広間、談話室（4時間）
一般	400	200	500
65歳以上	200	100	250
小・中学生	200	利用できません	250

● 団体利用　狭山・所沢・飯能・入間市外の方は５割増

事前に団体登録が必要。申し込みは施設へ直接、または公共施設予約システムにより行う。（円）

施設名	午前９～午前12時	午後１～午後５時	午後６～午後10時	全日
レクリエーションルーム	1,500	2,000	2,000	5,000
会議室	1,000	1,200	1,200	3,000
研修室	1,300	1,800	1,800	4,400

【市民健康文化センター（サンパーク奥富）】

● 個人利用

浴室、多目的浴室、大広間、談話室

市内とは市内在住、在勤、在学の方、または所沢・飯能・入間市在住の方。

小学校就学前の幼児は無料。　（円）

利用区分	市内		市外	
	２時間まで	２時間を超え１時間まで増す毎に	２時間まで	２時間を超え１時間まで増す毎に
一般	300	150	450	220
65歳以上 小学生・中学生	150	70	220	110

● 団体利用

事前に施設へ直接申し込みが必要。

市内とは市内在住、在勤、在学の方、または所沢・飯能・入間市在住の方。

多目的ホール

舞台装置、音響装置、照明調光装置のいずれも使用しない場合　（円）

	午前９時～午前 11 時	午前 11 時～午後１時	午後１時～午後３時	午後３時～午後５時	午後５時～午後７時	午後７時～午後９時
市内	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
市外	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800

舞台装置、音響装置、照明調光装置を使用する場合　（円）

		午前		午後		夜間		全日	
		午前９時～午前 12 時		午後１時～午後５時		午後６時～午後９時		午前９時～午後９時	
		市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外
各装置のうち、１種類を使用する場合	平日	2,800	4,200	5,040	7,560	6,580	9,870	14,000	21,000
	土・日・休日	3,450	5,170	6,200	9,300	8,120	12,180	17,260	25,890
各装置のうち、２種類を使用する場合	平日	4,400	6,600	7,920	11,880	10,340	15,510	22,000	33,000
	土・日・休日	5,420	8,130	9,740	14,610	12,760	19,140	27,120	40,680
各装置のうち、３種類を使用する場合	平日	6,000	9,000	10,800	16,200	14,100	21,150	30,000	45,000
	土・日・休日	7,400	11,100	13,300	19,950	17,400	26,100	37,000	55,500

会議室　（円）

利用区分							
午前（午前９時～午前 12 時）		午後（午後１時～午後５時）		夜間（午後６時～午後９時）		全日（午前９時～午後９時）	
市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外
500	750	600	900	600	900	1,500	2,250

IT 学習室

市内在住、在勤、在学の方５名以上（うちパソコン歴５年以上であること）で構成し、自主的に活動している営利を目的としない団体を対象に無償で貸出。

事前に団体登録を行い、施設へ直接申請。

【ちゃきちゃき倶楽部（奥富・狭山台）】

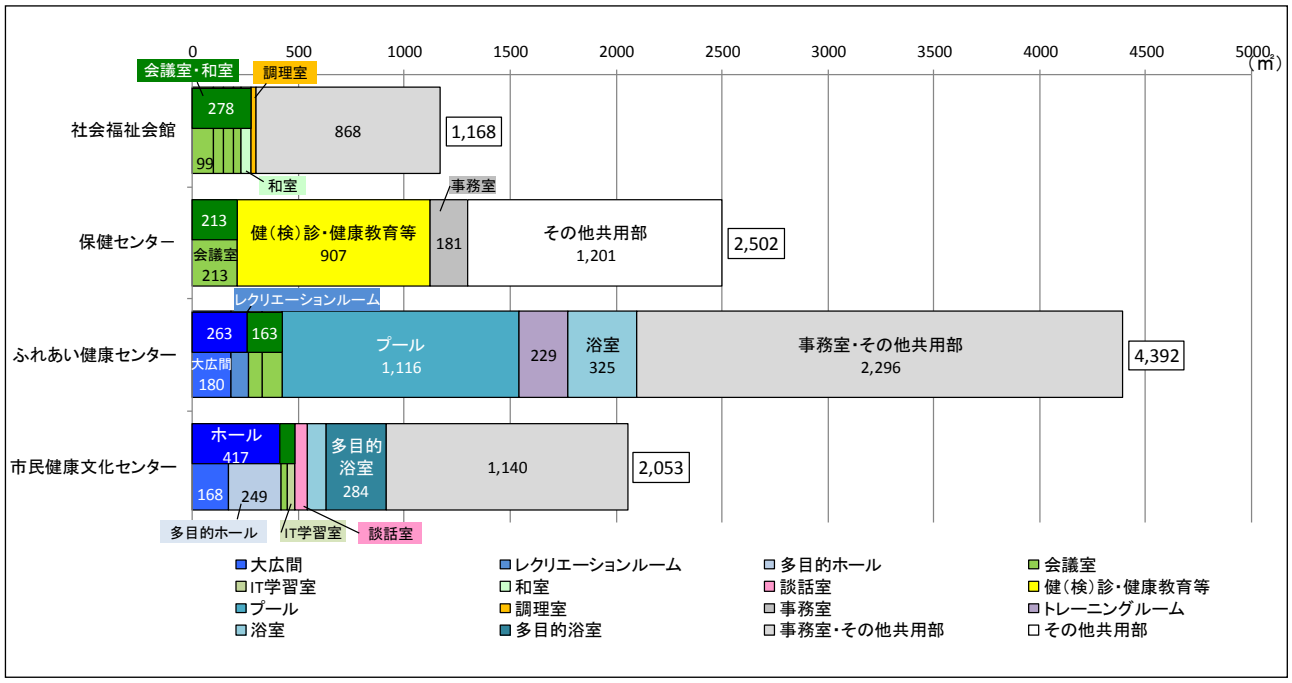
	総合コース	口腔・栄養コース
開催教室	狭山台教室・奥富教室	狭山台教室
開催期間	週２回　全 23 回	週１回　全７回
開催日時	月曜日・木曜日または火曜日・金曜日	火曜日・水曜日・木曜日
コース	午前コース：午前 10 時～午前 12 時 午後コース：午後２時～午後４時	午前コース：午前 10 時～午前 12 時
定員	１クラス（15 人）	１クラス（15 人）
費用	１回当たり 170 円	１回当たり 170 円

⑥　スペース構成

保健・福祉施設の規模は、社会福祉会館の 1,168 ㎡からふれあい健康センターの 4,392 ㎡となっています。すべての保健・福祉施設で会議室・和室の機能を保有しています。ふれあい健康センター・市民健康文化センターでは、大広間、浴室を保有しています。

その他の機能として、調理室、健（検）診・健康教育等、プール、トレーニングルーム、談話室など保有しています。

図表　スペース構成



（出典）平成 26 年度公共施設現況調査

※ちゃきちゃき倶楽部（奥富・狭山台）は複合施設の一室で事業を実施

２）実態把握

①　建物状況

■　保健・福祉施設の建物総合評価結果

保健・福祉施設６施設の建物状況について、「第３章 ２公共施設の建物総合評価」に基づき評価を行いました。

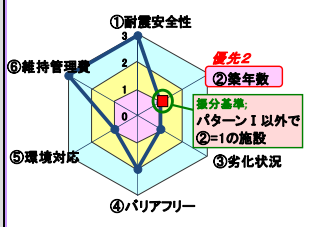
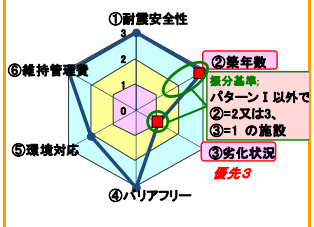
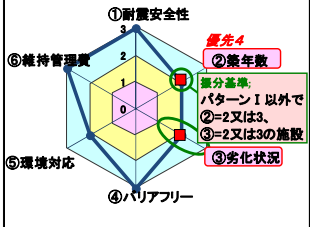
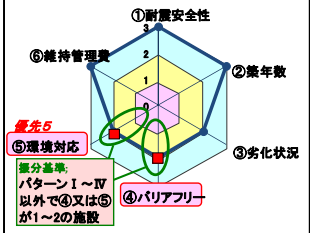
No.	施設名	基本情報 建築年度	基本情報 延床面積（㎡）	①耐震化 耐震診断・耐震改修	②老朽化 築年数	②老朽化 直近の大規模改修	②老朽化 築年数または直近の大規模改修後経過年数	③劣化状況 劣化問診票回答評価	④バリアフリー対応 段差なし	④バリアフリー対応 案内設備・案内所	④バリアフリー対応 エレベーター	④バリアフリー対応 ※1 車椅子対応トイレ	④バリアフリー対応 障がい者用駐車場	④バリアフリー対応 授乳室・ベビーシート	⑤環境対応 自然エネルギー・太陽光発電の導入	⑤環境対応 屋上・壁面緑化等	⑤環境対応 環境対応設備※2	⑥維持管理 維持管理費（千円） 光熱水費	⑥維持管理 維持管理費（千円） 建物管理委託費	⑥維持管理 維持管理費（千円） 各所修繕費	⑥維持管理 床面積当たり（円/㎡） 光熱水費	⑥維持管理 床面積当たり（円/㎡） 建物管理委託費	⑥維持管理 床面積当たり（円/㎡） 各所修繕費
1	社会福祉会館	昭和62	1,168	－	28		28	△	○	○	○	○	○	○	×	×	○	指定管理委託料に含まれているので対象外とする						
2	保健センター	昭和58	2,502	－	32		32	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×	6,404	12,592	3,972	2,559	5,033	1,587
3	ふれあい健康センター	平成9	4,392	－	18		18	△	○	○	○	○	○	×	○	×	○	指定管理委託料に含まれているので対象外とする						
4	市民健康文化センター	平成13	2,053	－	14		14	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○							
5	ちゃきちゃき倶楽部（奥富）	昭和51	256	－	39		39	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	465	119	0	1,817	464	0
6	ちゃきちゃき倶楽部（狭山台）	昭和49	220	－	41		41	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	164	62	19	744	280	86
	合計・平均		10,591															7,032	12,773	9,618	2,361	4,289	3,230

※1 オストメイト対応トイレ含む
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

①④⑤の凡例
○ ： 実施済み
△ ： 対策中
× ： 未実施
― ： 不要

③の凡例
○ ： 劣化がみられないもの
△ ： 一部に劣化がみられるもの・不明
× ： 屋根・外壁等の重要部位に重大な劣化がみられるもの

保健センター等の３施設は、築 30 年以上と老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。市民健康文化センターは、外壁・屋根などの重要な部位に修繕の必要な劣化がみられ、早期の対策が必要です。社会福祉会館は、築 20 年以上を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。ふれあい健康センターは、バリアフリーや環境対応について、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。

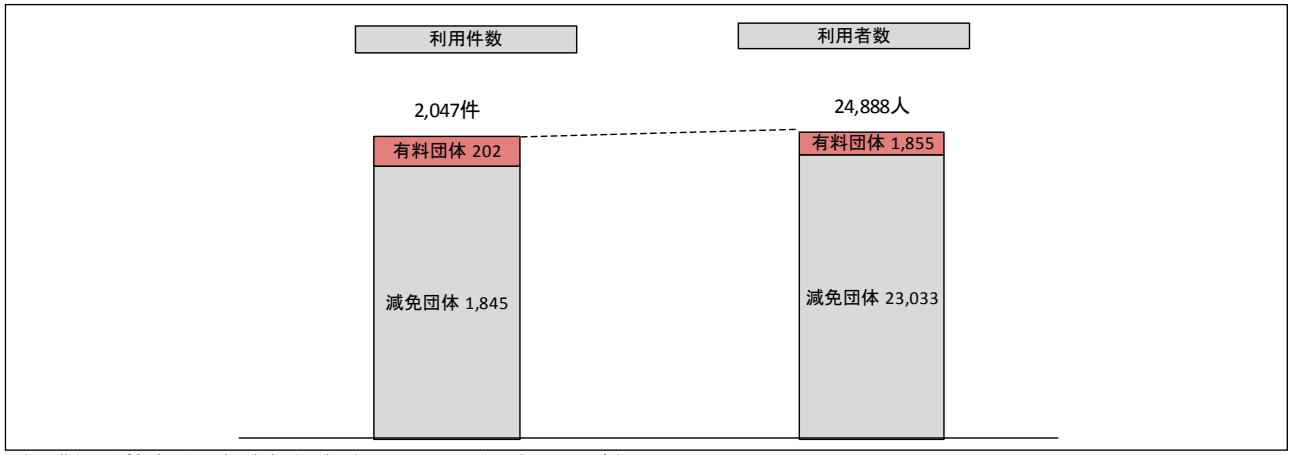
	パターンⅡ 老朽化	パターンⅢ 劣化対策	パターンⅣ 今後 老朽化	パターンⅤ バリアフリー・環境対応
評価	・老朽化が進行している ⇒建替え又は大規模改修 などの老朽化対策の検討が必要な施設	・重要部位に修繕の必要な劣化 ⇒早期に劣化部位の修繕・改修が必要な施設	・今後、老朽化が進行する ⇒今後老朽化対策の検討が必要になる施設	・バリアフリー、環境対応が未完了 ⇒今後、バリアフリーや環境対応が完了していない部分の整備が望まれる施設
				
該当施設	該当施設 建築年度 保健センター 昭和58 ちゃきちゃき倶楽部（奥富） 昭和51 ちゃきちゃき倶楽部（狭山台 昭和49 ＜３施設＞	該当施設 建築年度 市民健康文化センター 平成13 ＜１施設＞	該当施設 建築年度 社会福祉会館 昭和62 ＜１施設＞	該当施設 建築年度 ふれあい健康センター 平成9 ＜１施設＞
コメント	・耐震安全性については問題ありませんが、築30年以上と老朽化がかなり進行しているので、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。	・耐震性や老朽化の面では緊急な状況にはないが、外壁・屋根などの重要な部位に修繕の必要な劣化がみられ、早期の対策が必要です。	・新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。	・比較的新しい施設ですが、バリアフリーや環境対応について、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。

② 利用状況

■ 社会福祉会館の利用状況

平成 26 年度の社会福祉会館の利用件数は 2,047 件、利用者数は２万 4,888 人です。

図表　年間利用件数・利用者数（平成 26 年度）

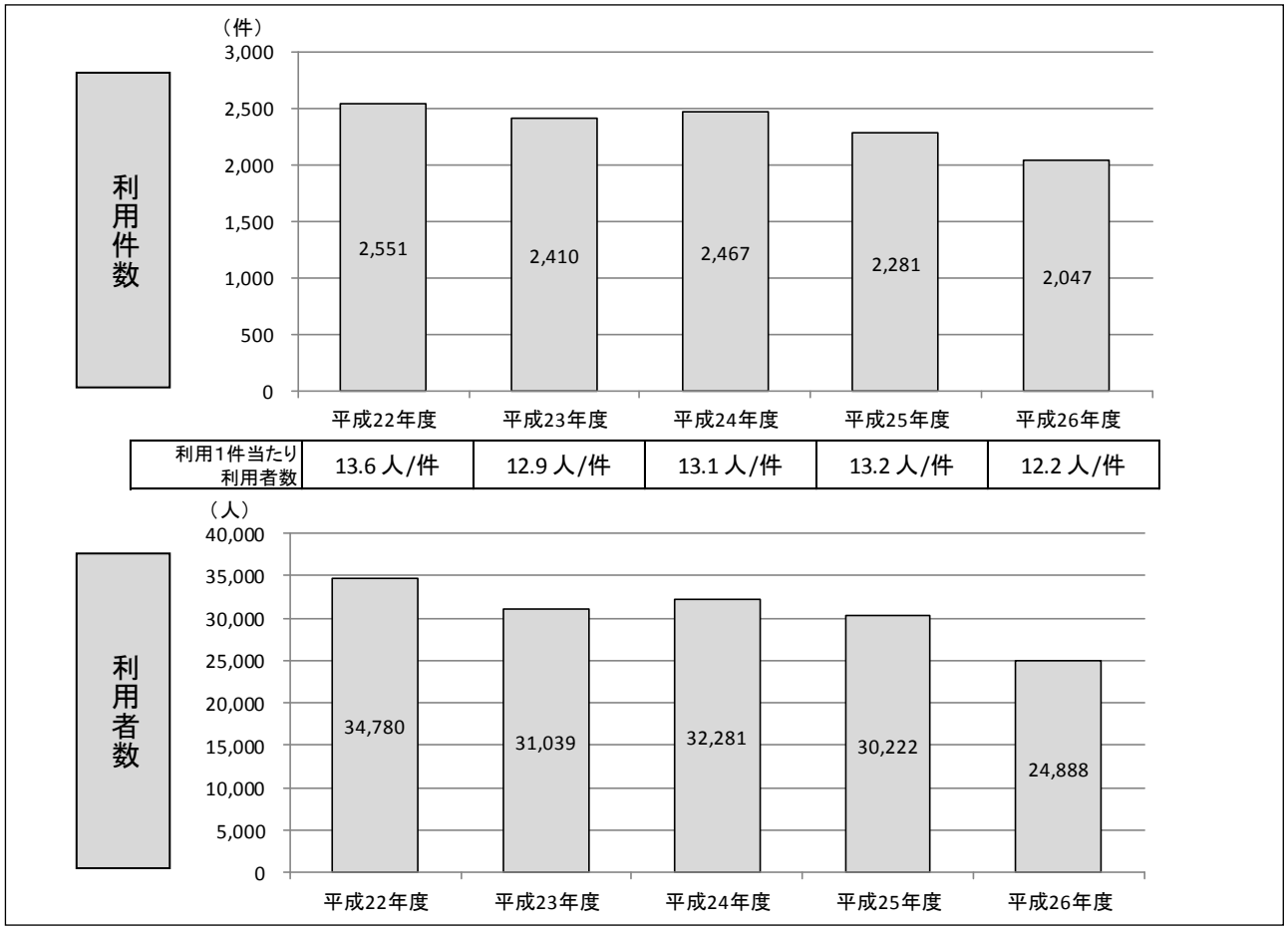


（出典）決算資料　社会福祉会館利用状況（平成 26 年度）

■ 社会福祉会館の利用推移

社会福祉会館の利用推移は、利用件数は平成 26 年度の 2,047 件から平成 22 年度の 2,551 件、利用者数は平成 26 年度の２万 4,888 人から平成 22 年度の３万 4,780 人の間で推移しています。なお、利用１件当たりの利用者数は、約 13 人/件です。

図表　利用件数・利用者数（平成 22 年度～26 年度）

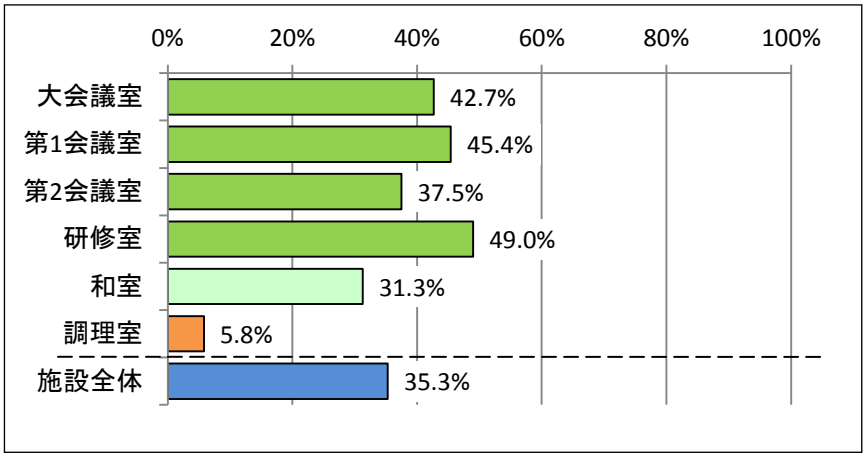


■　社会福祉会館の稼働率

社会福祉会館の施設全体の稼働率は、35.3%となっています。

部屋別稼働率をみると、研修室が 49.0%、大会議室が 42.7%、第１会議室が 45.4%、第２会議室が 37.5%、和室が 31.3%、調理室が 5.8%となっています。

図表　部屋別稼働率（平成 26 年度）

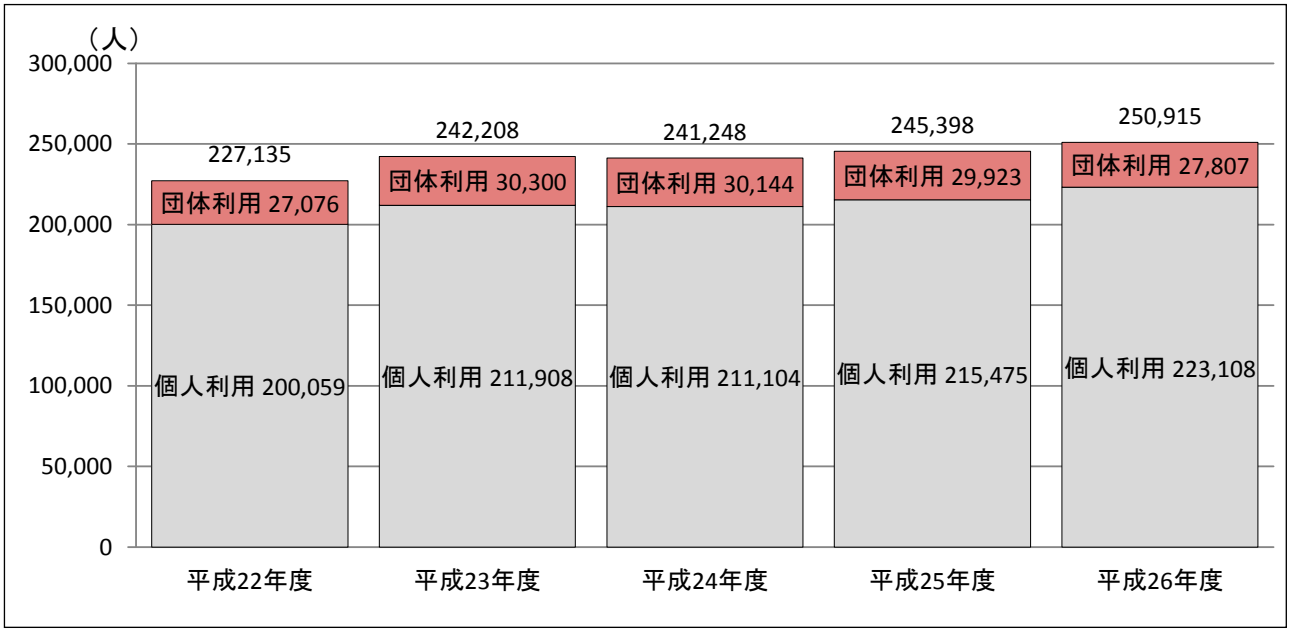


■　ふれあい健康センター　利用推移

ふれあい健康センターの利用者数の推移は、平成 22 年度の 22 万 7,135 人から平成 26 年度の 25 万 915 人の間で推移しています。

利用の内訳をみると、どの年度でも個人利用が約 88%を占めています。

図表　利用者数の推移（平成 22 年度～26 年度）



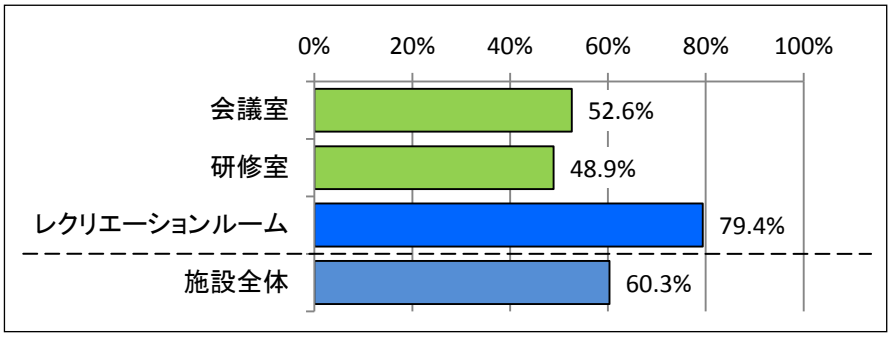
（出典）統計さやま（平成 22 年度～25 年度）、行政報告書（平成 26 年度）

■　ふれあい健康センターの稼働率

ふれあい健康センターの施設全体の稼働率は、60.3%となっています。

部屋別稼働率をみると、レクリエーションルームが 79.4%、会議室が 52.6%、研修室が 48.9%です。

図表　部屋別稼働率（平成 26 年度）

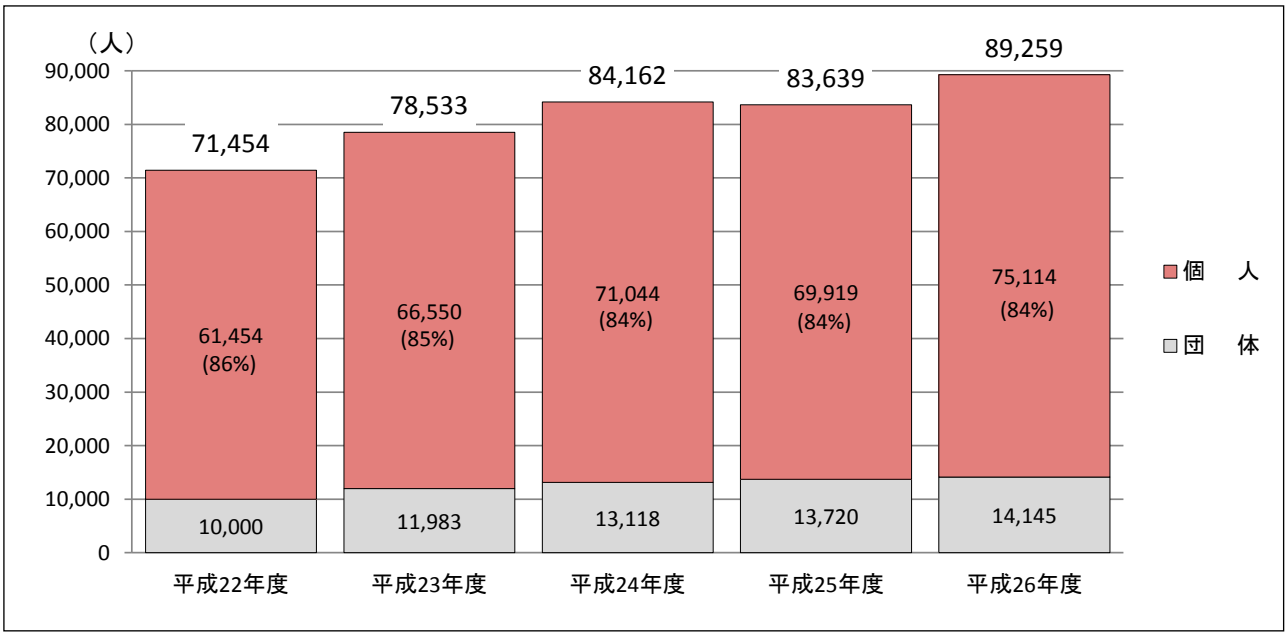


（出典）行政報告書（平成 26 年度）

■　市民健康文化センター　利用状況の推移

市民健康文化センターの利用者数の推移は、平成２２年度の７万 1,454 人から平成 26 年度の８万 9,259 人の間で推移しています。利用の内訳をみると、どの年度でも個人利用が約 84%を占めています。

図表　利用者数の推移（平成 22 年度～26 年度）



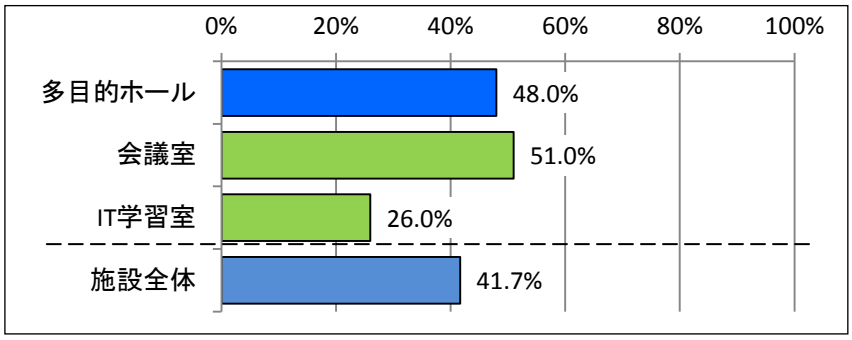
（出典）行政報告書（平成 22 年度～26 年度）

■　市民健康文化センターの稼働率

市民健康文化センターの施設全体の稼働率は、41.7%となっています。

部屋別稼働率をみると、会議室が 51.0%、多目的ホールが 48.0%、IT 学習室が 26.0%です。

図表　部屋別稼働率（平成 26 年度）



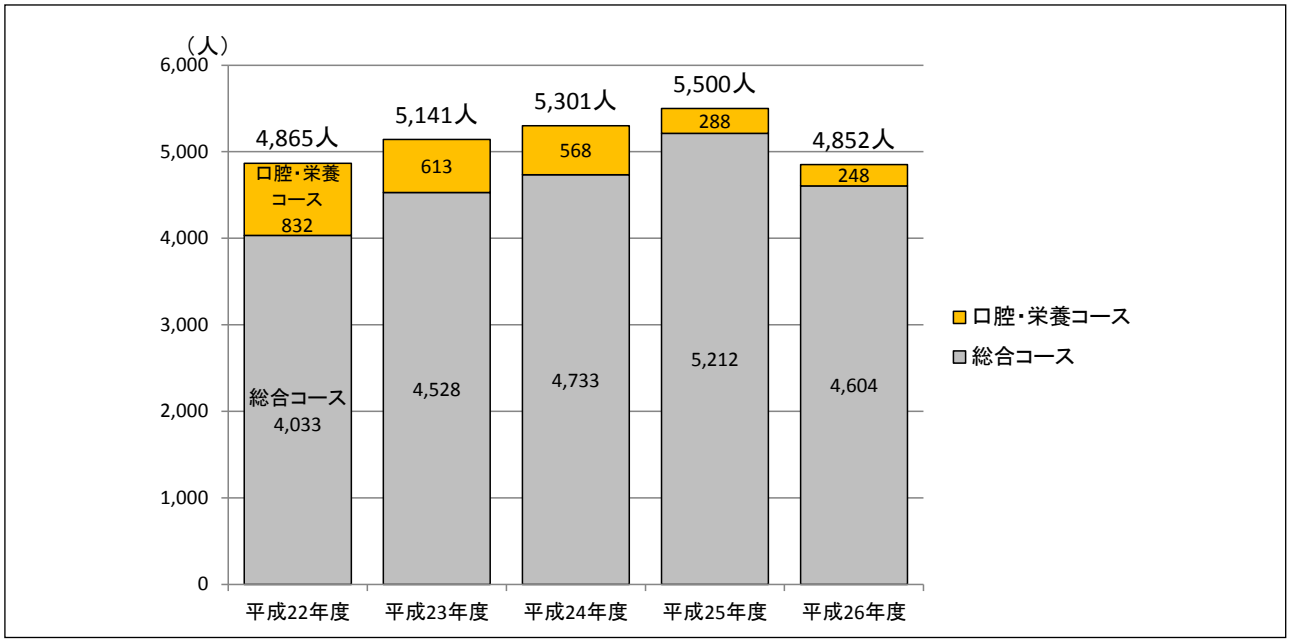
（出典）平成 26 年度市民健康文化センター利用状況

■　ちゃきちゃき倶楽部（奥富・狭山台）　利用推移

ちゃきちゃき倶楽部（奥富・狭山台）全体の利用推移をみると、平成 22 年度の 4,865 人から平成 25 年度の 5,500 人まで増加していましたが、平成 26 年度では 4,852 人と減少しています。

介護予防プログラム別にみると、総合コースでは平成 22 年度の 4,033 人から平成 25 年度の 5,212 人まで増加していましたが、平成 26 年度では 4,604 人と減少しています。口腔・栄養コースでは平成 22 年度の 832 人から平成 26 年度の 248 人まで減少しています。

図表　介護予防プログラム別参加延人数の推移（平成 22 年度～26 年度）

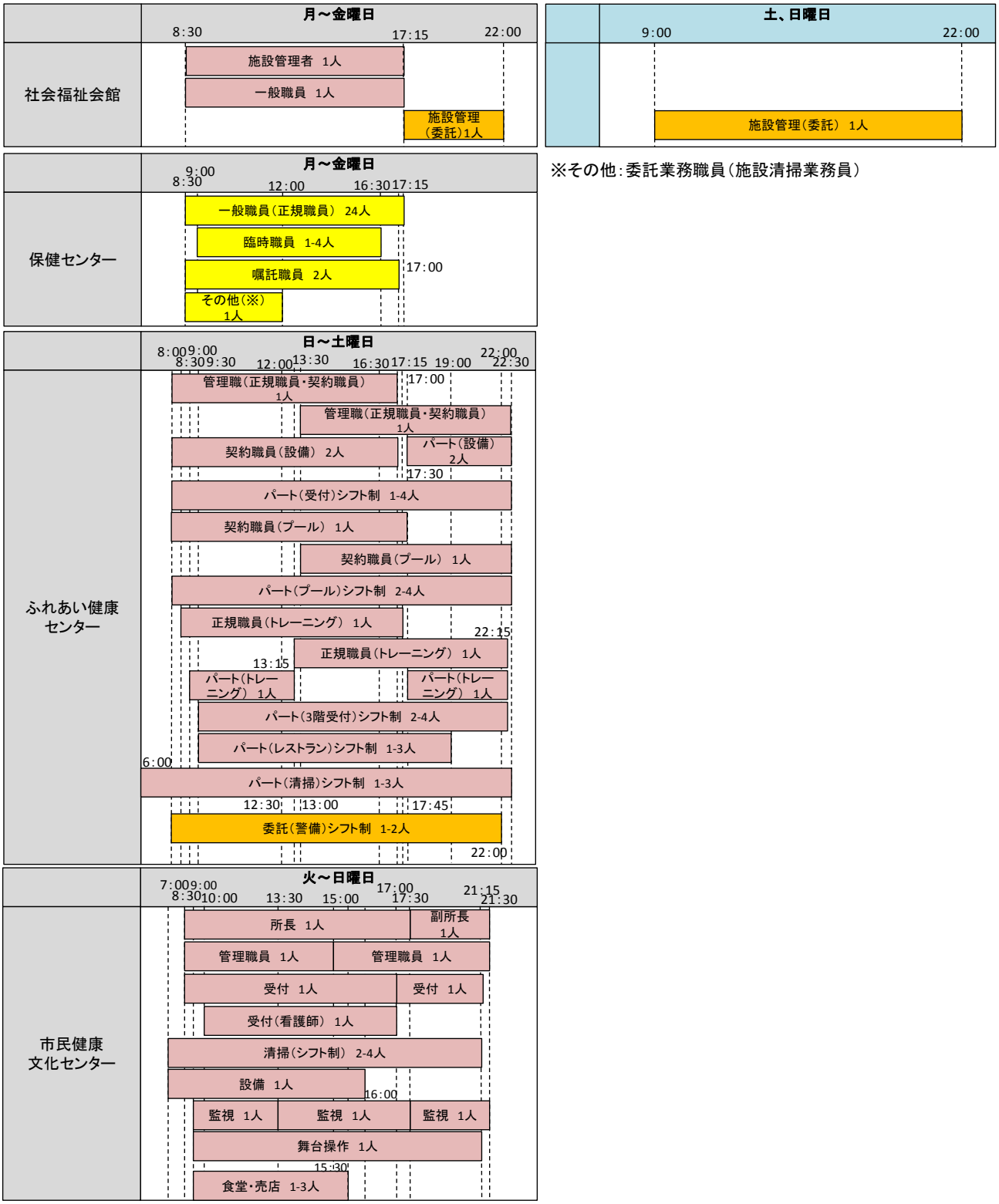


（出典）平成 23 年度～27 年度市政概要

③ 運営状況

運営体制をみると、社会福祉会館の平日は施設管理者と一般職員２人が１７時まで従事しています。土、日曜日と平日の１７時１５分以降は委託業者が配置されています。保健センターは市の職員が２７人から３０人従事しており、委託業務職員（施設清掃業務員）が１人従事しています。ふれあい健康センターと市民健康文化センターは、管理職、設備、受付等の業務内容によって時間帯を考えた人員配置になっています。

図表　運営体制



④ コスト状況

保健・福祉施設の６施設の年間トータルコストは、13 億 5,240 万円です。年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（委託費等）は 5,815 万円（約 4%）、事業運営にかかるコスト（人件費等）は９億 9,787 万円（約 74%）、指定管理委託料は２億 1,125 万円（約 16%）、減価償却相当額は 8,513 万円（約 6%）です。

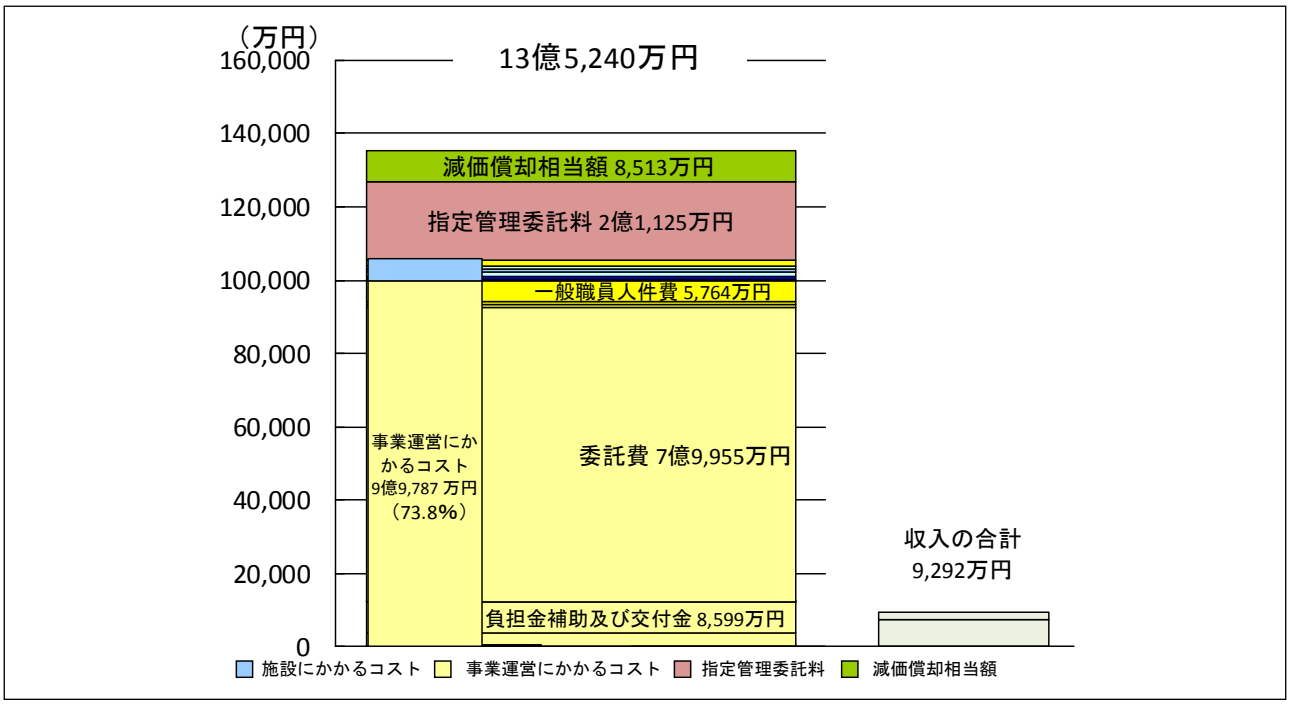
図表　施設別行政コスト計算書（平成 26 年度）　（円）

Ⅰ.現金収支を伴うもの 【コストの部】		社会福祉会館	保健センター	ふれあい健康センター	市民健康文化センター	ちゃきちゃき倶楽部（奥富・狭山台）	合計
施設にかかるコスト	一般職員人件費	0	17,735,760	0	0	0	17,735,760
	修繕費	0	3,971,686	5,626,800	0	19,440	9,617,926
	光熱水費	0	6,403,538	0	0	628,814	7,032,352
	委託費	0	12,592,357	0	0	180,398	12,772,755
	使用料及び賃借料	0	5,322,300	0	2,424,200	0	7,746,500
	その他物件費	0	2,362,404	783,465	98,120	0	3,243,989
	施設にかかるコスト	0	48,388,045	6,410,265	2,522,320	828,652	58,149,282
事業運営にかかるコスト 事業運営	一般職員人件費	0	57,641,220	0	0	0	57,641,220
	嘱託職員人件費	0	4,964,000	0	0	0	4,964,000
	その他人件費	0	11,716,790	0	0	0	11,716,790
	委託費	0	755,757,937	0	0	43,790,417	799,548,354
	使用料及び賃借料	0	118,610	0	0	0	118,610
	負担金補助及び交付金	83,267,673	2,725,112	0	0	0	85,992,785
	その他物件費	0	37,850,709	0	0	12,000	37,862,709
	事業運営	83,267,673	870,774,378	0	0	43,802,417	997,844,468
事務・庶務	その他物件費	0	24,116	0	0	0	24,116
	事務・庶務	0	24,116	0	0	0	24,116
	事業運営にかかるコスト	83,267,673	870,798,494	0	0	43,802,417	997,868,584
指定管理委託料		8,022,000	0	109,262,000	93,963,000	0	211,247,000
現金収支を伴うコスト　計		91,289,673	919,186,539	115,672,265	96,485,320	44,631,069	1,267,264,866
【収入の部】							
収入	使用料収入	143,000	0	59,809,980	14,744,570	0	74,697,550
	諸収入	0	15,777,678	2,445,804	0	0	18,223,482
収入の合計		143,000	15,777,678	62,255,784	14,744,570	0	92,921,032
Ⅱ.現金収支を伴わないもの							
コスト	減価償却相当額	5,602,000	9,917,097	45,546,021	23,368,211	698,510	85,131,839
Ⅲ.総括							
コストの部合計（トータルコスト）		96,891,673	929,103,636	161,218,286	119,853,531	45,329,579	1,352,396,705
収支差額（ネットコスト）		96,748,673	913,325,958	98,962,502	105,108,961	45,329,579	1,259,475,673

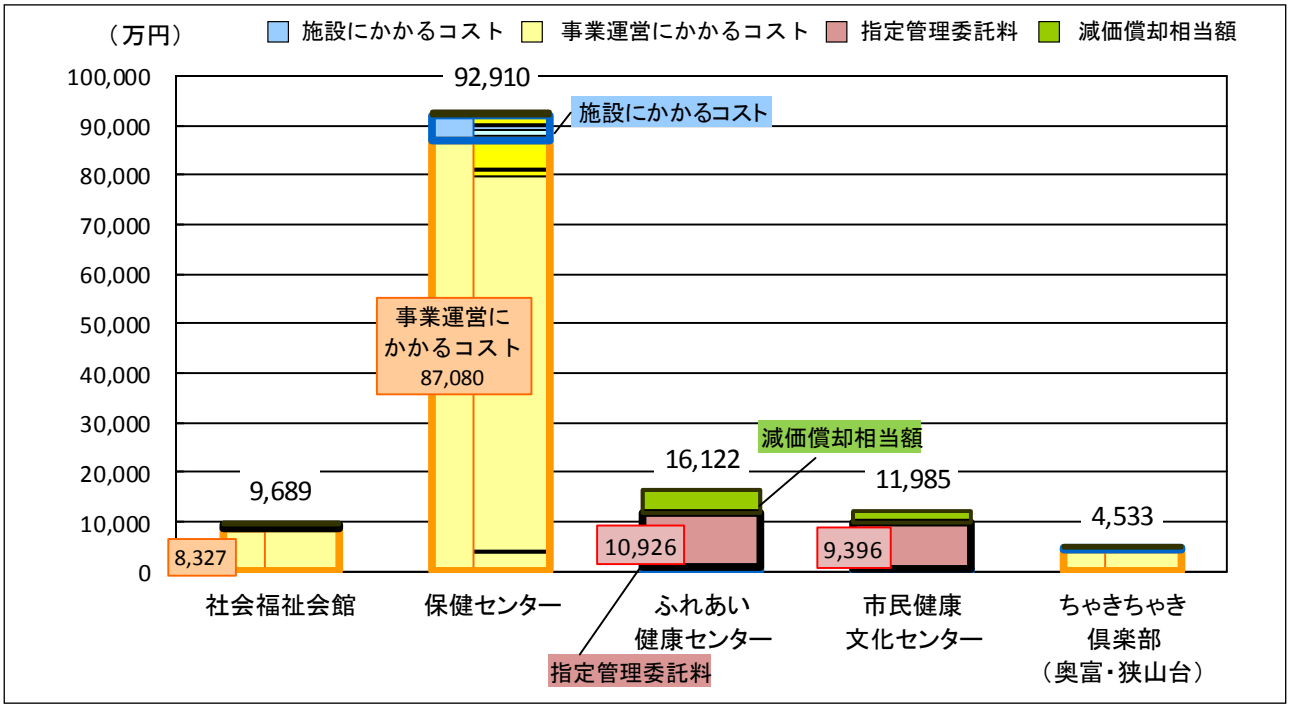
事業運営にかかるコストのうち、委託費は合計７億 9,955 万円で、トータルコストの約 59%を占めています。

施設別トータルコストでは、ちゃきちゃき倶楽部（奥富・狭山台）の 4,533 万円から保健センターの９億 2,910 万円となっています。

図表　保健・福祉施設　全施設トータルコスト（平成 26 年度）



図表　保健・福祉施設　施設別トータルコスト（平成 26 年度）

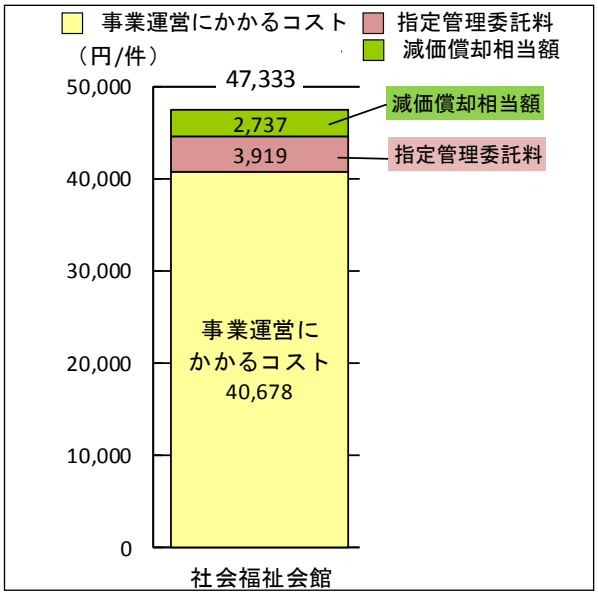


３）　評価・分析

■　社会福祉会館　利用１件当たりのコスト

年間利用件数とトータルコストから、利用１件当たりにかかるコストを算出すると、４万7,333円/件となっています。

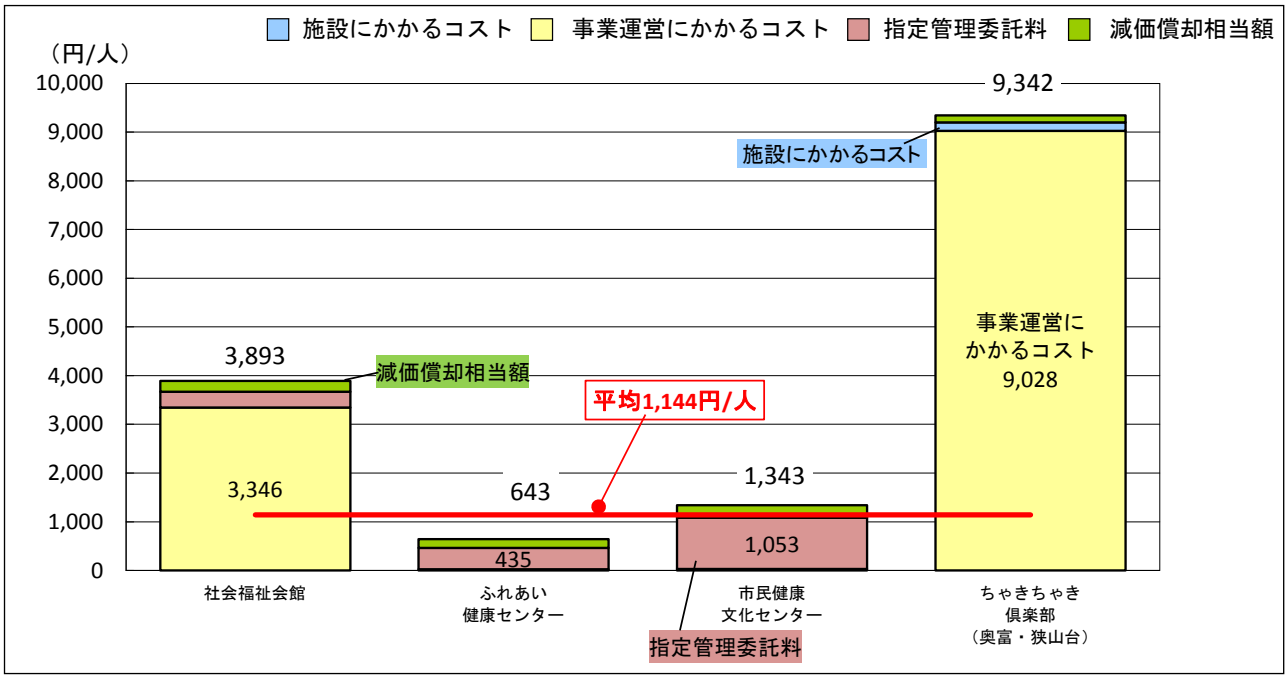
図表　利用１件当たりコスト



■　社会福祉会館・ふれあい健康センター・市民健康センター・ちゃきちゃき倶楽部（奥富・狭山台）利用者１人当たりのコスト

年間利用者数とトータルコストから、利用者１人当たりにかかるコストを算出すると、社会福祉会館が3,893円/人、ふれあい健康センターが723円/人、市民健康文化センターが1,343円/人、ちゃきちゃき倶楽部（奥富・狭山台）が9,342円/人となっています。なお、保健・福祉施設４施設の平均は1,144円/人です。

図表　施設別利用者１人当たりコスト



４）　実態のまとめ

■ 建物面

- 社会福祉会館の空調設備改修は、平成 28 年度に３階大会議室を予定しており、この改修で終了となります。しかし、平成 29 年度に部品の供給が終了するため、エレベーターの修繕が課題となっています。
- 保健センターは、築 30 年以上が経過しており、電気系統、給排水管等、目に見えない箇所の老朽化が予想され、大規模改修の必要性が見込まれています。
- ふれあい健康センターは、プール・熱源水配管が老朽化により腐食しており、安全性の観点から早急な対応が必要となっています。
- 市民健康文化センターは、太陽光発電システム、太陽熱温水器が経年劣化による不具合が発生し、大きなトラブルが発生した場合の対策が必要となっています。
- ちゃきちゃき倶楽部の狭山台施設では、ガス空調機が老朽化により修理不能となっています。故障が発生した場合、奥富施設へ集約して事業継続が可能と考えられます。

■ 利用・運営面

- 社会福祉会館では、貸室利用の増加に対する対策が必要となっています。
- 保健センターは、駐車スペースが 40 台分と不足気味であるため、駐車場の確保が課題となっています。
- ちゃきちゃき倶楽部（奥富・狭山台）は、平成 29 年度以降事業内容が変更となり介護予防対象者の範囲が拡大するため、それにあわせた今後の施設のあり方について検討する必要があります。

（２０）医療施設

１）施設概要

①　施設一覧

本市では、救急医療のための医療施設として、急患センターを保有しています。

設置目的：救急医療を確保するとともに地域医療の向上を図るため。

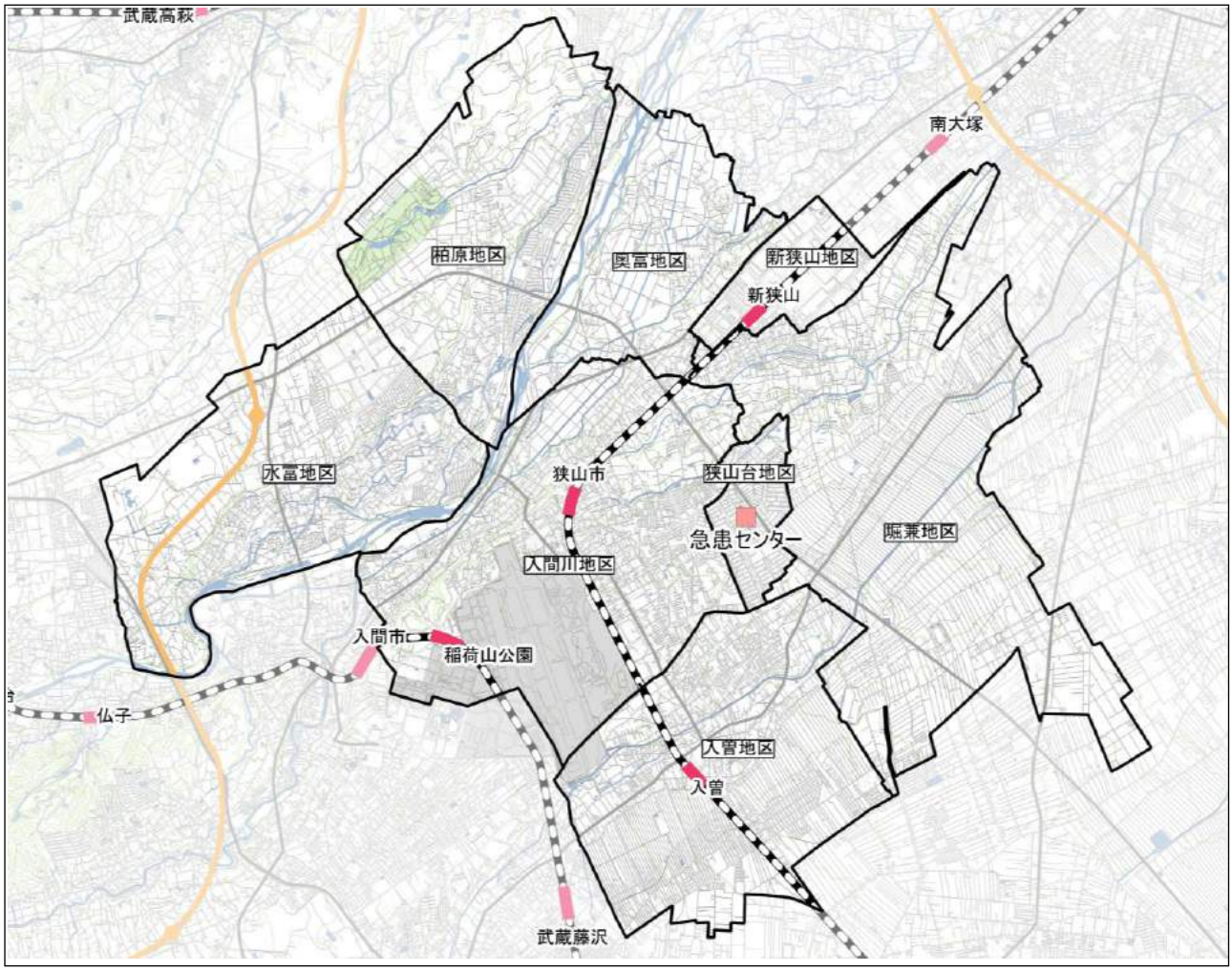
図表　施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積（㎡）	建築年度（年度）	構造（主たる建物）	土地所有
狭山台	1 急患センター	狭山台 3-24	393.53	昭和57	鉄筋コンクリート	市

※　　：築 30 年以上施設

②　配置状況

図表　医療施設位置図



③　診療日・診療時間

■　休日診療

診療科目	診療日	診療時間
内科、外科、小児科	日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、年末年始（12 月 29 日～1 月３日）	午前９時～午前 12 時 午後１時～午後５時
歯科	日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日	午前９時～午前 12 時
	５月３日～５月５日、 年末年始（12 月 29 日～1 月３日）	午前９時～午前 12 時 午後１時～午後３時

■　夜間診療

診療科目	診療日	診療時間
内科・小児科	火曜日・水曜日・金曜日 （12 月 31 日～1 月２日は休診日）	午後７時 30 分～午後 10 時 30 分

④　事業内容

休日や夜間における入院を必要としない軽症の救急患者を診療します。

また、入間市夜間診療所との相互受診体制により、両市で１週間を通した初期救急を確保します。

２）実態把握

①　　建物状況

■　医療施設の建物総合評価結果

急患センターの建物状況について、「第３章 ２公共施設の建物総合評価」に基づき評価を行いました。

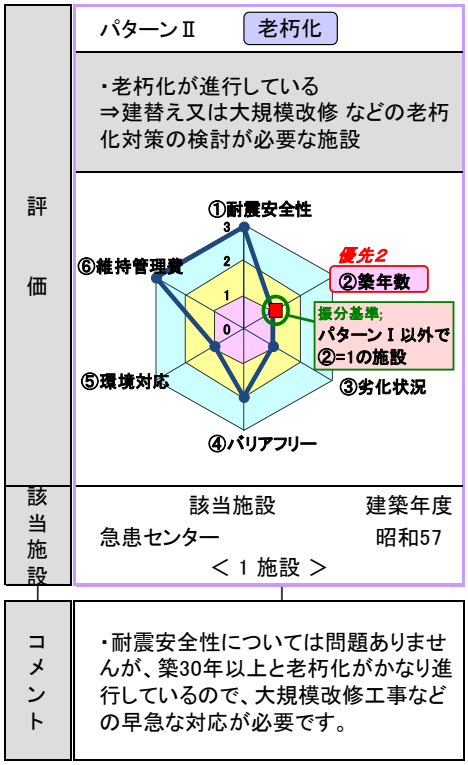
No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化			③劣化状況	④バリアフリー対応						⑤環境対応			⑥維持管理					
																		維持管理費（千円）			床面積当たり（円/㎡）		
		建築年度	延床面積（㎡）	耐震診断・耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	劣化問診票回答評価	段差なし	案内設備・案内所	エレベーター	※1 車椅子対応トイレ	障がい者用駐車場	授乳室・ベビーシート	自然エネルギー・太陽光発電の導入	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費
1	急患センター	昭和57	394	－	33		33	×	○	×	×	×	○	○	×	×	×	24	870	93	62	2,210	237

※1 オストメイト対応トイレ含む
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

①④⑤の凡例
○ ： 実施済み
△ ： 対策中
× ： 未実施
― ： 不要

③の凡例
○ ： 劣化がみられないもの
△ ： 一部に劣化がみられるもの・不明
× ： 屋根・外壁等の重要部位に重大な劣化がみられるもの

急患センターは、築 30 年以上と老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの早急な対応は必要です。



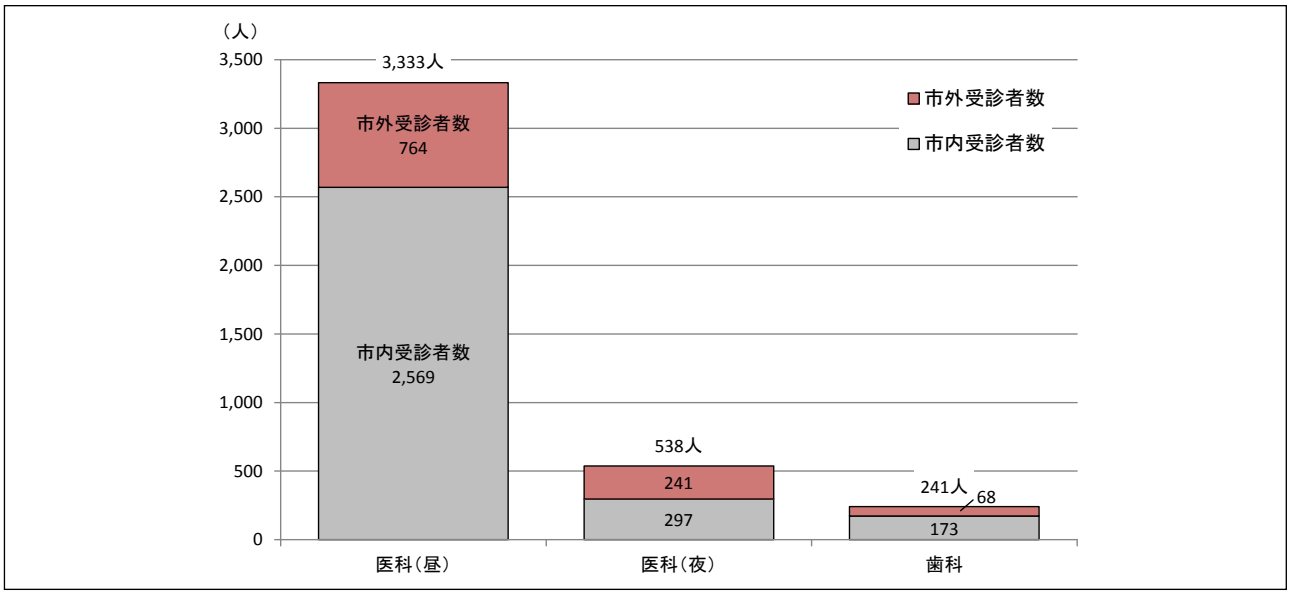
② 利用状況

■ 受診状況

平成 26 年度の受診者数は医科（昼）が 3,333 人、医科（夜）が 538 人、歯科 241 人となっています。

受診者の市内・市外の内訳をみると、医科（昼）は市内受診者数が 2,569 人（約 77%）、市外受診者数が 764 人（約 23%）です。

図表　年間受診者数（平成 26 年度）

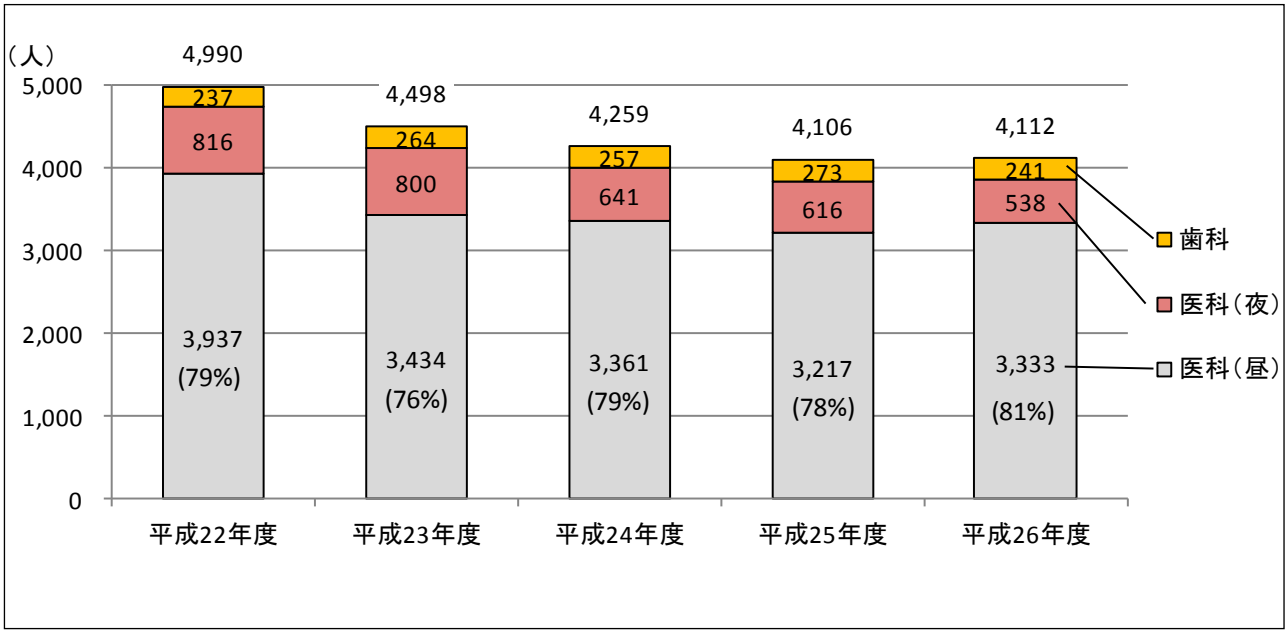


（出典）行政報告書（平成 26 年度）

■ 受診者数推移

受診者数の推移は、平成 22 年度の 4,990 人から微減傾向にありますが、どの年度においても、医科（昼）の受診者が 76%以上を占めています。

図表　受診者数の推移



（出典）行政報告書（平成 22 年度～26 年度）

■　日曜日・祝日昼間、夜間の診療状況

日曜日・祝日昼間の延べ受診者数は、医科が 3,333 人、歯科が 241 人となっています。夜間の延べ受診者数は医科が 538 人となっています。

図表　日曜日・祝日昼間の診療状況（平成 26 年度）

区分	診療日数	延べ受診者数	１日平均受診者数	市内受診者数	市内受診者の割合	市外受診者数	市外受診者の割合
医科	72 日	3,333 人	46.3 人	2,569 人	77.08%	764 人	22.92%
歯科	72 日	241 人	3.3 人	173 人	71.78%	68 人	28.22%

図表　夜間の診療状況（平成 26 年度）

区分	診療日数	延べ受診者数	１日平均受診者数	市内受診者数	市内受診者の割合	市外受診者数	市外受診者の割合
医科	155 日	538 人	3.5 人	297 人	55.20%	241 人	44.80%

※平成 21 年４月１日から入間市と合同で診療を開始

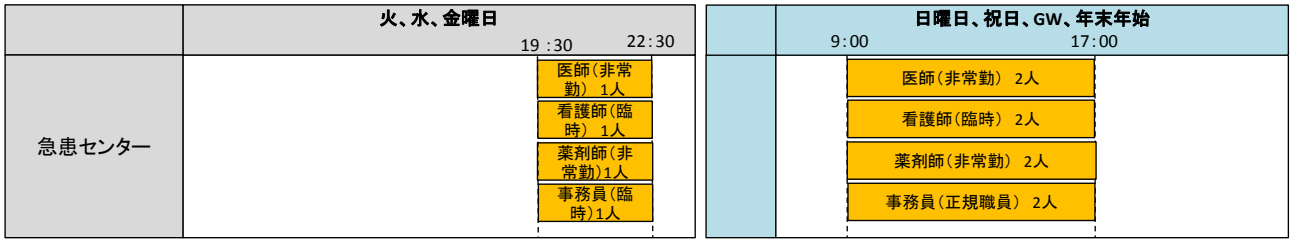
狭山市では、火曜日・水曜日・金曜日に実施しました。

（出典）行政報告書（平成 26 年度）

③　運営状況

急患センターの管理運営は、市の医師会へ委託しており、医師（非常勤）、看護師（臨時）、薬剤師（非常勤）、事務員（臨時）が平日の実施日に１人ずつ、日曜日等の休日に２人（事務員は正規）ずつ従事しています。

図表　運営体制



④ コスト状況

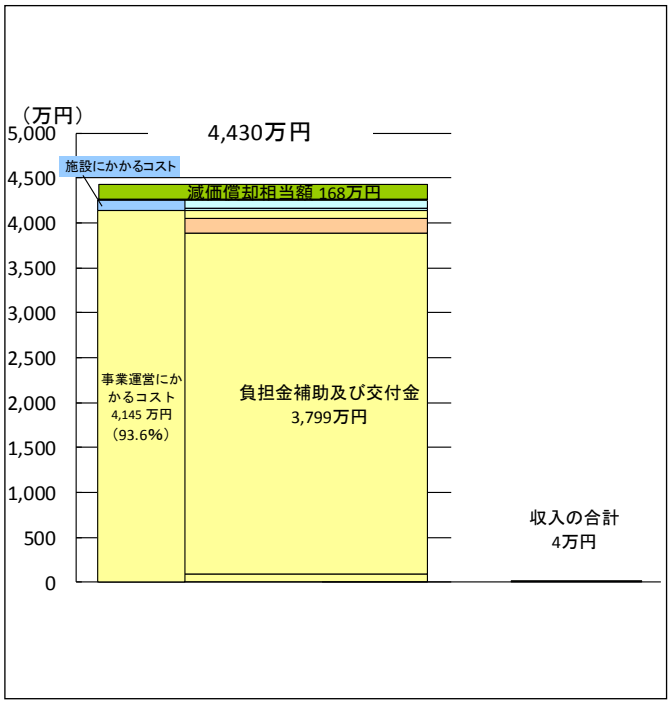
急患センターの年間トータルコストは、約 4,430 万円です。年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（委託費等）は 117 万円（約 3%）、事業運営にかかるコスト（補助金等）は 4,145 万円（約 93%）減価償却相当額は 168 万円（約 4%）です。

図表　施設別行政コスト計算書（平成 26 年度）

（円）

Ⅰ.現金収支を伴うもの 【コストの部】		急患センター
施設にかかるコスト	修繕費	93,420
	光熱水費	24,394
	委託費	869,892
	使用料及び賃借料	23,881
	その他物件費	154,310
	施設にかかるコスト	1,165,897
事業運営にかかるコスト	委託費	983,620
	使用料及び賃借料	1,558,826
	負担金補助及び交付金	37,986,500
	その他物件費	924,772
	事業運営にかかるコスト	41,453,718
現金収支を伴うコスト　計		42,619,615
【収入の部】		
収入	諸収入	40,900
収入の合計		40,900
Ⅱ.現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	1,678,840
Ⅲ.総括		
コストの部合計（トータルコスト）		44,298,455
収支差額（ネットコスト）		44,257,555

図表　トータルコスト（平成 26 年度）

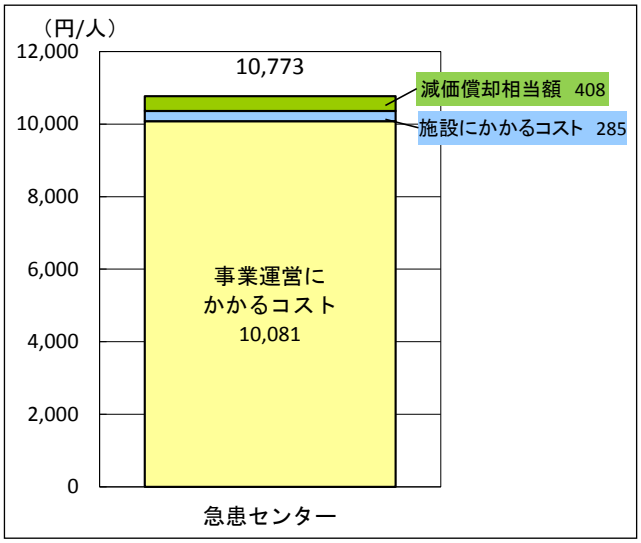


３）評価・分析

■　受診者数１人当たりのコスト

年間受診者数とトータルコストから、受診者１人当たりにかかるコストを算出すると約１万 773 円/人となっています。

図表　受診者数１人当たりのコスト



４）実態のまとめ

■　建物面

・　急患センターは、築 30 年以上と老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの早急な対応は必要です。特に、下水管が狭いことによる詰まりがあり、改修が必要となっています。

■　利用・運営面

・　受診者数は微減傾向となっていますが、休日夜間急患センターは人口５万人以上の市が設置対象のため、機能の統合廃止は困難な施設です。

（２１）市庁舎

１）施設概要

①　施設一覧

本市では、行政事務を司る本庁舎を市の中心部に設置しています。

設置目的：市の事務又は事業の用に供するため。

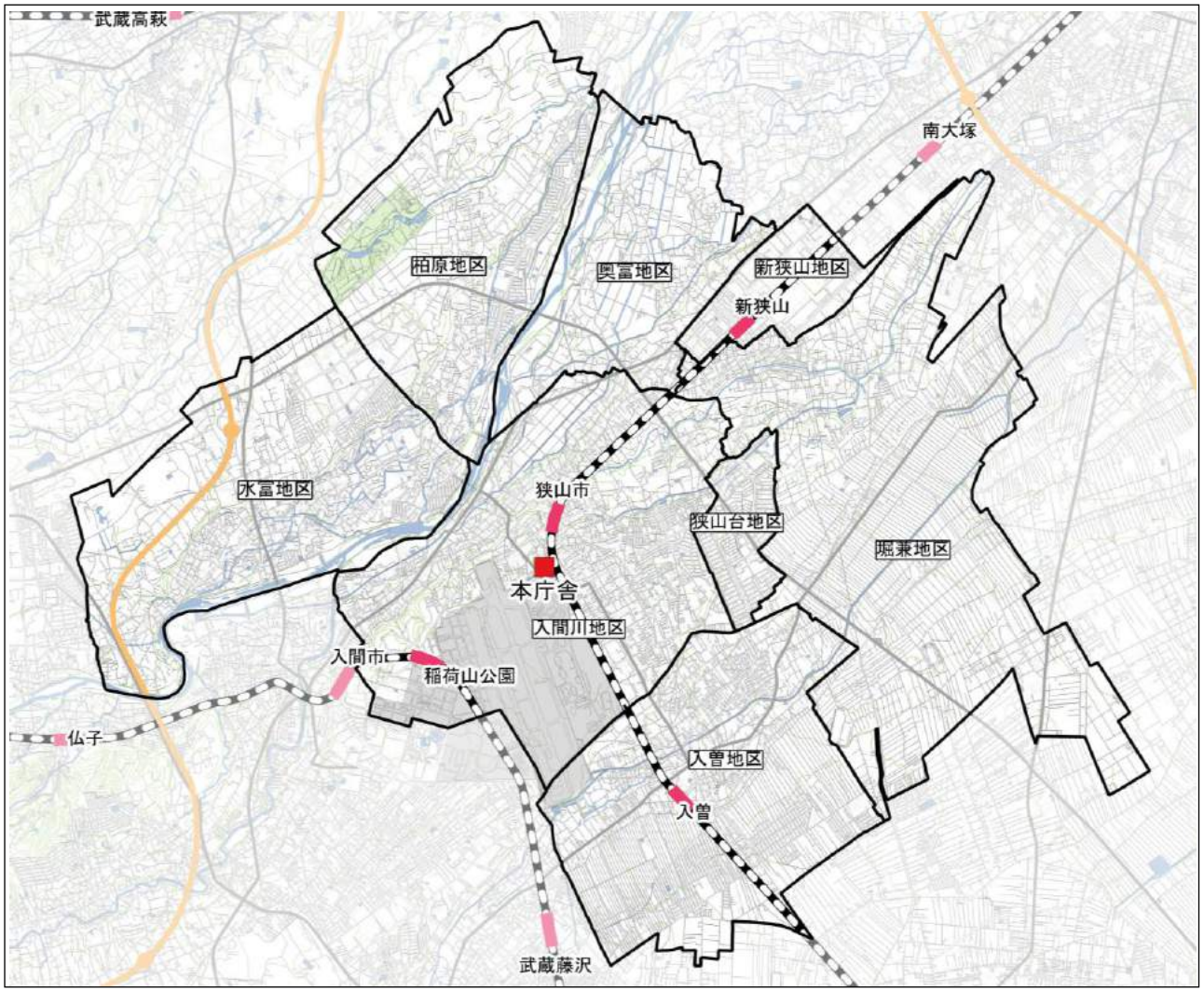
図表　施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積（㎡）	建築年度（年度）	構造（主たる建物）	土地所有
入間川	1 本庁舎	入間川 1-23-5	21,190.23	昭和60	鉄骨鉄筋コンクリート	一部

※　　：築 30 年以上施設

②　配置状況

図表　市庁舎位置図



③　開庁日・開庁時間

施設名	開庁できない日	開庁時間
本庁舎	土曜日・日曜日・祝日・年末年始	午前８時 30 分～午後５時 15 分

※開庁できない日の午前７時から午後 10 時まで駐車場を一般開放しています。

④　各階案内

７階	広報課、基地対策課、行革推進課、財政課、政策企画課、人権推進室、公共施設等総合管理プロジェクトチーム、701 会議室、職員研修室、マイナンバーカード交付準備室
６階	選挙管理委員会事務局、農業委員会事務局、監査委員事務局、監査委員室、601 会議室、602 会議室、603 会議室、604 会議室、605 会議室
５階	スポーツ振興課、社会教育課、教育総務課、学務課、教育指導課、情報システム課、教育委員会室、教育長室
４階	市長室、副市長室、秘書課、庁議室、傍聴者ロビー（議場）
３階	議場、全員協議会室、第１～第３委員会室、正副議長室、議会事務局、議員控室、議会会議室、301 会議室、302 会議室、契約課、総務課、職員課、財産管理課、検査課、みどり公園課、住宅営繕課、記者控室
２階	管理課、街路整備課、道路雨水課、開発審査課、建築審査課、都市計画課、下水道施設課、経営課、水道施設課、202 会議室、家庭児童相談室、協働自治推進課、市民生活課、防災課、交通防犯課、環境課、農業振興課、商工業振興課、企業立地推進室、201 会議室
１階	会計課、市民課、保険年金課、収税課、特別滞納整理室、市民税課、資産税課、市民相談室、障害者福祉課、福祉課、こども課、保育課、高齢者支援課、介護保険課、指定金融機関派出所、喫茶コーナー、総合案内
地下１階	時間外受付、入札室、授乳室、食堂、売店

２）実態把握

①　建物状況

■　市庁舎の建物総合評価結果

市庁舎の建物状況について、「第３章 ２公共施設の建物総合評価」に基づき評価を行いました。

		基本情報		①耐震化	②老朽化			③劣化状況	④バリアフリー対応						⑤環境対応			⑥維持管理					
																		維持管理費（千円）			床面積当たり（円/㎡）		
No.	施設名	建築年度	延床面積（㎡）	耐震診断・耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	劣化問診票回答評価	段差なし	案内設備・案内所	エレベーター	※1 車椅子対応トイレ	障がい者用駐車場	授乳室・ベビーシート	自然エネルギー・太陽光発電の導入	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費
1	本庁舎	昭和60	21,190	－	30		30	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	56,540	99,536	10,506	2,668	4,697	496

※1 オストメイト対応トイレ含む
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

①④⑤の凡例
○ ： 実施済み
△ ： 対策中
× ： 未実施
― ： 不要

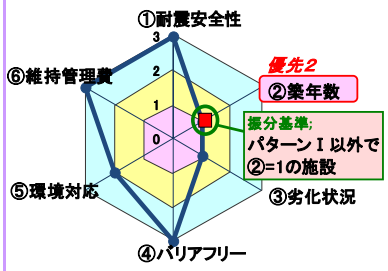
③の凡例
○ ： 劣化がみられないもの
△ ： 一部に劣化がみられるもの・不明
× ： 屋根・外壁等の重要部位に重大な劣化がみられるもの

本庁舎は、築 30 年以上と老朽化が進行しており、計画的な改修工事が必要です。

評価

パターンⅡ　老朽化

・老朽化が進行している
⇒建替え又は大規模改修 などの老朽化対策の検討が必要な施設



該当施設

該当施設	建築年度
本庁舎	昭和60

＜ 1 施設 ＞

コメント

・新耐震基準の建物ですが、築30年以上と老朽化が進行しており、計画的な改修工事が必要です。

② コスト状況

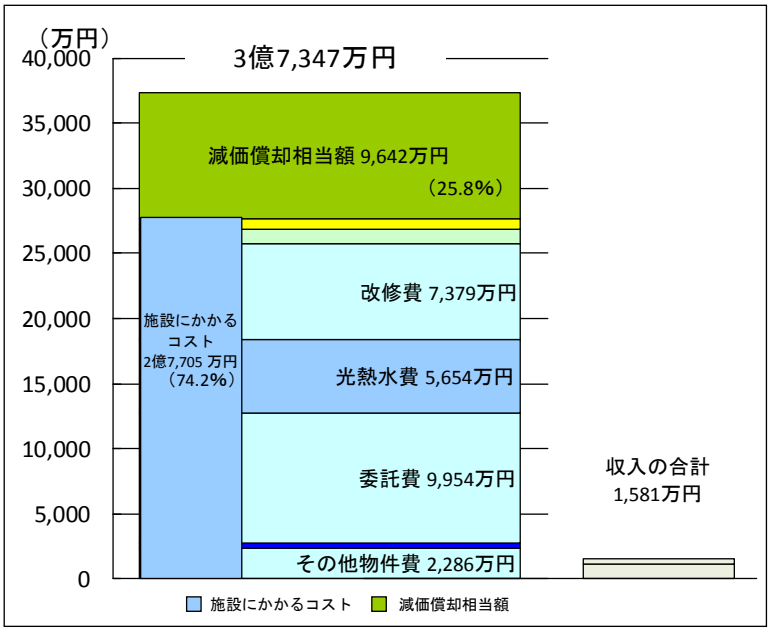
本庁舎の年間トータルコストは、３億 7,347 万円です。年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（委託費等）は２億 7,705 万円（約 74%）、減価償却相当額は 9,642 万円（約 26%）です。

図表　施設別行政コスト計算書（平成 26 年度）

（円）

Ⅰ.現金収支を伴うもの 【コストの部】		本庁舎
施設にかかるコスト	一般職員人件費	8,867,880
	修繕費	10,505,552
	改修費	73,785,600
	光熱水費	56,540,009
	委託費	99,535,731
	使用料及び賃借料	4,955,809
	その他物件費	22,861,445
	施設にかかるコスト	277,052,026
現金収支を伴うコスト　計		277,052,026
【収入の部】		
収入	使用料収入	11,833,082
	諸収入	3,977,268
収入の合計		15,810,350
Ⅱ.現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	96,418,291
Ⅲ.総括		
コストの部合計（トータルコスト）		373,470,317
収支差額（ネットコスト）		357,659,967

図表　市庁舎　トータルコスト（平成 26 年度）



３）実態のまとめ

■ 建物面

- エレベーター昇降路内の耐震対策等、既存不適格であるため、エレベーターの改修が必要となっています。空調設備は、経年劣化に伴う改修が必要です。
- 多様な施策を受けて臨時的に業務を行う執務室として会議室を占用することが多いため、会議室が不足となっており、対応が必要です。

（２２）地区センター、市民サービスコーナー

１）施設概要

①　施設一覧

本市では、地域住民の交流やまちづくり活動など、地域と行政をつなぐ総合窓口として、地区センター、市民サービスコーナーを 10 施設保有しています。

新狭山地区センターは単独、入間川地区センターは市民交流センター内に公民館などとの複合施設となっており、これらを除く８施設はそれぞれ公民館との複合施設となっています。このほか、狭山台地区センター及び奥富地区センターはそれぞれ分（別）室を保有しています。

設置目的：　地方自治法第 155 条第１項の規定に基づき、市長の権限に属する事務の一部を分掌させるため。

図表　施設一覧

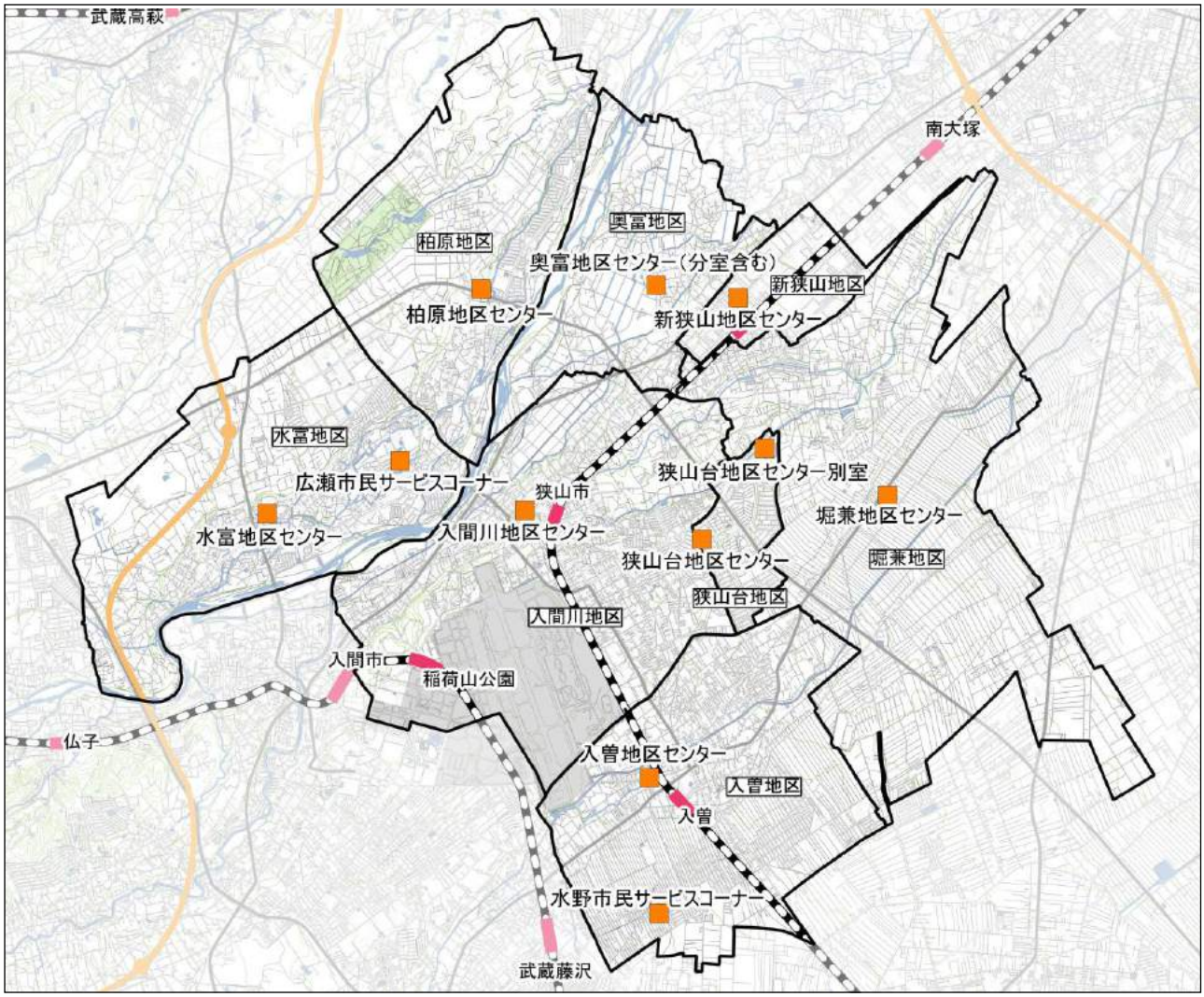
地区	名称	所在地	延床面積（㎡）	建築年度（年度）	構造（主たる建物）	公民館	土地所有	備考
入間川	1 入間川地区センター	入間川 1-3-1	1,037.03	平成24	鉄骨鉄筋コンクリート	●	市	市民センター、中央公民館などとの複合施設
入曽	2 入曽地区センター	南入曽 627	1,180.00	昭和48	鉄筋コンクリート	●	市	
狭山台	3 狭山台地区センター（別室を含む）	狭山台 3-7-1	1,373.04	昭和55	鉄筋コンクリート	●	市	
堀兼	4 堀兼地区センター	堀兼 361	714.00	昭和49	鉄筋コンクリート	●	市	
新狭山	5 新狭山地区センター	新狭山 2-4-7	266.00	昭和63	鉄筋コンクリート		市	
奥富	6 奥富地区センター（分室を含む）	下奥富 1007-1	1,311.58	昭和48	鉄筋コンクリート	●	市	
柏原	7 柏原地区センター	柏原 1154	693.00	昭和47	鉄筋コンクリート	●	市	
水富	8 水富地区センター	根岸 2-17-13	694.00	昭和48	鉄筋コンクリート	●	借地	
入曽	9 水野市民サービスコーナー	水野 891-4	1,561.14	昭和63	鉄筋コンクリート	●	市	
水富	10 広瀬市民サービスコーナー	広瀬東 3-34-1	877.00	昭和57	鉄筋コンクリート	●	市	
合計			9,706.79					

※公民館との複合施設の延床面積は公民館の面積を掲載

※　　：築 30 年以上施設

②　配置状況

図表　地区センター、市民サービスコーナー位置図



③　開館日・開館時間

施設名	休所日	開設時間
入間川地区センター	日曜日・祝日及び年末年始	午前８時30分～午後8時（土曜日は午前８時30分～午後5時15分）
奥富地区センター分室	月曜日・火曜日・祝日及び年末年始	午前９時～正午 午後１時～午後５時
狭山台地区センター別室	日曜日・祝日及び年末年始	午前９時～午後10時
上記以外の施設	土曜日・日曜日・祝日及び年末年始	午前８時30分から午後5時15分

④　事業内容

地区センターでは、地域と行政の協働による地域まちづくりなどの事業を行うほか、各種証明書類の交付を行っています。また、市民サービスコーナーでは各種証明書類の交付を行っています。

区分	証明書の種類	本庁舎	地区センター	市民サービスコーナー
住民基本台帳	住民票の写し	●	●	●
	住民票の記載事項証明	●	●	●
	不在住証明書	●		
	公的年金の現況証明	●	●	●
	個人年金等の現況証明	●	●	●
	広域交付住民票	●		
戸籍	全部事項証明（謄本）	●	●	●
	個人事項証明（抄本）	●	●	●
	除籍・改製原戸籍謄本・抄本	●	●	●
	戸籍の附票の写し（全部・個人事項証明）	●	●	●
	戸籍記載事項証明	●		
	除籍・原戸籍記載事項証明	●		
	戸籍の受理証明	●	●	●
	婚姻受理証明（上質紙タイプ）	●		
	不在籍証明書	●		
	独身証明書	●	●	●
	身分証明書	●	●	●
その他証明	印鑑登録証明書	●	●	●
	住居表示証明	●	●※1	●※2
	本籍変更証明	●		
	町名地番変更証明	●		
	仮ナンバー	●		
	母子健康手帳	●	●	●
税金に関する証明	課税・非課税（所得）証明書	●	●	●
	法人（個人）事業届出済証明書	●	●	●
	納税証明書（各市税）	●	●	●
	納税証明書（車検用）	●	●	●
	土地・家屋評価証明書	●	●	●
	家屋物件所在証明書	●	●	●
	土地・家屋公課証明書	●	●	●
	固定資産税課税台帳（名寄帳）写し	●		

※1　入間川地区センター・水富地区センターのみ

※2　広瀬市民サービスコーナーのみ

２）実態把握

①　建物状況

■　地区センター、市民サービスコーナーの建物総合評価結果

地区センター、市民サービスコーナー12 施設の建物状況について、「第３章 ２公共施設の建物総合評価」に基づき評価を行いました。

		基本情報		①耐震化	②老朽化			③劣化状況	④バリアフリー対応						⑤環境対応			⑥維持管理					
																		維持管理費（千円）			床面積当たり（円/㎡）		
No.	施設名	建築年度	延床面積（㎡）	耐震診断・耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	劣化問診票回答評価	段差なし	案内設備・案内所	エレベーター	※1 車椅子対応トイレ	障がい者用駐車場	授乳室・ベビーシート	自然エネルギー・太陽光発電の導入	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費
1	入間川地区センター	平成24	1,037	－	3		3	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	0	0	0	0	0	0
2	入曽地区センター	昭和48	1,180	×	42		42	△	○	×	×	○	○	○	×	×	×	0	0	0	0	0	0
3	狭山台地区センター	昭和55	814	－	35		35	×	○	×	×	○	○	○	×	×	×	0	0	95	0	0	117
4	狭山台地区センター別室	昭和49	559	○	41		41	×	○	○	○	○	○	×	○	×	×	782	2,210	0	1,399	3,953	0
5	堀兼地区センター	昭和49	714	○	41		41	×	○	×	×	○	○	○	×	×	×	86	257	0	120	360	0
6	新狭山地区センター	昭和63	266	－	27		27	△	×	×	×	○	×	×	×	×	×	585	275	0	2,201	1,034	0
7	奥富地区センター	昭和48	823	○	42		42	△	○	×	×	○	○	○	×	×	×	0	0	0	0	0	0
8	奥富地区センター分室	昭和49	489	○	41		41	×	○	×	×	○	○	×	×	×	×	373	2,274	98	763	4,650	200
9	柏原地区センター	昭和47	693	○	43		43	×	○	×	×	○	○	○	×	×	×	0	0	0	0	0	0
10	水富地区センター	昭和48	694	○	42		42	△	○	×	×	○	○	○	×	×	×	0	0	0	0	0	0
11	水野市民サービスコーナー	昭和63	1,561	－	27		27	△	○	×	○	○	○	○	×	×	×	0	0	0	0	0	0
12	広瀬市民サービスコーナー	昭和57	877	－	33		33	×	○	×	×	○	○	○	×	×	×	0	0	0	0	0	0
	合計・平均		9,707															1,826	5,016	193	900	2,473	148

※1 オストメイト対応トイレ含む
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

：床面積当たり（円/㎡）の平均値
（床面積当たりの平均値＝それぞれの費用の合計/延床面積の合計）

：平均値の1.4倍以上

①④⑤の凡例

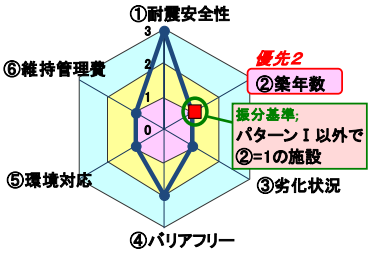
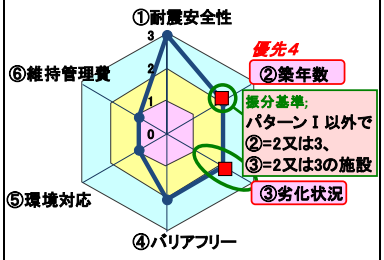
○	：	実施済み
△	：	対策中
×	：	未実施
―	：	不要

③の凡例

○	：	劣化がみられないもの
△	：	一部に劣化がみられるもの・不明
×	：	屋根・外壁等の重要部位に重大な劣化がみられるもの

狭山台地区センター別室、奥富地区センター分室は、築 30 年以上と老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。新狭山地区センターは新耐震基準の建物ですが、築 20 年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。

※新狭山地区センター、奥富地区センター分室、狭山台地区センター別室の 3 施設以外は複合施設の各公民館で評価をしているため除く

評価	パターンⅡ　老朽化	パターンⅣ　今後　老朽化
	・老朽化が進行している ⇒建替え又は大規模改修 などの老朽化対策の検討が必要な施設	・今後、老朽化が進行する ⇒今後老朽化対策の検討が必要になる施設
		
該当施設	該当施設　建築年度 狭山台地区センター別室　昭和49 奥富地区センター分室　昭和49 ＜ 2 施設 ＞	該当施設　建築年度 新狭山地区センター　昭和63 ＜ 1 施設 ＞
コメント	・耐震安全性については問題ありませんが、築30年以上と老朽化がかなり進行しているので、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。	・新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。

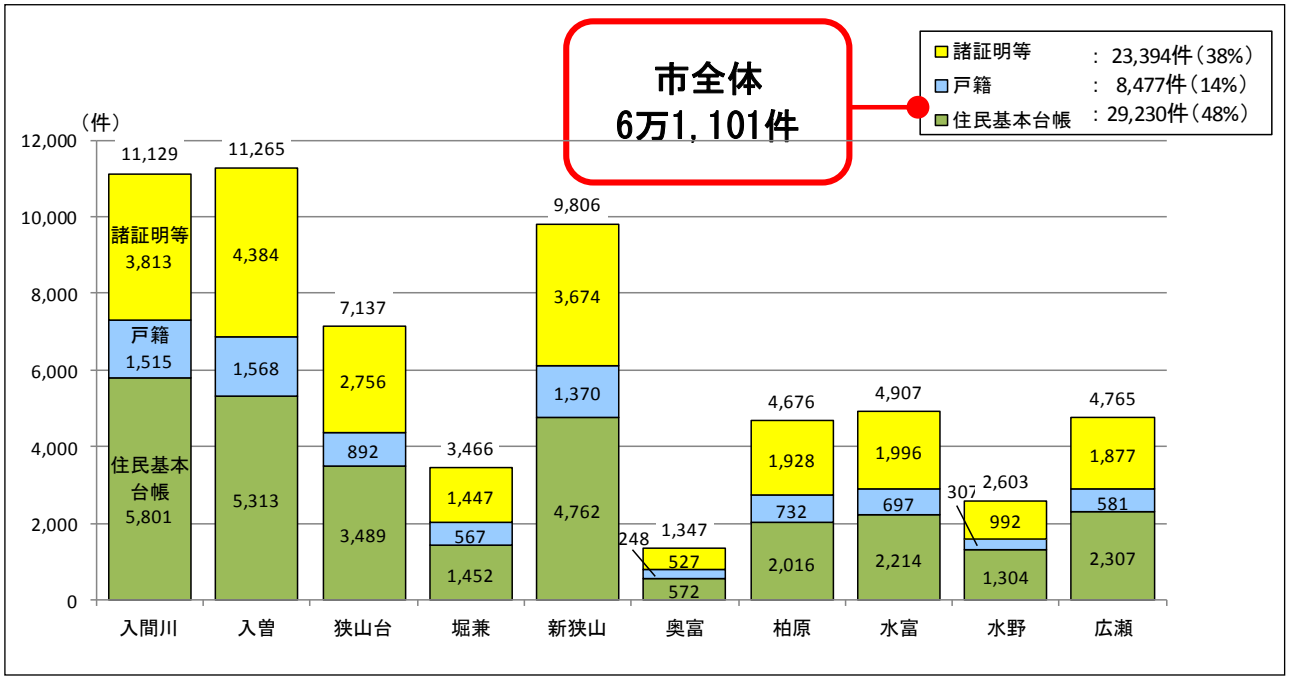
② 利用状況

■ 地区センター、市民サービスコーナー

平成 26 年度の地区センター、市民サービスコーナー全体の窓口利用件数を各種証明取扱件数でとらえると、約６万 1,000 件です。取扱業務ごとの内訳をみると、住民基本台帳関係が約２万 9,000 件と全体の約 48%を占めています。

施設別の利用件数をみると、入曽地区センターが１万 1,265 件と全体の約 18%となっており、続いて入間川地区センター1 万 1,129 件（約 18%）、新狭山地区センター9,806 件（約 16%）となっています。

図表　施設別　利用件数（平成 26 年度）



（出典）行政報告書（平成 26 年度）

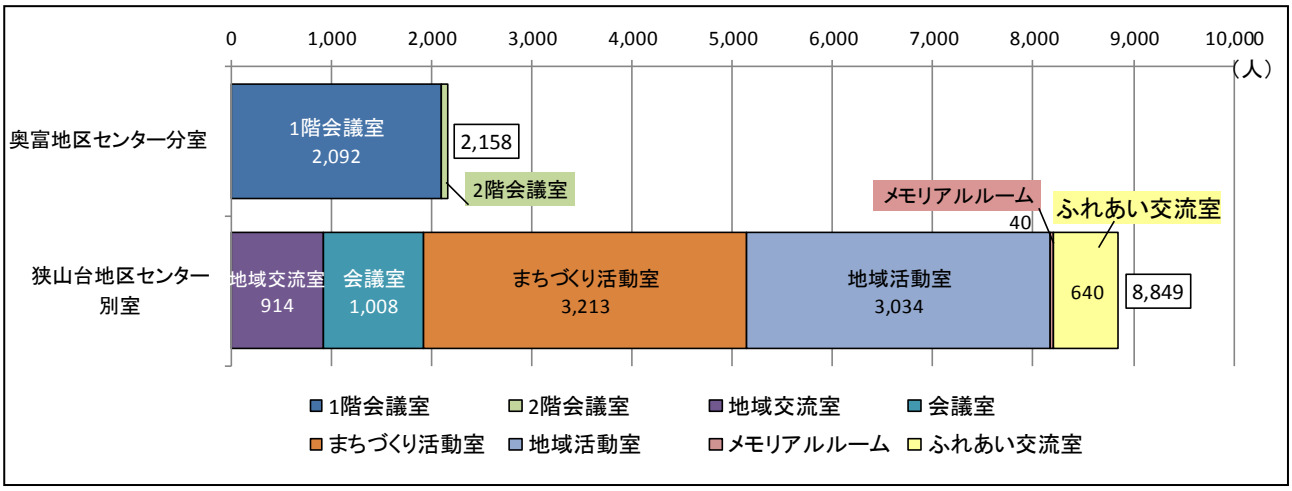
（件）

区分	入間川	入曽	狭山台	堀兼	新狭山	奥富	柏原	水富	水野	広瀬	合計
住民基本台帳	5,801	5,313	3,489	1,452	4,762	572	2,016	2,214	1,304	2,307	29,230
戸籍	1,515	1,568	892	567	1,370	248	732	697	307	581	8,477
諸証明等	3,813	4,384	2,756	1,447	3,674	527	1,928	1,996	992	1,877	23,394
合計	11,129	11,265	7,137	3,466	9,806	1,347	4,676	4,907	2,603	4,765	61,101

■　地区センター分室・別室

まちづくり活動などに利用する地区センター分（別）室の平成 26 年度の利用者数は、奥富地区センターでは 2,158 人、狭山台地区センターは 8,849 人となっています。

図表　施設別利用者数



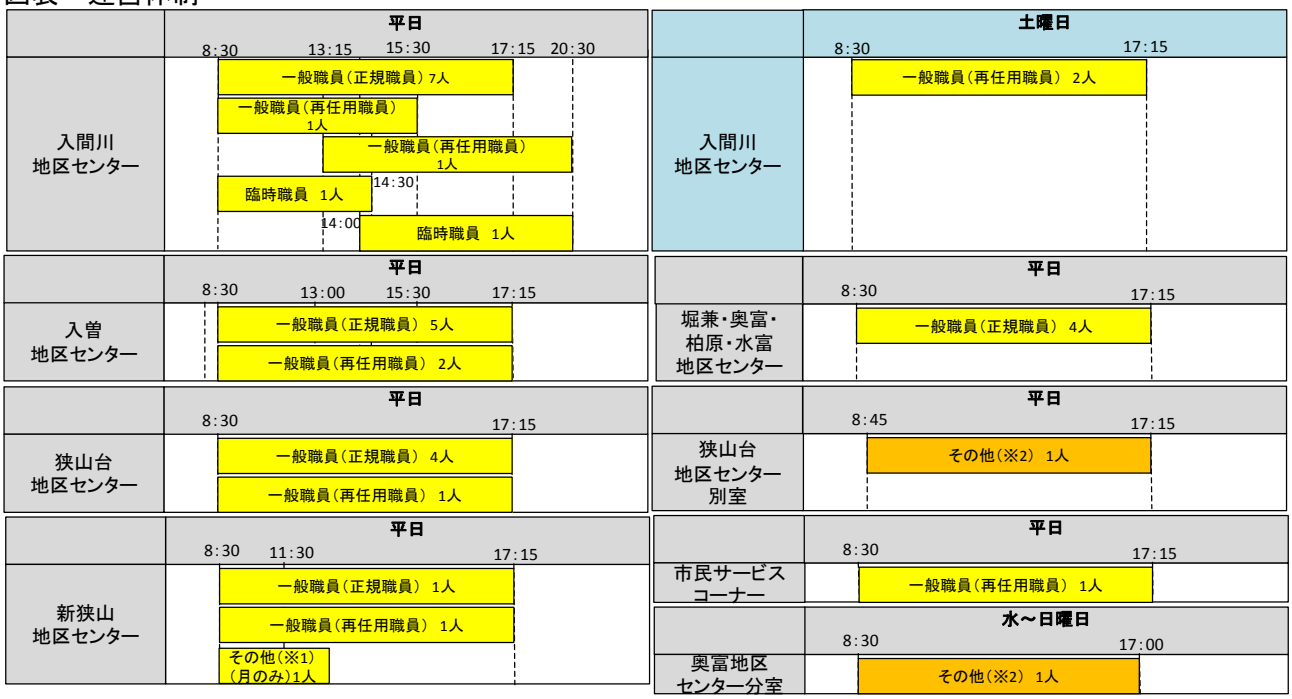
③　運営状況

入間川地区センターは、時間帯によって再任用職員と臨時職員の人員配置を行っています。

狭山台地区センター別室と奥富地区センター分室は委託業者が１人従事しています。

その他の施設は正規職員、再任用職員が同じ時間帯で従事しています。

図表　運営体制



※1　その他：委託業務職員（清掃）

※2　その他：委託業務職員（館内警備管理）

④ コスト状況

地区センターの８施設の年間トータルコストは、２億 225 万円です。年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（委託費等）は 856 万円（4%）、事業運営にかかるコスト（人件費等）は１億 9,083 万円（94%）、減価償却相当額は 286 万円（1%）です。

図表　施設別行政コスト計算書（平成 26 年度）

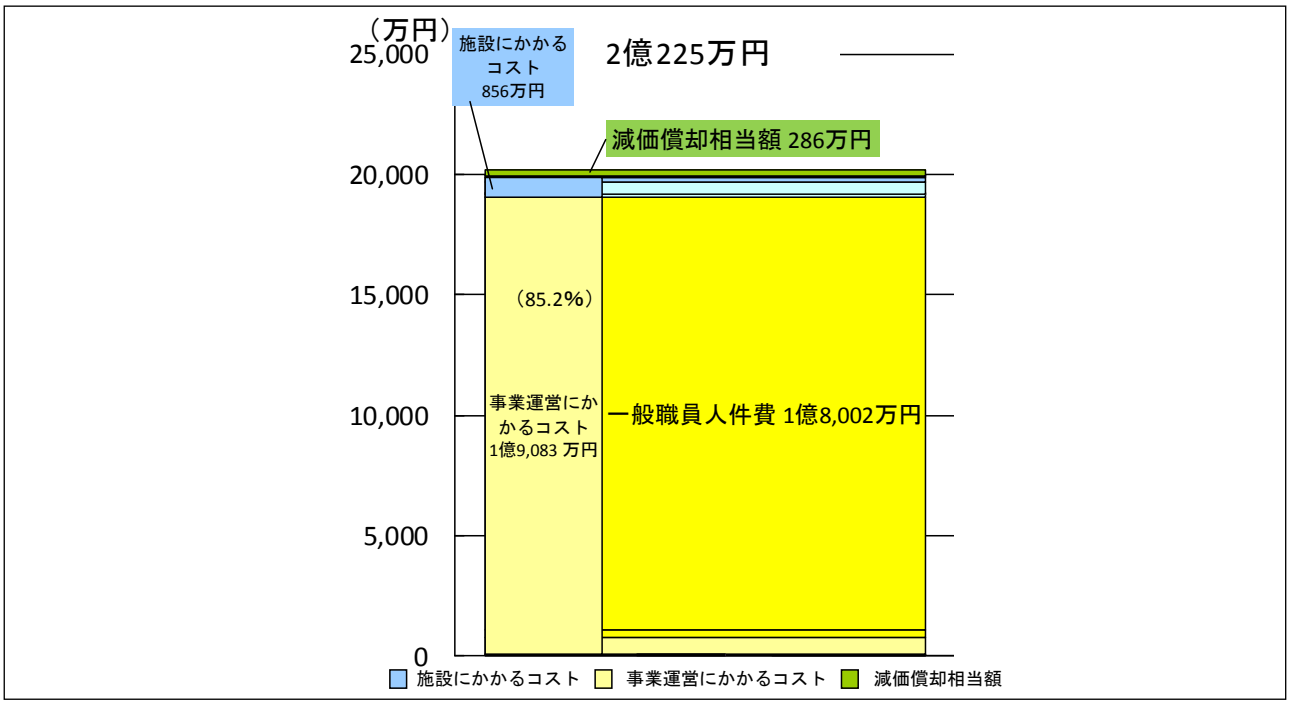
（円）

Ⅰ.現金収支を伴うもの 【コストの部】		入間川	入曽	狭山台（別室含む）	堀兼	新狭山	奥富（分室含む）	柏原	水富	合計
施設にかかるコスト	修繕費	0	0	95,472	0	0	98,280	0	0	193,752
	改修費	0	0	0	149,904	0	0	0	0	149,904
	光熱水費	0	0	782,373	85,627	585,369	373,000	0	0	1,826,369
	委託費	0	0	2,209,964	256,962	275,066	2,273,568	0	0	5,015,560
	使用料及び賃借料	0	0	4,212	0	68,329	15,444	0	0	87,985
	その他物件費	9,980	174,550	440,586	85,337	107,467	218,288	85,080	167,479	1,288,767
	施設にかかるコスト	9,980	174,550	3,532,607	577,830	1,036,231	2,978,580	85,080	167,479	8,562,337
事業運営にかかるコスト	事業運営 一般職員人件費	24,830,064	39,905,460	24,830,064	17,735,760	24,830,064	17,735,760	20,396,124	9,754,668	180,017,964
	事業運営 その他人件費	3,067,320	0	0	0	0	0	0	0	3,067,320
	事業運営 負担金補助及び交付金	816,000	530,000	1,100,000	1,100,000	800,000	1,000,000	600,000	900,000	6,846,000
	事業運営 その他物件費	68,888	99,188	68,888	103,288	68,888	96,938	99,188	109,080	714,342
	事業運営	28,782,272	40,534,648	25,998,952	18,939,048	25,698,952	18,832,698	21,095,312	10,763,748	190,645,626
	その他物件費	0	0	139,590	29,160	6,015	0	6,264	0	181,029
	事務・庶務 事務・庶務	0	0	139,590	29,160	6,015	0	6,264	0	181,029
	事業運営にかかるコスト	28,782,272	40,534,648	26,138,542	18,968,208	25,704,967	18,832,698	21,101,576	10,763,748	190,826,655
現金収支を伴うコスト 計		28,792,252	40,709,198	29,671,149	19,546,038	26,741,198	21,811,278	21,186,656	10,931,227	199,388,992
Ⅱ.現金収支を伴わないもの										
コスト	減価償却相当額	0	0	403,569	0	1,430,000	1,029,758	0	0	2,863,327
Ⅲ.総括										
コストの部合計（トータルコスト）		28,792,252	40,709,198	30,074,718	19,546,038	28,171,198	22,841,036	21,186,656	10,931,227	202,252,319
収支差額（ネットコスト）		28,792,252	40,709,198	30,074,718	19,546,038	28,171,198	22,841,036	21,186,656	10,931,227	202,252,319

※水野市民サービスコーナーは水野公民館経費、広瀬市民サービスコーナーは広瀬公民館経費に含まれています。

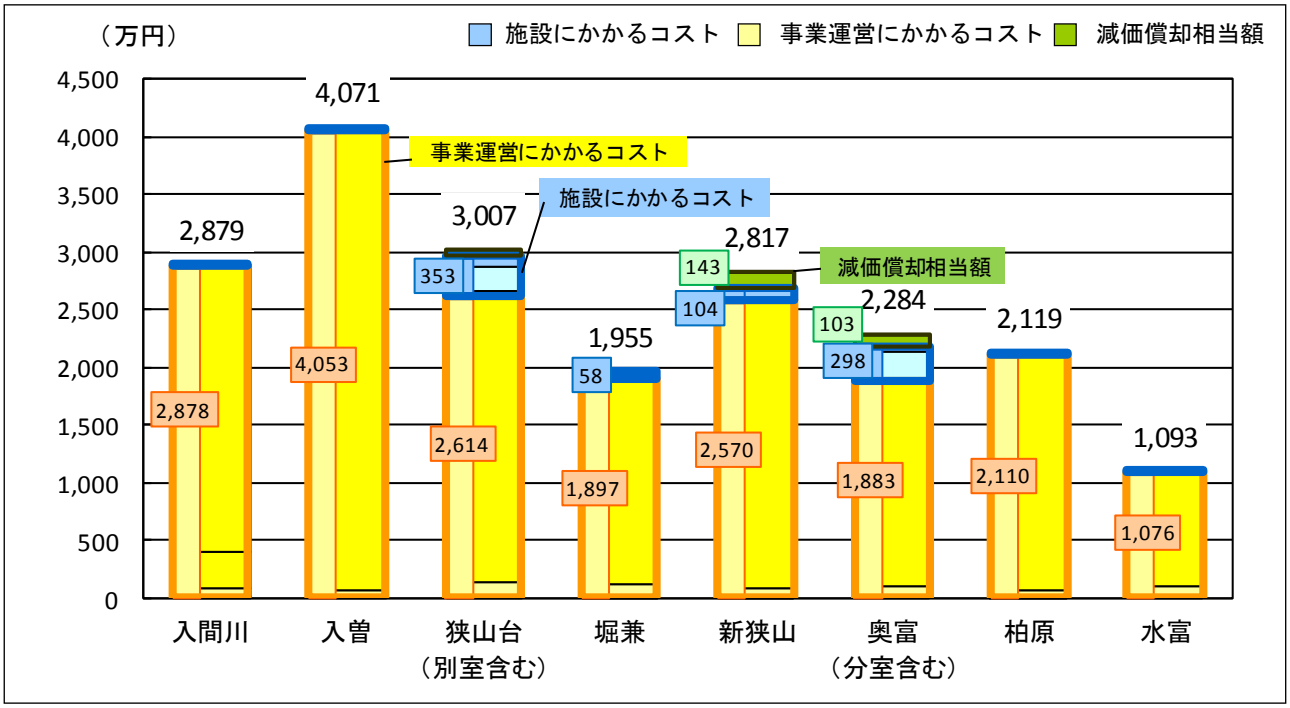
※狭山台地区センター別室、新狭山地区センター、奥富地区センター分室以外は減価償却相当額は公民館に計上しています。

図表　地区センター　全施設トータルコスト（平成 26 年度）



施設別トータルコストでは、水富地区センターの 1,093 万円から入曽地区センターの 4,071 万円で、８施設の平均は、2,528 万円となっています。

図表　地区センター　施設別トータルコスト（平成 26 年度）

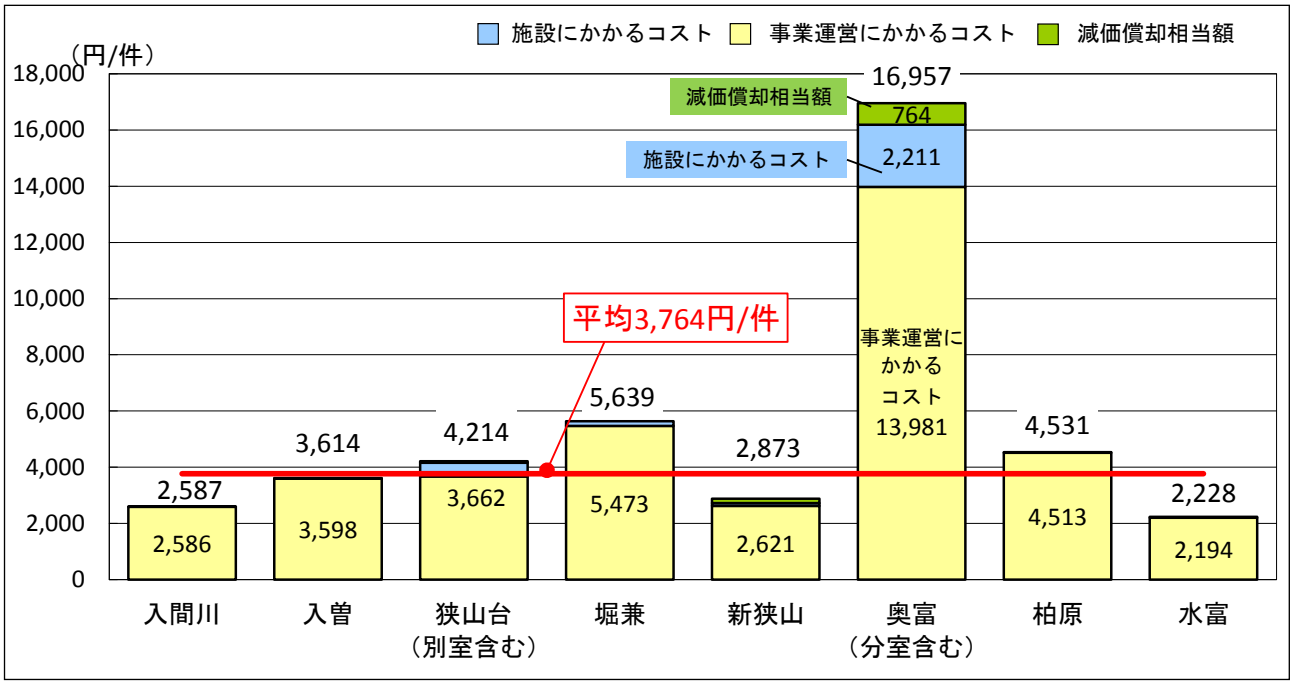


３）評価・分析

■　地区センター　利用１件当たりのコスト

年間利用件数（証明取扱件数）とトータルコストから、利用（証明取扱）１件当たりにかかるコストを算出すると、水富地区センターの 2,228 円/件から奥富地区センターの１万 6,957 円/件となっています。

図表　施設別　利用１件当たりコスト



４）実態のまとめ

■　建物面

・　狭山台地区センター別室及び奥富地区センター分室は築 30 年以上と老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。

■　利用・運営面

・　トータルコストのうち人件費の占める割合は約 82%となっており、運営の効率化や職員配置のあり方等について検討が必要です。

（２３）市営住宅

１）施設概要

①　施設一覧

本市では、公営住宅として賃貸するための市営住宅を 18 施設保有しています。

設置目的：　公営住宅法に基づき、健康で文化的な生活を営むに足りる住宅を整備し、国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

図表　施設一覧

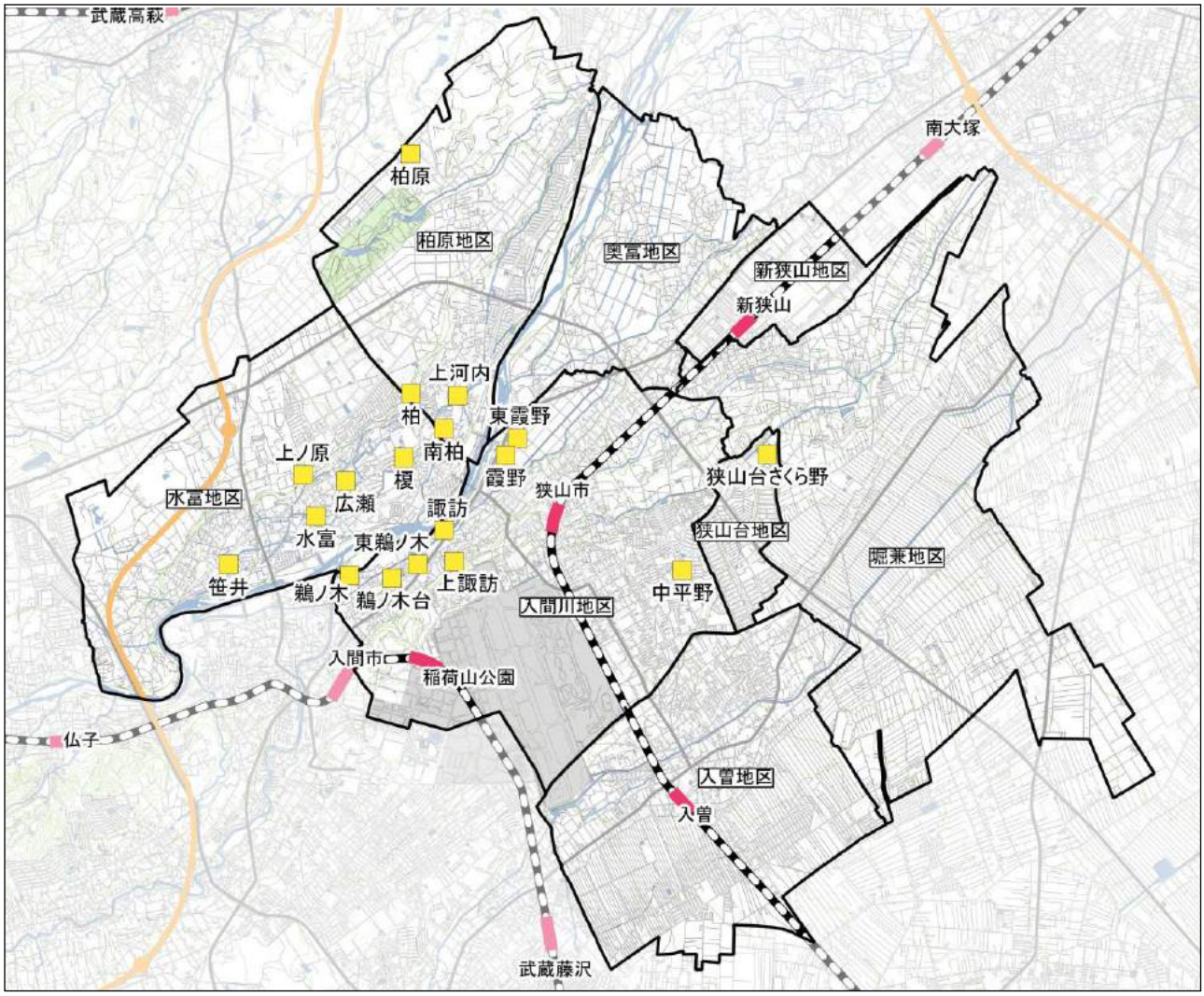
地区	名称	所在地	延床面積（㎡）	建築年度（年度）	構造（主たる建物）	間取り	戸数	土地所有
入間川	1 上諏訪団地	入間川 4-16ほか	2,268.00	昭和36	コンクリートブロック	2DK	56戸	市
入間川	2 鵜ノ木団地	鵜ノ木 28ほか	3,087.00	昭和39	プレキャストコンクリート	2DK	76戸	市
水富	3 榎団地	広瀬東 3-33	1,710.00	昭和43	プレキャストコンクリート	2DK	40戸	市
水富	4 広瀬団地	広瀬東 3-3-7ほか	1,853.00	昭和45	鉄筋コンクリート	2UDK	40戸	市
水富	5 水富団地	広瀬 2-29-1ほか	1,568.00	昭和46	鉄筋コンクリート	2UDK	32戸	市
入間川	6 東鵜ノ木団地	鵜ノ木 4-44	1,635.00	昭和47	鉄筋コンクリート	2UDK	32戸	市
入間川	7 鵜ノ木台団地	鵜ノ木 7-10	1,751.00	昭和48	鉄筋コンクリート	2UDK	32戸	市
入間川	8 中平野団地	入間川 1465-2	2,427.00	昭和49	鉄筋コンクリート	3DK	40戸	市
柏原	9 南柏団地	柏原 2877-1ほか	2,185.00	昭和50	鉄筋コンクリート	3DK	36戸	市
水富	10 上ノ原団地	上広瀬 1345-1	4,912.00	昭和52	鉄筋コンクリート	3DK	80戸	市
水富	11 笹井団地	笹井 1-9-1ほか	3,277.00	昭和55	鉄筋コンクリート	3DK	50戸	市
入間川	12 霞野団地	入間川 2-32-6	771.00	昭和56	鉄筋コンクリート	3DK	12戸	市
入間川	13 東霞野団地	入間川 2-31-28	2,379.00	昭和57	鉄筋コンクリート	3DK	36戸	市
柏原	14 上河内団地	柏原 2778-4	1,064.00	昭和62	鉄筋コンクリート	3DK他	16戸	市
柏原	15 柏団地	柏原 99-2ほか	8,601.00	平成元	鉄筋コンクリート	3DK他	110戸	市
狭山台	16 狭山台さくら野団地	狭山台 1-29-1	6,682.00	平成4	鉄骨鉄筋コンクリート	3DK他	80戸	市
入間川	17 諏訪団地	入間川 4-4-8	1,754.00	平成5	鉄筋コンクリート	1DK 3DK	26戸	市
柏原	18 柏原団地	柏原 692-15	2,008.00	平成12	鉄筋コンクリート	3DK他	29戸	市
合計			49,932.00				823戸	

※　上諏訪団地、榎団地は現在、入居登録者の募集はしていません。

※　：築 30 年以上施設

②　配置状況

図表　市営住宅位置図



③　入居方法

毎年、７月に入居登録者を募集。資格審査に必要な書類と共に申し込みを行う。

２）実態把握

①　建物状況

■ 市営住宅の建物総合評価結果

市営住宅 18 施設の建物状況について、「第３章 ２公共施設の建物総合評価」に基づき評価を行いました。

		基本情報		①耐震化	②老朽化			③劣化状況	④バリアフリー対応						⑤環境対応			⑥維持管理					
																		維持管理費（千円）			床面積当たり（円/㎡）		
No.	施設名	建築年度	延床面積（㎡）	耐震診断・耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	劣化問診票回答評価	段差なし	案内設備・案内所	エレベーター	※1 車椅子対応トイレ	障がい者用駐車場	授乳室・ベビーシート	自然エネルギー・太陽光発電の導入	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費
1	上諏訪団地	昭和36	2,268	－	54		54	対象外	×	－	－	－	－	－	×	－	－	－	190	242	－	84	107
2	鵜ノ木団地	昭和39	3,087	－	51		51	対象外	×	－	－	－	－	－	×	－	－	－	42	1,222	－	14	396
3	榎団地	昭和43	1,710	－	47		47	**対象外**	×	－	－	－	－	－	×	－	－	－	30	241	－	18	141
4	広瀬団地	昭和45	1,853	○	45		45	△	×	－	×	－	－	－	×	－	－	－	389	76	－	210	41
5	水富団地	昭和46	1,568	○	44		44	△	×	－	×	－	－	－	×	－	－	－	323	256	－	206	163
6	東鵜ノ木団地	昭和47	1,635	－	43		43	△	×	－	×	－	－	－	×	－	－	－	291	230	－	178	141
7	鵜ノ木台団地	昭和48	1,751	－	42		42	○	×	－	×	－	－	－	×	－	－	－	312	949	－	178	542
8	中平野団地	昭和49	2,427	－	41		41	○	×	－	×	－	－	－	×	－	－	－	389	445	－	160	183
9	南柏団地	昭和50	2,185	－	40		40	△	×	－	×	－	－	－	×	－	－	－	395	304	－	181	139
10	上ノ原団地	昭和52	4,912	－	38		38	×	×	－	×	－	－	－	×	－	－	－	947	344	－	193	70
11	笹井団地	昭和55	3,277	－	35		35	△	×	－	×	－	－	－	×	－	－	－	638	1,257	－	195	384
12	霞野団地	昭和56	771	－	34		34	△	×	－	×	－	－	－	×	－	－	－	117	0	－	152	0
13	東霞野団地	昭和57	2,379	－	33		33	△	×	－	×	－	－	－	×	－	－	－	513	106	－	216	45
14	上河内団地	昭和62	1,064	－	28		28	△	○	－	×	○	○	－	×	－	－	－	171	241	－	161	227
15	柏団地	平成元	8,601	－	26		26	△	○	－	○	○	○	－	×	－	－	－	2,640	1,238	－	307	144
16	狭山台さくら野団地	平成4	6,682	－	23		23	△	○	－	○	○	○	－	×	－	－	－	2,024	1,665	－	303	249
17	諏訪団地	平成5	1,754	－	22		22	×	○	－	×	○	○	－	×	－	－	－	390	294	－	222	168
18	柏原団地	平成12	2,008	－	15		15	△	○	－	○	○	○	－	○	－	－	－	1,934	227	－	963	113
	合計・平均		49,932															－	11,736	9,337	－	235	187

※1 オストメイト対応トイレ含む
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

：床面積当たり（円/㎡）の平均値
（床面積当たりの平均値＝それぞれの費用の合計/延床面積の合計）

：平均値の1.4倍以上

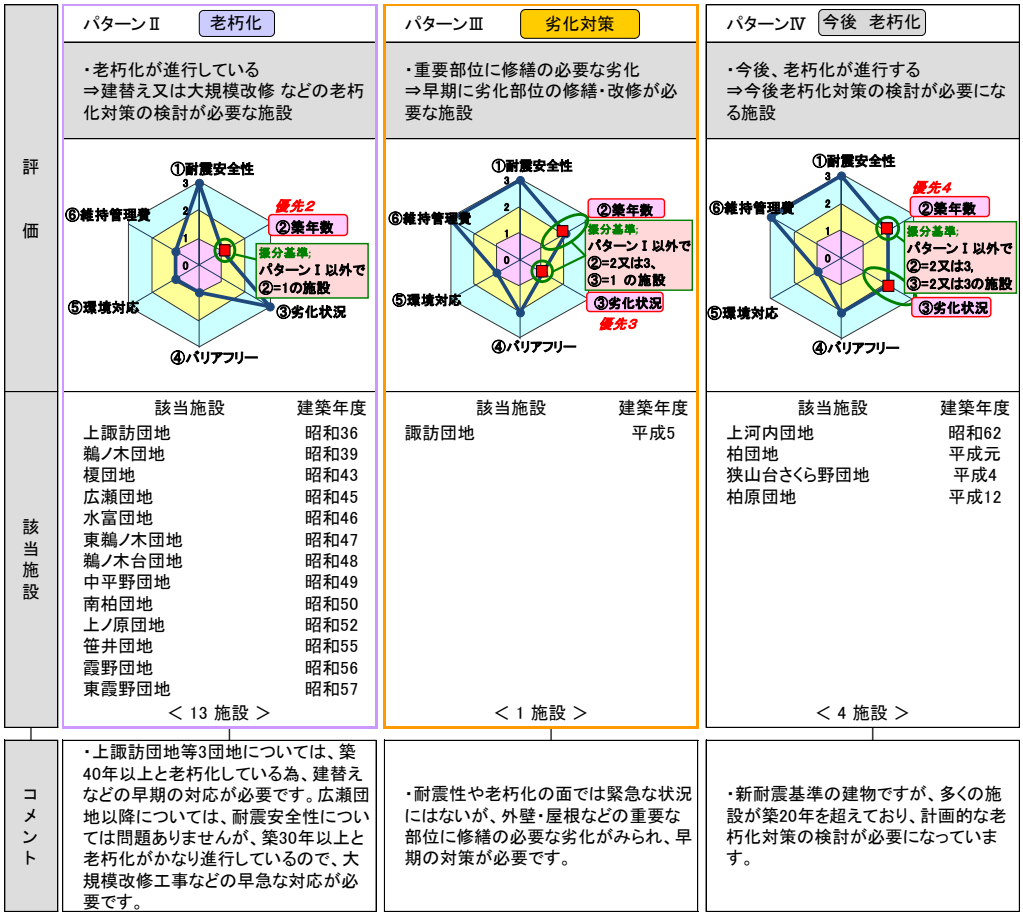
①④⑤の凡例

○ ： 実施済み
△ ： 対策中
× ： 未実施
― ： 不要

③の凡例

○ ： 劣化がみられないもの
△ ： 一部に劣化がみられるもの・不明
× ： 屋根・外壁等の重要部位に重大な劣化がみられるもの

上諏訪団地等の３施設は、築 40 年以上と老朽化が大変進行しており、建替えなどの早期の対応が必要です。広瀬団地等の 10 施設は、築 30 年以上と老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。諏訪団地は、外壁に修繕の必要な劣化がみられ、早期の対策が必要です。上河内団地等の４施設は、多くの施設が築 20 年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。



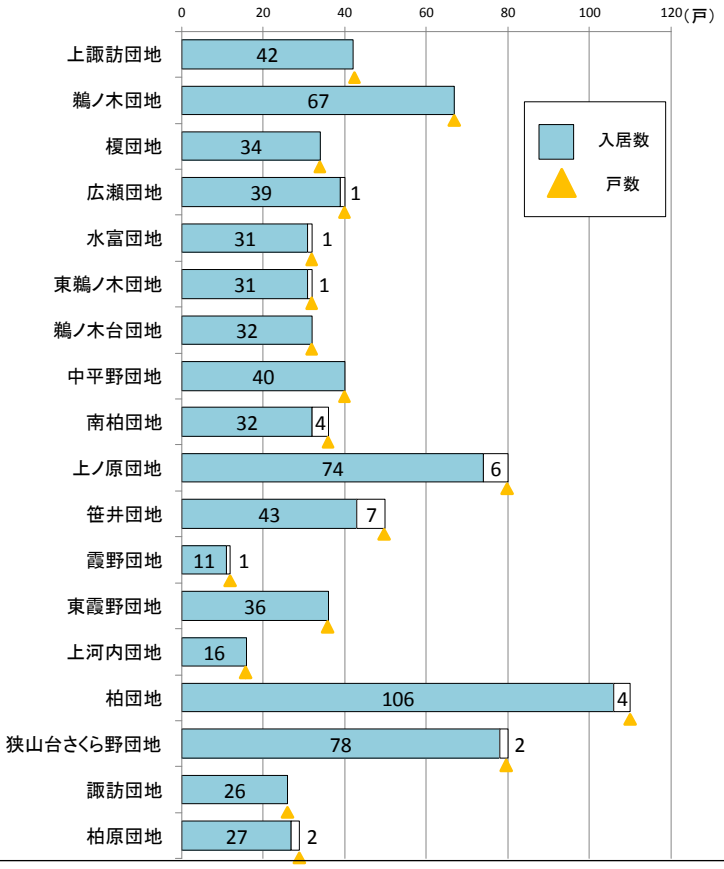
② 利用状況

■ 全体の利用状況

市営住宅の入居戸数は、全体で 765 戸であり、柏団地が１０６戸と最も多くなっています。入居率をみると全体で 96.3%となっており、団地毎でみると鵜ノ木団地建替え事業により、政策空家のある上諏訪団地、鵜ノ木団地、榎団地を除く、鵜ノ木台団地、中平野団地、東霞野団地、上河内団地、諏訪団地の５施設が 100%です。

図表　入居戸数（平成 26 年度）

戸数	入居	入居率
※ 42	42	100.0%
※ 67	67	100.0%
※ 34	34	100.0%
40	39	97.5%
32	31	96.9%
32	31	96.9%
32	32	100.0%
40	40	100.0%
36	32	88.9%
80	74	92.5%
50	43	86.0%
12	11	91.7%
36	36	100.0%
16	16	100.0%
110	106	96.4%
80	78	97.5%
26	26	100.0%
29	27	93.1%



（出典）住宅　間取り・入居率

※印は、政策空家を除く戸数です。

③ 運営状況

市営住宅は全て市の直営となっています。

３）コスト状況

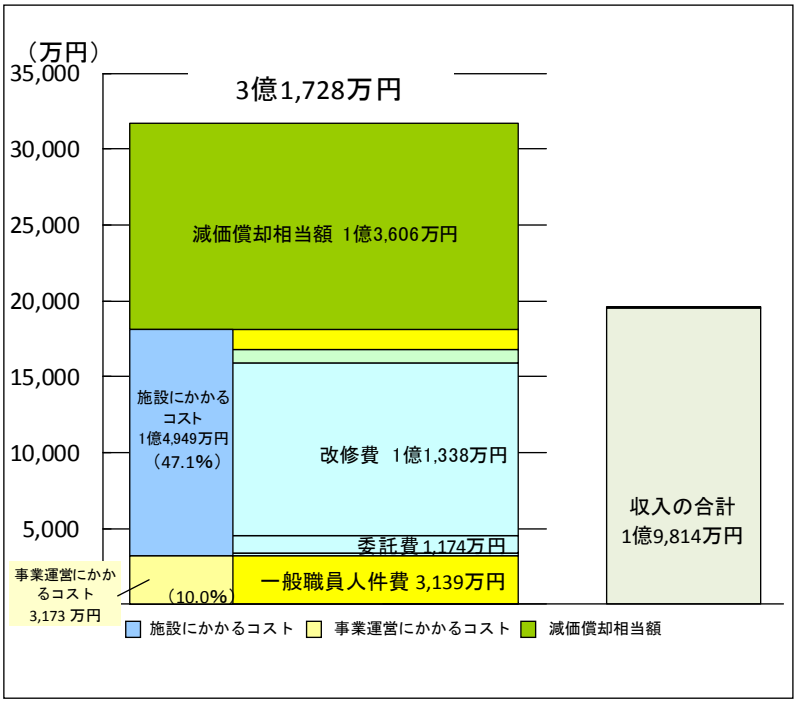
市営住宅の年間トータルコストは、３億 1,728 万円です。年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（委託費等）は１億 4,949 万円（約 47%）、事業運営にかかるコスト（人件費等）は 3,173 万円（約 10%）、減価償却相当額は１億 3,606 万円（約 43%）です。

図表　行政コスト計算書（平成 26 年度）

（円）

Ⅰ.現金収支を伴うもの 【コストの部】		市営住宅
施設にかかるコスト	一般職員人件費	12,947,105
	修繕費	9,337,273
	改修費	113,378,409
	委託費	11,735,807
	使用料及び賃借料	331,776
	その他物件費	1,757,036
	施設にかかるコスト	149,487,406
事業運営にかかるコスト	事業運営 一般職員人件費	31,392,295
	事業運営 その他物件費	297,078
	事業運営	31,689,373
	その他物件費	37,276
	事務・庶務 事務・庶務	37,276
	事業運営にかかるコスト	31,726,649
現金収支を伴うコスト　計		181,214,055
【収入の部】		
収入	使用料収入	197,888,350
	諸収入	250,137
収入の合計		198,138,487
Ⅱ.現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	136,063,472
Ⅲ.総括		
コストの部合計（トータルコスト）		317,277,527
収支差額（ネットコスト）		119,139,040

図表　市営住宅　全施設トータルコスト（平成 26 年度）



４）実態のまとめ

■ 建物面

・ 18 施設中 13 施設が築 30 年以上経過しており、老朽化が進行していますが、市営住宅は、狭山市市営住宅長寿命化計画に基づき、３施設は、建替え事業を進めており、10 施設は、老朽化施設の改修を始めています。

■ 利用・運営面

・ 市営住宅全体の入居率は約 96%で、入居率 100%の施設も政策空家のある３団地を除き５施設あります。市営住宅の住宅セーフティネットとしての役割の重要性は増しており、施設（戸数）の削減は困難であるため、県営住宅等の公的賃貸住宅ストックとも連携しながら、安定した公的住宅の供給を図っていく必要があります。

（２４）供給処理施設

１）施設概要

①　施設一覧

本市では、廃棄物の処理、再利用のための施設として、供給処理施設を４施設保有しています。

設置目的：　廃棄物の発生を抑制し、再利用を促進するとともに、廃棄物を適正に処理し、あわせて生活環境を清潔にすることにより、良好な生活環境の保全及び公衆衛生の向上並びに資源が循環して利用されるまちづくりを図ることを目的とする。

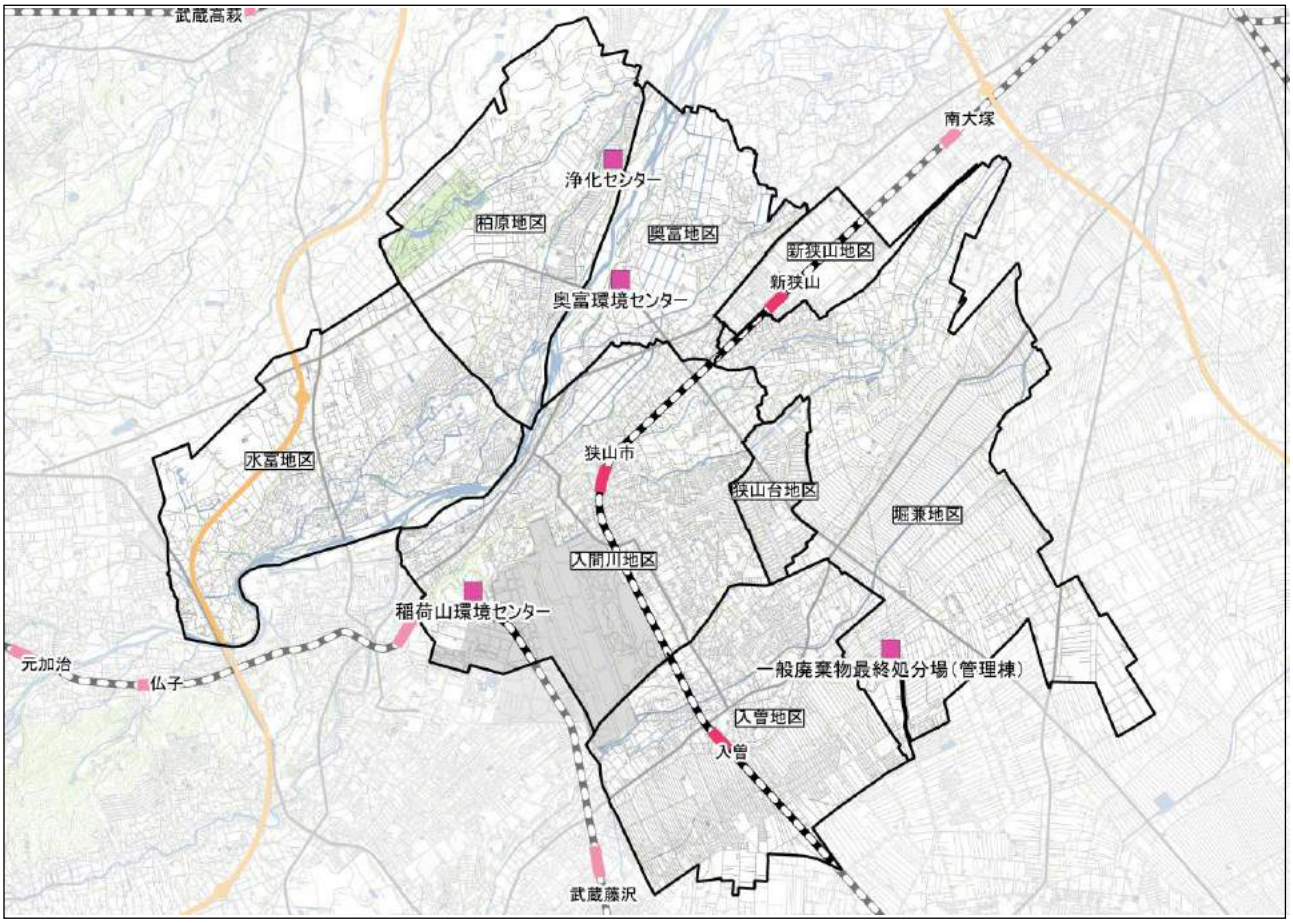
図表　施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積（㎡）	建築年度（年度）	構造（主たる建物）	土地所有
奥富	1 奥富環境センター	上奥富 897-1	7,838.83	平成19	鉄骨鉄筋コンクリート	一部
入間川	2 稲荷山環境センター	稲荷山 1-12-1	11,471.76	平成7	鉄筋コンクリート	借地
柏原	3 浄化センター	柏原 3467-1	2,972.20	平成15	鉄筋コンクリート	市
堀兼	4 一般廃棄物最終処分場（管理棟）	加佐志 568	255.72	昭和63	鉄筋コンクリート	市
合計			22,538.51			

※　　：築 30 年以上施設

②　配置状況

図表　供給処理施設位置図



２）実態把握

①　建物状況

■ 供給処理施設の建物総合評価結果

供給処理施設４施設の建物状況について、「第３章 ２公共施設の建物総合評価」に基づき評価を行いました。

No.	施設名	基本情報 建築年度	基本情報 延床面積（㎡）	①耐震化 耐震診断・耐震改修	②老朽化 築年数	②老朽化 直近の大規模改修	②老朽化 築年数または直近の大規模改修後経過年数	③劣化状況 劣化問診票回答評価	④バリアフリー対応 段差なし	④バリアフリー対応 案内設備・案内所	④バリアフリー対応 エレベーター	④バリアフリー対応 ※1 車椅子対応トイレ	④バリアフリー対応 障がい者用駐車場	④バリアフリー対応 授乳室・ベビーシート	⑤環境対応 自然エネルギー・太陽光発電の導入	⑤環境対応 屋上・壁面緑化等	⑤環境対応 環境対応設備※2	⑥維持管理 維持管理費（千円） 光熱水費	⑥維持管理 維持管理費（千円） 建物管理委託費	⑥維持管理 維持管理費（千円） 各所修繕費	⑥維持管理 床面積当たり（円/㎡） 光熱水費	⑥維持管理 床面積当たり（円/㎡） 建物管理委託費	⑥維持管理 床面積当たり（円/㎡） 各所修繕費
1	奥富環境センター	平成19	7,839	－	8		8	△	○	×	○	○	○	×	○	○	○	24,059	5,535	52,230	3,069	706	6,663
2	稲荷山環境センター	平成7	11,472	○	20		20	△	×	×	○	○	○	×	×	×	○	131,745	122,549	100,035	11,484	10,683	8,720
3	浄化センター	平成15	2,972	－	12		12	○	○	×	×	○	○	×	×	×	○	27,186	5,086	12,659	9,147	1,711	4,259
4	一般廃棄物最終処分場（管理棟）	昭和63	256	－	27		27	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	1,728	104	3,158	6,759	406	12,348
	合計・平均		22,539															184,718	133,274	168,082	8,196	5,913	7,457

※1 オストメイト対応トイレ含む
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

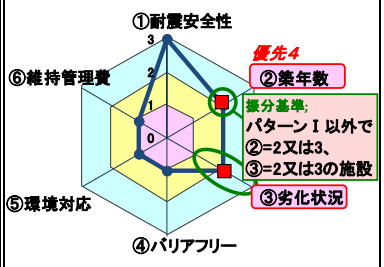
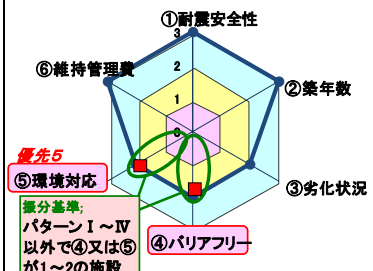
:床面積当たり(円/㎡)の平均値
（床面積当たりの平均値＝それぞれの費用の合計/延床面積の合計）

:平均値の1.4倍以上

①④⑤の凡例
○ ： 実施済み
△ ： 対策中
× ： 未実施
― ： 不要

③の凡例
○ ： 劣化がみられないもの
△ ： 一部に劣化がみられるもの・不明
× ： 屋根・外壁等の重要部位に重大な劣化がみられるもの

稲荷山環境センター、一般廃棄物最終処分場（管理棟）は築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。奥富環境センターはバリアフリー、浄化センターはバリアフリーと環境対応について、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。

	パターンⅣ 今後 老朽化	パターンⅤ バリアフリー・環境対応
評価	・今後、老朽化が進行する ⇒今後老朽化対策の検討が必要になる施設	・バリアフリー、環境対応が未完了 ⇒今後、バリアフリーや環境対応が完了していない部分の整備が望まれる施設
評価		
該当施設	該当施設 建築年度 稲荷山環境センター 平成7 一般廃棄物最終処分場（管理棟） 昭和63 ＜２施設＞	該当施設 建築年度 奥富環境センター 平成19 浄化センター 平成15 ＜２施設＞
コメント	・新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。	・比較的新しい施設ですが、奥富環境センターはバリアフリー、浄化センターはバリアフリーと環境対応について、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。

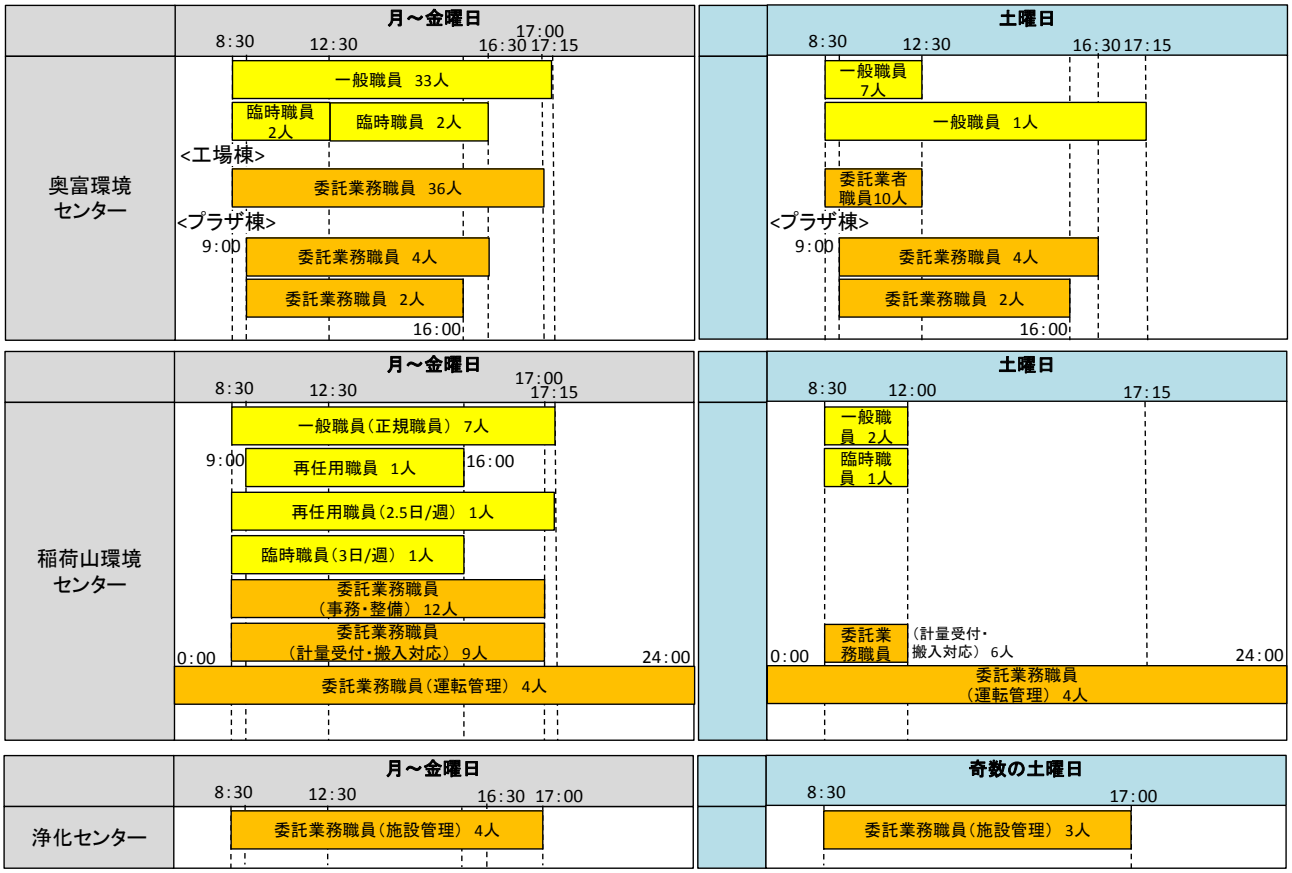
② 運営状況

奥富環境センターは、棟ごとに人員配置がされており、工場棟とプラザ棟に一般職員及び業務委託職員が業務に応じて従事しています。

稲荷山環境センターは、月から金曜日が 30 人以上が従事していますが、土曜日は８時 30 分から３時間 30 分に９人が従事しています。また、運転管理の業務委託職員は、終日 24 時間対応で４人が従事しています。

浄化センターは、月から金曜日と奇数の土曜日に委託業務職員が３から４人が従事しています。

図表　運営体制



③ コスト状況

供給処理施設の４施設の年間トータルコストは、26 億 5,383 万円です。年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（委託費等）は５億 5,379 万円（約 21%）、事業運営にかかるコスト（人件費等）は 14 億 6,990 万円（約 55%）、減価償却相当額は６億 3,014 万円（約 24%）です。

図表　施設別行政コスト計算書（平成 26 年度）

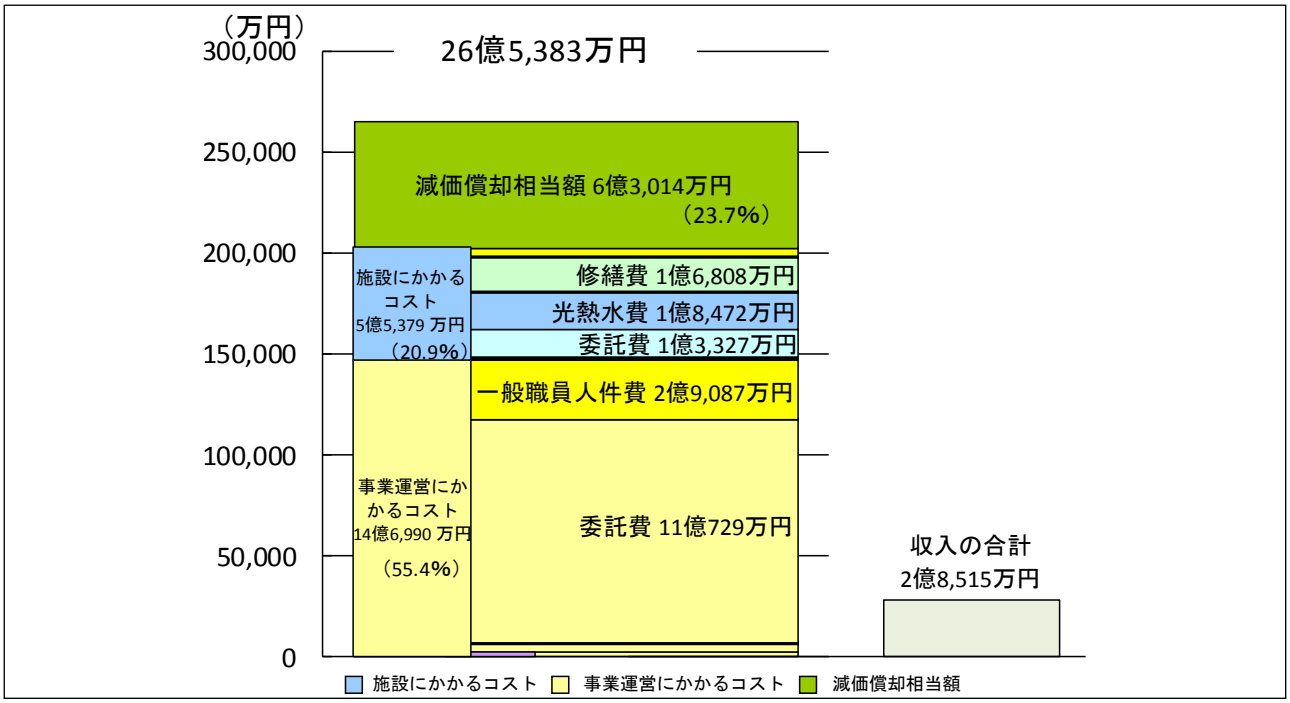
（円）

Ⅰ.現金収支を伴うもの 【コストの部】		奥富環境センター	稲荷山環境センター	浄化センター	一般廃棄物最終処分場（管理棟）	合計
施設にかかるコスト	一般職員人件費	13,301,820	23,943,276	4,433,940	0	41,679,036
	その他人件費	3,655,400	0	0	0	3,655,400
	修繕費	52,230,241	100,035,054	12,659,393	3,157,736	168,082,424
	改修費	0	6,048,000	0	0	6,048,000
	光熱水費	24,059,303	131,744,685	27,186,321	1,728,437	184,718,746
	委託費	5,534,902	122,548,572	5,086,260	103,906	133,273,640
	使用料及び賃借料	4,691,665	91,790	0	0	4,783,455
	その他物件費	4,225,323	6,982,980	190,326	153,817	11,552,446
	施設にかかるコスト	107,698,654	391,394,357	49,556,240	5,143,896	553,793,147
事業運営にかかるコスト	事業運営 一般職員人件費	239,432,760	46,999,764	4,433,940	0	290,866,464
	事業運営 その他人件費	0	1,144,733	0	0	1,144,733
	事業運営 委託費	743,834,951	318,511,303	42,967,803	1,976,400	1,107,290,457
	事業運営 使用料及び賃借料	0	0	7,780	0	7,780
	事業運営 車両・備品購入費	8,272,800	0	0	0	8,272,800
	事業運営 負担金補助及び交付金	538,800	122,550	65,100	0	726,450
	事業運営 その他物件費	4,151,832	29,425,852	4,650,794	343,838	38,572,316
	事業運営	996,231,143	396,204,202	52,125,417	2,320,238	1,446,881,000
	事務・庶務 その他物件費	634,006	22,361,790	0	24,600	23,020,396
	事務・庶務	634,006	22,361,790	0	24,600	23,020,396
	事業運営にかかるコスト	996,865,149	418,565,992	52,125,417	2,344,838	1,469,901,396
現金収支を伴うコスト　計		1,104,563,803	809,960,349	101,681,657	7,488,734	2,023,694,543
【収入の部】						
収入	諸収入	132,006,843	150,101,305	3,037,078	0	285,145,226
収入の合計		132,006,843	150,101,305	3,037,078	0	285,145,226
Ⅱ.現金収支を伴わないもの						
コスト	減価償却相当額	31,816,706	549,151,722	48,592,105	577,105	630,137,638
Ⅲ.総括						
コストの部合計（トータルコスト）		1,136,380,509	1,359,112,071	150,273,762	8,065,839	2,653,832,181
収支差額（ネットコスト）		1,004,373,666	1,209,010,766	147,236,684	8,065,839	2,368,686,955

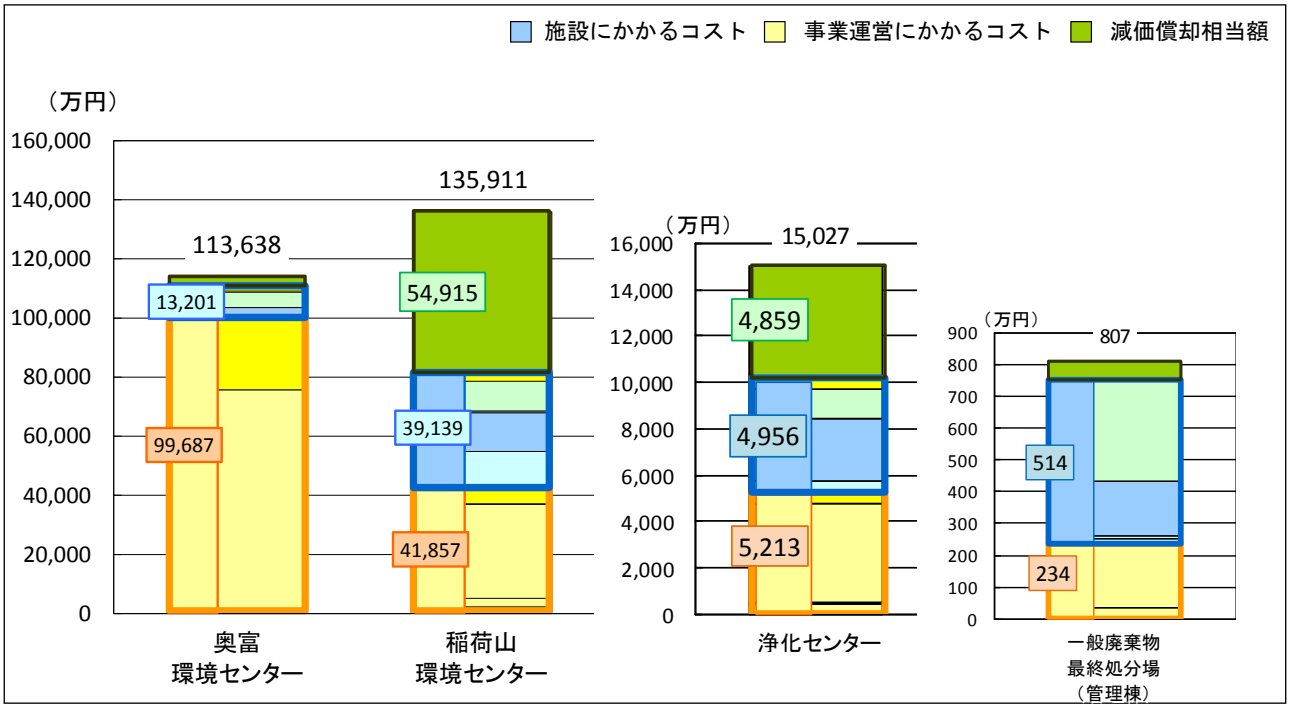
委託費は合計 11 億 729 万円で、トータルコストの約 42%を占めています。

施設別トータルコストでは、一般廃棄物最終処分場（管理棟）の 807 万円から稲荷山環境センターの 13 億 5,911 万円で、4 施設の平均は、6 億 6,346 万円となっています。

図表　供給処理施設　全施設トータルコスト（平成 26 年度）



図表　供給処理施設　施設別トータルコスト（平成 26 年度）



３）実態のまとめ

■ 建物面

- 奥富環境センターは、市民のごみ搬入が多い施設ですが、搬入路が短いため、一般道にも影響が生じることがあり、問題となっています。
- 稲荷山環境センターは、設備の長寿命化計画に基づいて改修を行っていますが、建物については計画がないため、今後、対応が必要となります。また、焼却施設は、市に１箇所のため長期停止はできないことから、将来の建替えの際には、焼却施設を稼働させながら別途新設するか、近隣市にごみの受け入れをしてもらいながら現在の施設を改修するなどの、検討が必要となっています。
- 一般廃棄物最終処分場は、築 27 年が経過しており、屋上防水、外壁改修が今後必要となります。管理棟と処理施設が一体となっているため、今後も水処理施設として必要であると考えられます。

（２５）駐車場

１）施設概要

①　施設一覧

本市では、駐車場（1 施設）、駐輪場（2 施設）の３施設を保有しています。

狭山市駅西口第１自転車駐車場は産業労働センターとの併設、狭山市駅西口第２自転車駐車場は市民交流センターとの併設となっています。

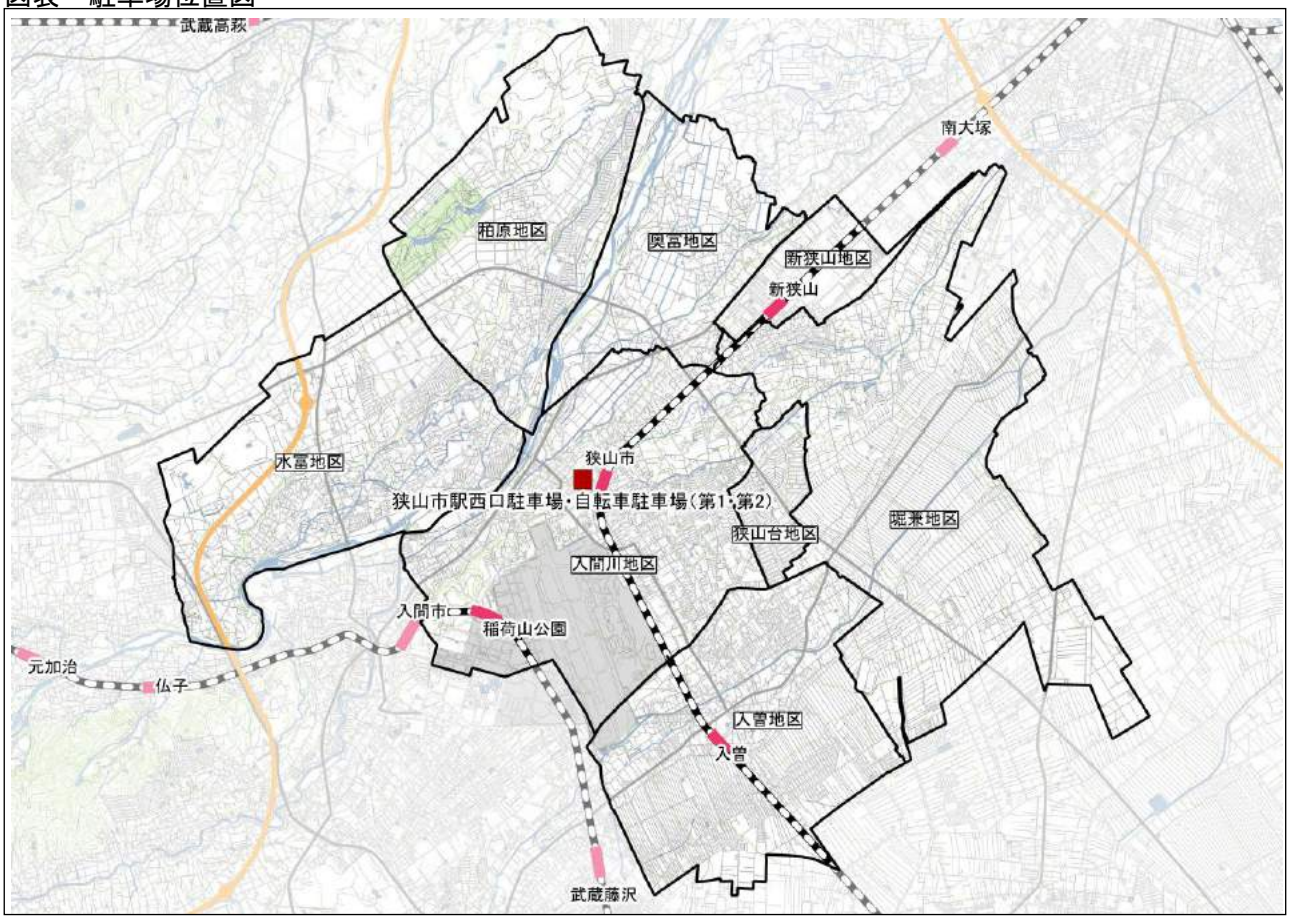
設置目的：自動車・自転車を利用する者の利便の増進を図り、もって道路交通の円滑化とまちの活性化並びに駅周辺の環境整備に寄与するため。

図表　施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積（㎡）	建築年度（年度）	構造（主たる建物）	複合・併設施設	土地所有
入間川	1 狭山市駅西口駐車場	入間川 1-3-5	4,518.66	平成22	鉄骨		市
入間川	2 狭山市駅西口第1自転車駐車場	入間川 1-3-3	2,190.81	平成22	鉄筋コンクリート	産業労働センター	市
入間川	3 狭山市駅西口第2自転車駐車場	入間川 1-3-1	663.25	平成24	鉄筋コンクリート	市民交流センター	市
合計			7,372.72				

②　配置状況

図表　駐車場位置図



③　開館時間・開館日数

名称	休日	利用時間
狭山市駅西口駐車場	年中無休	24 時間
狭山市駅西口第１自転車駐車場	年中無休	24 時間
狭山市駅西口第２自転車駐車場	年中無休	24 時間

④　事業内容

買物などを目的とする「一時利用」や、通勤・通学などの継続した「定期利用」ができます。

名称	収容台数	
狭山市駅西口駐車場	自動車　157 台 自動二輪車 10 台 原動機付自転車 19 台	定期利用 自動車 67 台 自動二輪車４台 原動機付自転車６台
狭山市駅西口第１自転車駐車場	1,050 台	定期利用 875 台
狭山市駅西口第２自転車駐車場	350 台	定期利用 131 台

⑤　利用方法・使用料金等

■　利用方法

名称	利用方法
狭山市駅西口駐車場 狭山市駅西口第１自転車駐車場 狭山市駅西口第２自転車駐車場	一時利用 入庫時に発券される駐車券を受け取り、一時利用エリアに駐車。出庫時に、駐車券にあわせ使用料を納付。 定期利用 定期券交付申請書を各施設の管理人室に直接持参し、使用料と引き換えに定期券の交付を受け、指定のエリアに駐車。

■　使用料金

狭山市駅西口駐車場（一時利用）	入庫から出庫までの時間数	金額
普通自動車	30 分まで	無料
	30 分を超え８時間まで	30 分増すごとに 100 円
	８時間を超え 24 時間まで	1,500 円
自動二輪車	１時間まで	無料
	１時間を超え 24 時間まで	400 円
原動機付自転車	１時間まで	無料
	１時間を超え 24 時間まで	300 円

狭山市駅西口駐車場（定期利用）	金額	
普通自動車	屋上階	月額１万 2,000 円
	その他の階	月額１万 5,000 円
自動二輪車	月額	6,000 円
原動機付自転車	月額	4,000 円

狭山市駅西口第１自転車駐車場 狭山市駅西口第２自転車駐車場 （一時利用）	入庫から出庫までの時間数	金額
	１時間まで	無料
	１時間を超えて 24 時間まで	150 円

（円）

狭山市駅西口自転車駐車場（定期利用）		１箇月定期		３箇月定期		６箇月定期	
		学生	一般	学生	一般	学生	一般
第１	上段	2,200	2,500	6,000	6,800	11,300	12,800
	下段	2,700	3,000	7,300	8,100	13,800	15,300
第２	上段・下段	2,700	3,000	7,300	8,100	13,800	15,300

２）実態把握

①　建物状況

■ 駐車場の建物総合評価結果

駐車場・自転車駐車場の建物状況について、「第３章 ２公共施設の建物総合評価」に基づき評価を行いました。

No.	施設名	基本情報 建築年度	基本情報 延床面積（㎡）	①耐震化 耐震診断・耐震改修	②老朽化 築年数	②老朽化 直近の大規模改修	②老朽化 築年数または直近の大規模改修後経過年数	③劣化状況 劣化問診票回答評価	④バリアフリー対応 段差なし	案内設備・案内所	エレベーター	※1 車椅子対応トイレ	障がい者用駐車場	授乳室・ベビーシート	⑤環境対応 自然エネルギー・太陽光発電の導入	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	⑥維持管理 維持管理費（千円） 光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	床面積当たり（円/㎡） 光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費
1	狭山市駅西口駐車場	平成22	4,519	－	5		5	○	○	○	○	○	○	－	―	－	×	指定管理委託料に含まれているため対象外とする					
2	狭山市駅西口第1自転車駐車場	平成22	2,191	－	5		5	○	○	－	－	－	－	－	―	－	×						
3	狭山市駅西口第2自転車駐車場	平成24	663	－	3		3	○	○	－	－	－	－	－	―	－	×						
	合計・平均		7,373																				

※1 オストメイト対応トイレ含む
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

①④⑤の凡例
○：実施済み
△：対策中
×：未実施
―：不要

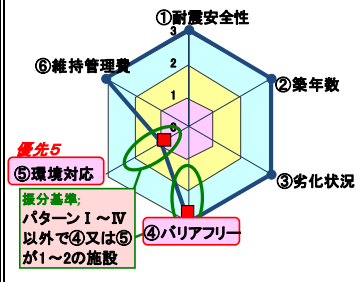
③の凡例
○：劣化がみられないもの
△：一部に劣化がみられるもの・不明
×：屋根・外壁等の重要部位に重大な劣化がみられるもの

３施設とも比較的新しい施設です。狭山市駅西口駐車場は、バリアフリー対応が完了していますが、３施設とも環境対応について、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。

評価

パターンⅤ　環境対応

・環境対応が未完了
⇒今後、環境対応が完了していない部分の整備が望まれる施設



該当施設

該当施設	建築年度
狭山市駅西口駐車場	平成22
狭山市駅西口第1自転車駐車場	平成22
狭山市駅西口第2自転車駐車場	平成24

＜３施設＞

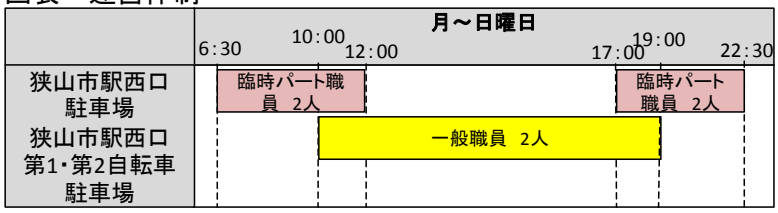
コメント

・比較的新しい施設ですが、環境対応について、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。

②　運営状況

指定管理者により３施設を一括管理しており、一般職員が 10 時から 19 時まで２人が従事しています。利用者が多い午前と夜に臨時パート職員が２人ずつ従事しています。

図表　運営体制



③　コスト状況

駐車場・自転車駐車場の年間トータルコストは、１億 5,345 万円です。年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（委託費等）は 5,598 万円（約 36%）、指定管理委託料は 5,853 万円（約 38%）、減価償却相当額は 3,892 万円（約 25%）です。

図表　施設別行政コスト計算書（平成 26 年度）　（円）

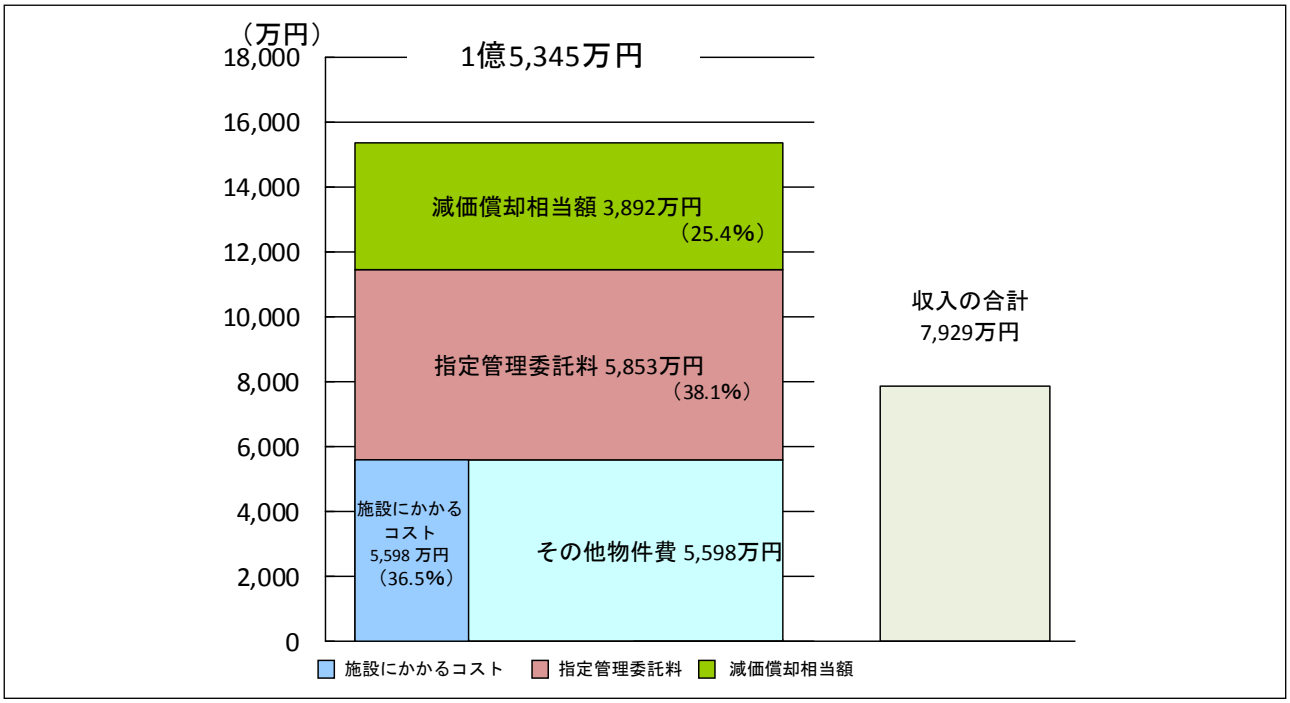
Ⅰ.現金収支を伴うもの 【コストの部】		狭山市駅西口駐車場	狭山市駅西口第1自転車駐車場	狭山市駅西口第2自転車駐車場	合計
施設にかかるコスト	その他物件費	52,579,466	2,292,207	1,112,972	55,984,645
	施設にかかるコスト	52,579,466	2,292,207	1,112,972	55,984,645
事業運営にかかるコスト	その他物件費	0	9,300	0	9,300
	事業運営にかかるコスト	0	9,300	0	9,300
指定管理委託料		23,797,096	18,602,760	16,131,970	58,531,826
現金収支を伴うコスト　計		76,376,562	20,904,267	17,244,942	114,525,771
【収入の部】					
収入	使用料収入	49,650,500	24,048,500	5,591,350	79,290,350
収入の合計		49,650,500	24,048,500	5,591,350	79,290,350
Ⅱ.現金収支を伴わないもの					
コスト	減価償却相当額	12,896,468	13,152,808	12,871,319	38,920,595
Ⅲ.総括					
コストの部合計（トータルコスト）		89,273,030	34,057,075	30,116,261	153,446,366
収支差額（ネットコスト）		39,622,530	10,008,575	24,524,911	74,156,016

※平成 27 年度から指定管理者の利用料金制を導入しています。

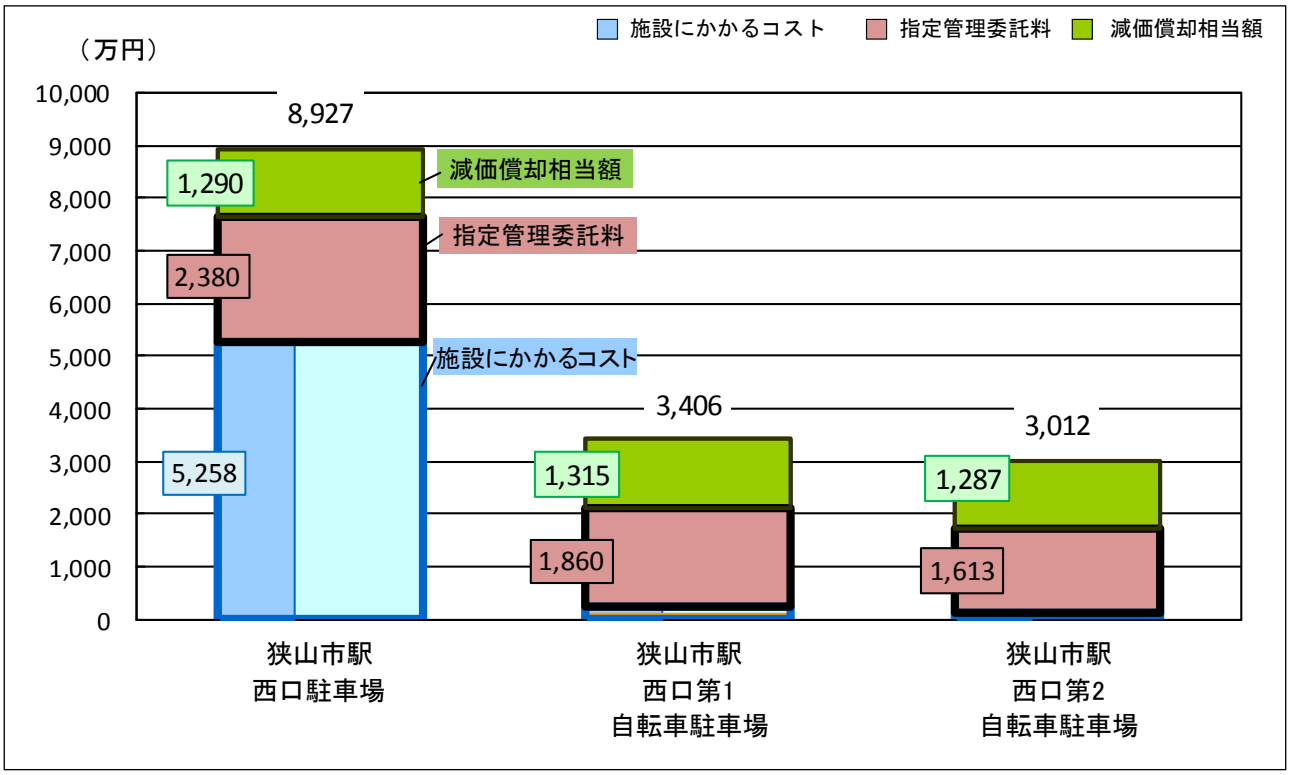
指定管理委託料は合計 5,853 万円で、トータルコストの約 38%を占めています。

施設別トータルコストでは、狭山市駅西口第２自転車駐車場の 3,012 万円から狭山市駅西口駐車場の 8,927 万円となっています。

図表　駐車場　全施設トータルコスト（平成 26 年度）



図表　駐車場　施設別トータルコスト（平成 26 年度）

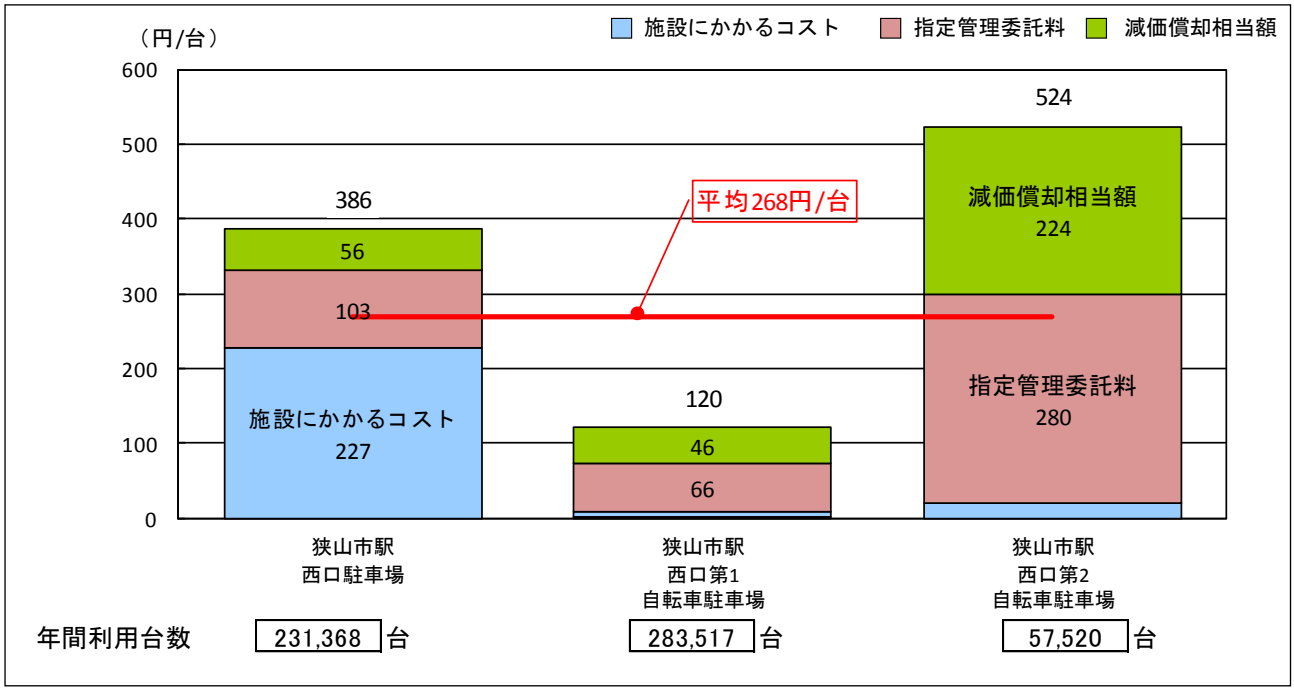


３）評価・分析

■　駐車場・自転車駐車場　利用１台当たりのコスト

年間利用台数とトータルコストから、利用１台当たりにかかるコストを算出すると、狭山市駅西口第１自転車駐車場の 120 円/台から狭山市駅西口第２自転車駐車場の 524 円/台となっています。なお、３施設の平均は 268 円/台です。

図表　施設別利用１台当たりコスト（平成 26 年度）



４）実態のまとめ

■　建物面

・　日常点検により対策済みのため、当面の建物劣化の心配はありません。

■　利用・運営面

・　自転車駐車場は置場の階が上になるほど稼働率が低くなるため、運営上の工夫が必要です。

（２６）消防・防災施設

１）施設概要

①　施設一覧

本市では、火災や地震などの災害に備え、地域の防災拠点の施設として、消防車庫を 21 施設、大型備蓄倉庫を４施設保有しています。

設置目的：

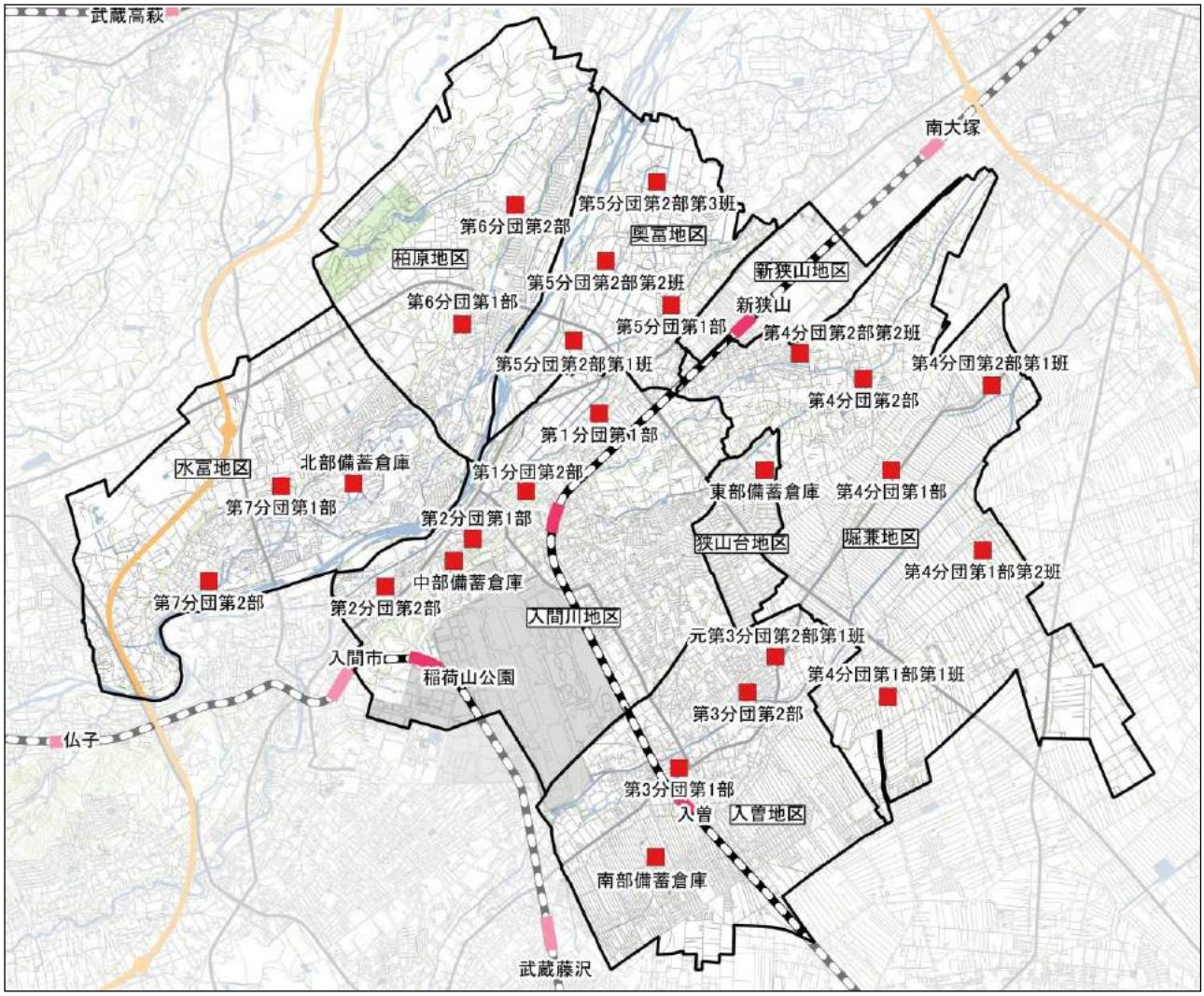
消防車庫	狭山市消防団条例及び規則に基づく消防団分団の詰所として設置
備蓄倉庫	狭山市地域防災計画に基づき、避難者等へ食料や生活必需品等を供給するための保管場所

図表　施設一覧　　※　　：築 30 年以上施設

地区	名称	所在地	延床面積（㎡）	建築年度（年度）	構造（主たる建物）	土地所有
入曽	1 元消防団第3分団第2部第1班消防車庫	北入曽 41-1	40.17	昭和52	軽量鉄骨	一部
入間川	2 消防団第1分団第1部消防車庫	狭山 574-5	56.25	昭和50	軽量鉄骨	市
入間川	3 消防団第1分団第2部消防車庫	入間川 2-2581-1	72.06	昭和51	軽量鉄骨	一部
入間川	4 消防団第2分団第1部消防車庫	入間川 3-3856-5	114.60	昭和51	軽量鉄骨	借地
入間川	5 消防団第2分団第2部消防車庫	鵜ノ木 4846-4	101.30	平成12	鉄骨	市
入曽	6 消防団第3分団第1部消防車庫	南入曽 627	110.60	平成14	鉄骨	市
入曽	7 消防団第3分団第2部消防車庫	南入曽 75-6	105.45	平成2	鉄筋コンクリート	市
堀兼	8 消防団第4分団第1部消防車庫	堀兼 361	83.75	昭和51	軽量鉄骨	市
堀兼	9 消防団第4分団第1部第1班消防車庫	堀兼 2220	36.80	昭和52	軽量鉄骨	一部
堀兼	10 消防団第4分団第1部第2班消防車庫	上赤坂 166-1	38.18	昭和52	軽量鉄骨	市
堀兼	11 消防団第4分団第2部消防車庫	青柳 475	72.50	昭和54	軽量鉄骨	借地
堀兼	12 消防団第4分団第2部第1班消防車庫	中新田 470-3	36.80	昭和52	軽量鉄骨	市
堀兼	13 消防団第4分団第2部第2班消防車庫	東三ツ木 68-4	38.18	昭和55	軽量鉄骨	借地
奥富	14 消防団第5分団第1部消防車庫	下奥富 849-2	75.12	昭和51	軽量鉄骨	市
奥富	15 消防団第5分団第2部第1班消防車庫	上奥富 855-7	104.20	平成9	鉄骨	市
奥富	16 消防団第5分団第2部第2班消防車庫	下奥富 1953-3	62.92	昭和61	鉄骨	市
奥富	17 消防団第5分団第2部第3班消防車庫	下奥富 1403	36.80	昭和52	軽量鉄骨	市
柏原	18 消防団第6分団第1部消防車庫	柏原 2675-2	82.50	昭和49	軽量鉄骨	市
柏原	19 消防団第6分団第2部消防車庫	柏原城ノ越 2358	107.70	平成16	鉄骨	市
水富	20 消防団第7分団第1部消防車庫	広瀬 2-12-19	104.20	平成8	鉄骨	市
水富	21 消防団第7分団第2部消防車庫	笹井沢口 1836-1	104.30	平成10	鉄骨	一部
狭山台	22 東部備蓄倉庫	狭山台 1-21	159.10	平成7	鉄骨	市
入間川	23 中部備蓄倉庫	入間川 4-16-4	109.11	昭和55	鉄骨	市
水富	24 北部備蓄倉庫	上広瀬 1842-7	159.00	昭和60	鉄骨	市
入曽	25 南部備蓄倉庫	水野 815-1	109.11	昭和58	鉄骨	市
合計			2,120.70			

②　配置状況

図表　消防・防災施設位置図



２）実態把握

①　建物状況

■　消防・防災施設の建物総合評価結果

消防・防災施設 25 施設の建物状況について、「第３章 ２公共施設の建物総合評価」に基づき評価を行いました。

		基本情報		①耐震化	②老朽化			③劣化状況	④バリアフリー対応						⑤環境対応			⑥維持管理					
																		維持管理費（千円）			床面積当たり（円/㎡）		
No.	施設名	建築年度	延床面積（㎡）	耐震診断・耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	劣化問診票回答評価	段差なし	案内設備・案内所	エレベーター	※1 車椅子対応トイレ	障がい者用駐車場	授乳室・ベビーシート	自然エネルギー・太陽光発電の導入	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費
1	元消防団第3分団第2部第1班消防車庫	昭和52	40	－	38		38	△	－	－	－	－	－	－	×	×	×	2,879	17	1,527	1,817	11	964
2	消防団第1分団第1部消防車庫	昭和50	56	－	40		40	△	－	－	－	－	－	－	×	×	×						
3	消防団第1分団第2部消防車庫	昭和51	72	－	39		39	△	－	－	－	－	－	－	×	×	×						
4	消防団第2分団第1部消防車庫	昭和51	115	－	39		39	△	－	－	－	－	－	－	×	×	×						
5	消防団第2分団第2部消防車庫	平成12	101	－	15		15	△	－	－	－	－	－	－	×	×	×						
6	消防団第3分団第1部消防車庫	平成14	111	－	13		13	○	－	－	－	－	－	－	×	×	×						
7	消防団第3分団第2部消防車庫	平成2	105	－	25		25	△	－	－	－	－	－	－	×	×	×						
8	消防団第4分団第1部消防車庫	昭和51	84	－	39		39	△	－	－	－	－	－	－	×	×	×						
9	消防団第4分団第1部第1班消防車庫	昭和52	37	－	38		38	△	－	－	－	－	－	－	×	×	×						
10	消防団第4分団第1部第2班消防車庫	昭和52	38	－	38		38	△	－	－	－	－	－	－	×	×	×						
11	消防団第4分団第2部消防車庫	昭和54	73	－	36		36	△	－	－	－	－	－	－	×	×	×						
12	消防団第4分団第2部第1班消防車庫	昭和52	37	－	38		38	△	－	－	－	－	－	－	×	×	×						
13	消防団第4分団第2部第2班消防車庫	昭和55	38	－	35		35	△	－	－	－	－	－	－	×	×	×						
14	消防団第5分団第1部消防車庫	昭和51	75	－	39		39	△	－	－	－	－	－	－	×	×	×						
15	消防団第5分団第2部第1班消防車庫	平成9	104	－	18		18	△	－	－	－	－	－	－	×	×	×						
16	消防団第5分団第2部第2班消防車庫	昭和61	63	－	29		29	△	－	－	－	－	－	－	×	×	×						
17	消防団第5分団第2部第3班消防車庫	昭和52	37	－	38		38	△	－	－	－	－	－	－	×	×	×						
18	消防団第6分団第1部消防車庫	昭和49	83	－	41		41	△	－	－	－	－	－	－	×	×	×						
19	消防団第6分団第2部消防車庫	平成16	108	－	11		11	△	－	－	－	－	－	－	×	×	×						
20	消防団第7分団第1部消防車庫	平成8	104	－	19		19	△	－	－	－	－	－	－	×	×	×						
21	消防団第7分団第2部消防車庫	平成10	104	－	17		17	△	－	－	－	－	－	－	×	×	×						
22	東部備蓄倉庫	平成7	159	－	20		20	×	－	－	－	－	－	－	×	×	×	50	1,068	322	94	1,992	600
23	中部備蓄倉庫	昭和55	109	－	35		35	△	－	－	－	－	－	－	×	×	×						
24	北部備蓄倉庫	昭和60	159	－	30		30	△	－	－	－	－	－	－	×	×	×						
25	南部備蓄倉庫	昭和58	109	－	32		32	△	－	－	－	－	－	－	×	×	×						
	合計・平均		2,121															2,930	1,086	1,849	1,382	512	872

※1 オストメイト対応トイレ含む
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

：床面積当たり（円/㎡）の平均値
（床面積当たりの平均値＝それぞれの費用の合計/延床面積の合計）

：平均値の1.4倍以上

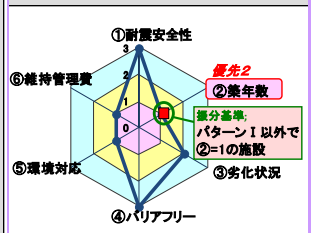
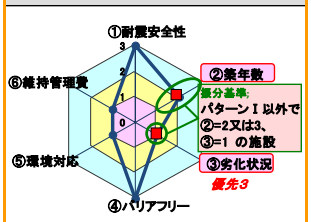
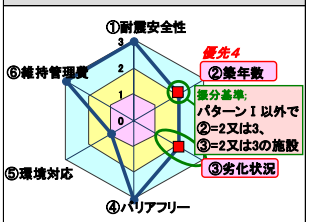
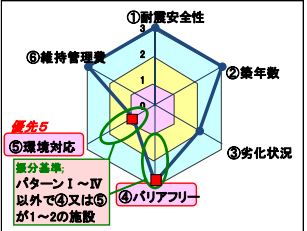
①④⑤の凡例

○ ： 実施済み
△ ： 対策中
× ： 未実施
― ： 不要

③の凡例

○ ： 劣化がみられないもの
△ ： 一部に劣化がみられるもの・不明
× ： 屋根・外壁等の重要部位に重大な劣化がみられるもの

第６分団第１部消防車庫等の 16 施設は築 30 年以上と老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。東部備蓄倉庫は外壁・屋根などの重要な部位に修繕の必要な劣化がみられ、早期の対策が必要です。消防団第３分団第２部消防車庫等の２施設は築 20 年以上を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。消防団第２分団第２部消防車庫等の６施設は環境対応について、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。

評価	パターンⅡ 老朽化	パターンⅢ 劣化対策	パターンⅣ 今後 老朽化	パターンⅤ 環境対応
	・老朽化が進行している ⇒建替え又は大規模改修 などの老朽化対策の検討が必要な施設	・重要部位に修繕の必要な劣化 ⇒早期に劣化部位の修繕・改修が必要な施設	・今後、老朽化が進行する ⇒今後老朽化対策の検討が必要になる施設	・環境対応が未完了 ⇒今後、環境対応が完了していない部分の整備が望まれる施設
				
該当施設	該当施設 / 建築年度 元消防団第3分団第2部第1班消防車庫 昭和52 消防団第1分団第1部消防車庫 昭和50 消防団第1分団第2部消防車庫 昭和51 消防団第2分団第1部消防車庫 昭和51 消防団第4分団第1部消防車庫 昭和51 消防団第4分団第1部第1班消防車庫 昭和52 消防団第4分団第1部第2班消防車庫 昭和52 消防団第4分団第2部消防車庫 昭和54 消防団第4分団第2部第1班消防車庫 昭和52 消防団第4分団第2部第2班消防車庫 昭和55 消防団第5分団第1部消防車庫 昭和51 消防団第5分団第2部第3班消防車庫 昭和52 消防団第6分団第1部消防車庫 昭和49 中部備蓄倉庫 昭和55 北部備蓄倉庫 昭和60 南部備蓄倉庫 昭和58 ＜ 16 施設 ＞	該当施設 / 建築年度 東部備蓄倉庫 平成7 ＜ 1 施設 ＞	該当施設 / 建築年度 消防団第3分団第2部消防車庫 平成2 消防団第5分団第2部第2班消防車庫 昭和61 ＜ 2 施設 ＞	該当施設 / 建築年度 消防団第2分団第2部消防車庫 平成12 消防団第3分団第1部消防車庫 平成14 消防団第5分団第2部第1班消防車庫 平成9 消防団第6分団第2部消防車庫 平成16 消防団第7分団第1部消防車庫 平成8 消防団第7分団第2部消防車庫 平成10 ＜ 6 施設 ＞
コメント	・築30年以上と老朽化がかなり進行しているので、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。	・耐震性や老朽化の面では緊急な状況にはないが、外壁・屋根などの重要な部位に修繕の必要な劣化がみられ、早期の対策が必要です。	・新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。	・比較的新しい施設ですが、環境対応について、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。

②コスト状況

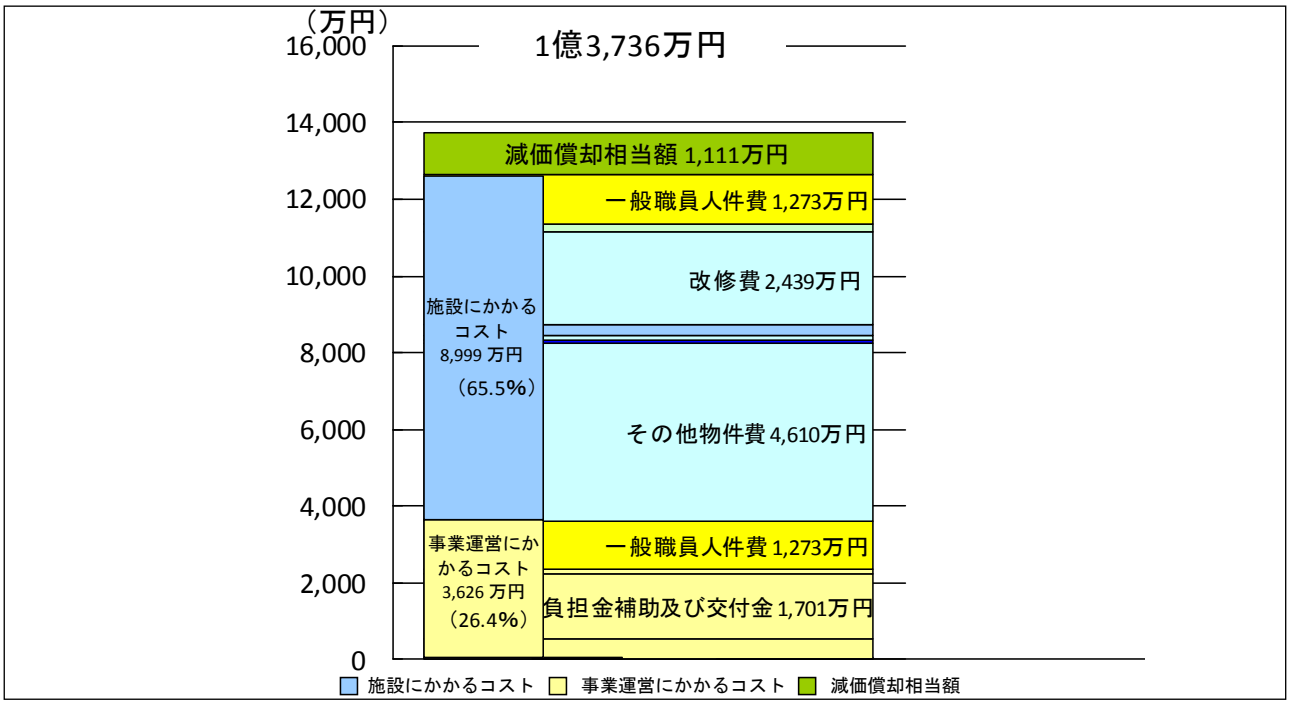
消防・防災施設の年間トータルコストは、1 億 3,736 万円です。年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（委託費等）は 8,999 万円（約 66%）、事業運営にかかるコスト（人件費等）は 3,626 万円（約 26%）、減価償却相当額は 1,111 万円（約 8%）です。

図表　施設別行政コスト計算書（平成 26 年度）

（円）

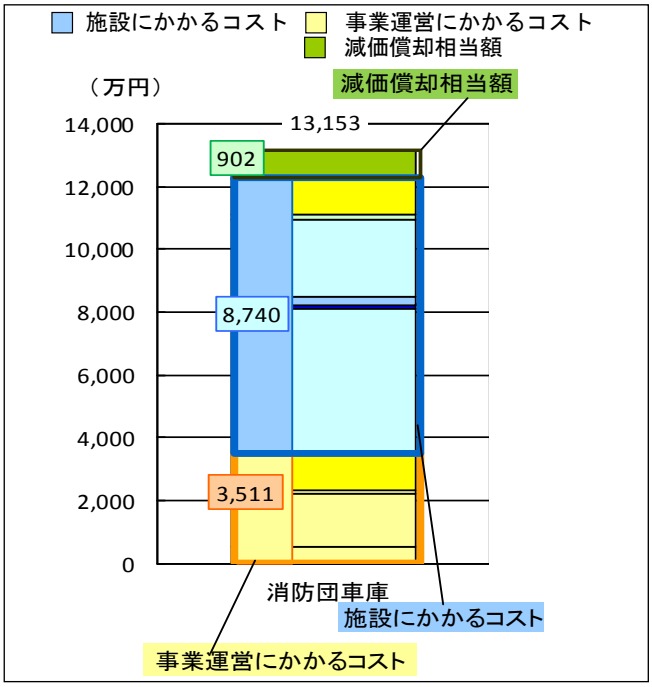
Ⅰ.現金収支を伴うもの 【コストの部】		消防団車庫	備蓄倉庫	合計
施設にかかるコスト	一般職員人件費	11,572,583	1,152,824	12,725,407
	修繕費	1,527,103	321,799	1,848,902
	改修費	24,390,180	0	24,390,180
	光熱水費	2,879,346	50,459	2,929,805
	委託費	17,280	1,068,300	1,085,580
	使用料及び賃借料	914,680	0	914,680
	その他物件費	46,099,324	0	46,099,324
	施設にかかるコスト	87,400,496	2,593,382	89,993,878
事業運営にかかるコスト	事業運営 一般職員人件費	11,572,583	1,152,824	12,725,407
	事業運営 委託費	1,097,280	0	1,097,280
	事業運営 負担金補助及び交付金	17,009,676	0	17,009,676
	事業運営 その他物件費	5,126,920	0	5,126,920
	事業運営	34,806,459	1,152,824	35,959,283
	事務・庶務 その他物件費	300,400	0	300,400
	事務・庶務	300,400	0	300,400
	事業運営にかかるコスト	35,106,859	1,152,824	36,259,683
現金収支を伴うコスト　計		122,507,356	3,746,207	126,253,563
Ⅱ.現金収支を伴わないもの				
コスト	減価償却相当額	9,017,749	2,088,549	11,106,298
Ⅲ.総括				
コストの部合計（トータルコスト）		131,525,105	5,834,756	137,359,861
収支差額（ネットコスト）		131,525,105	5,834,756	137,359,861

図表　消防・防災施設　全施設トータルコスト（平成 26 年度）

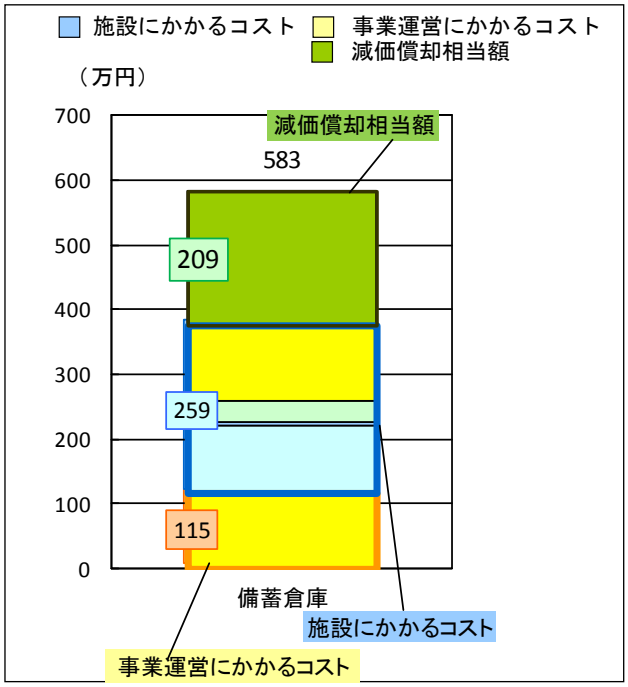


施設別トータルコストでは、消防団車庫 21 施設が 1 億 3,153 万円、備蓄倉庫が 583 万円となっています。

図表　消防団車庫トータルコスト（平成 26 年度）



図表　備蓄倉庫トータルコスト（平成 26 年度）



３）実態のまとめ

■　建物面

・　築 30 年以上経過している施設は、老朽化対策の早急な対応が必要です。

・　消防団車庫は、施設の更新時期と消防団分団の組織的な改正を合わせて検討する必要があります。

（２７）水道施設

１）施設概要

①　施設一覧

本市では、市民に安全な水を安定的に供給するための施設として、浄水場３施設、配水場３施設の６施設があり、その内、建築物については、下記の６施設を保有しています。

設置目的：安全で安心な水を安定的に供給するため。

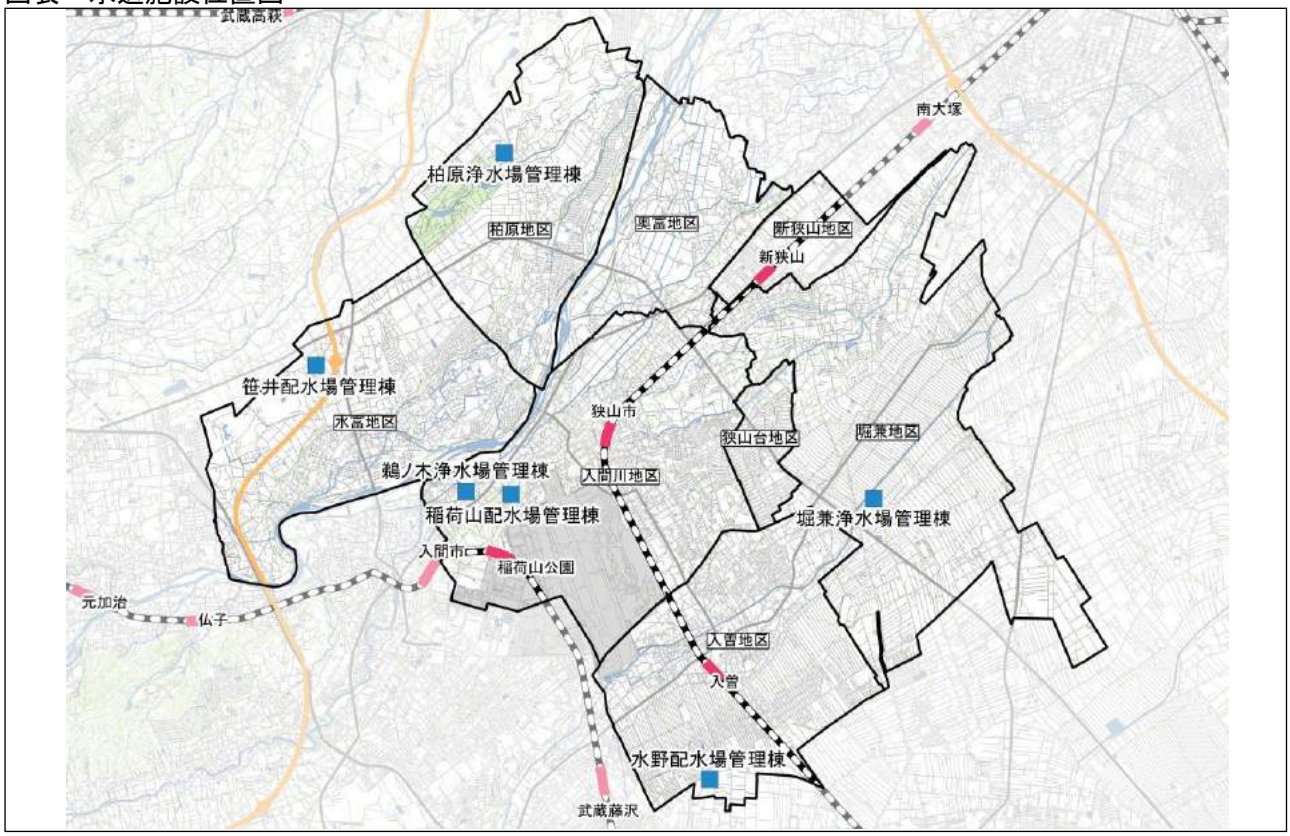
図表　施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積（㎡）	建築年度（年度）	構造（主たる建物）	土地所有	備考
入間川	1 鵜ノ木浄水場管理棟	鵜ノ木 5-3	965.70	昭和41	鉄筋コンクリート	市	
堀兼	2 堀兼浄水場管理棟	堀兼 1975-1	416.90	平成2	鉄筋コンクリート	市	
柏原	3 柏原浄水場管理棟	柏原 612-1	282.90	昭和47	鉄筋コンクリート	借地	
入間川	4 稲荷山配水場管理棟	入間川 4-14-8	226.10	昭和56	鉄筋コンクリート	市	更新工事（平成26～27年度）
入曽	5 水野配水場管理棟	南入曽 1075-1	468.60	昭和62	鉄筋コンクリート	市	
水富	6 笹井配水場管理棟	笹井 719	390.40	平成8	鉄筋コンクリート	市	
合計			2,750.60				

※ ：築 30 年以上施設

②　配置状況

図表　水道施設位置図



２）実態把握

①　建物状況

■ 水道施設の建物総合評価結果

水道施設６施設のうち建物状況について、「第３章 ２公共施設の建物総合評価」に基づき評価を行いました。

		基本情報		①耐震化	②老朽化			③劣化状況	④バリアフリー対応						⑤環境対応			⑥維持管理					
																		維持管理費（千円）			床面積当たり（円/㎡）		
No.	施設名	建築年度	延床面積（㎡）	耐震診断・耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	劣化問診票回答評価	段差なし	案内設備・案内所	エレベーター	※1 車椅子対応トイレ	障がい者用駐車場	授乳室・ベビーシート	自然エネルギー・太陽光発電の導入	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費
1	鵜ノ木浄水場管理棟	昭和41	966	－	49		49	×	－	－	－	－	－	－	×	×	×	9,381	※3 74,098	0	9,714	76,730	0
2	堀兼浄水場管理棟	平成2	417	－	25		25	○	－	－	－	－	－	－	×	×	×	7,692	2,550	0	18,446	6,115	0
3	柏原浄水場管理棟	昭和47	283	－	43		43	△	－	－	－	－	－	－	×	×	×	4,367	418	0	15,431	1,477	0
4	稲荷山配水場管理棟	昭和56	226	－	34		34	△	－	－	－	－	－	－	×	×	×	2,201	381	0	9,739	1,686	0
5	水野配水場管理棟	昭和62	469	－	28		28	△	－	－	－	－	－	－	×	×	×	6,728	2,853	0	14,345	6,083	0
6	笹井配水場管理棟	平成8	390	－	19		19	○	－	－	－	－	－	－	×	×	×	1,941	2,307	0	4,977	5,915	0
	合計・平均		2,751															32,310	82,607	0	11,747	30,032	0

※1 オストメイト対応トイレ含む
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

：床面積当たり（円/㎡）の平均値
（床面積当たりの平均値＝それぞれの費用の合計/延床面積の合計）

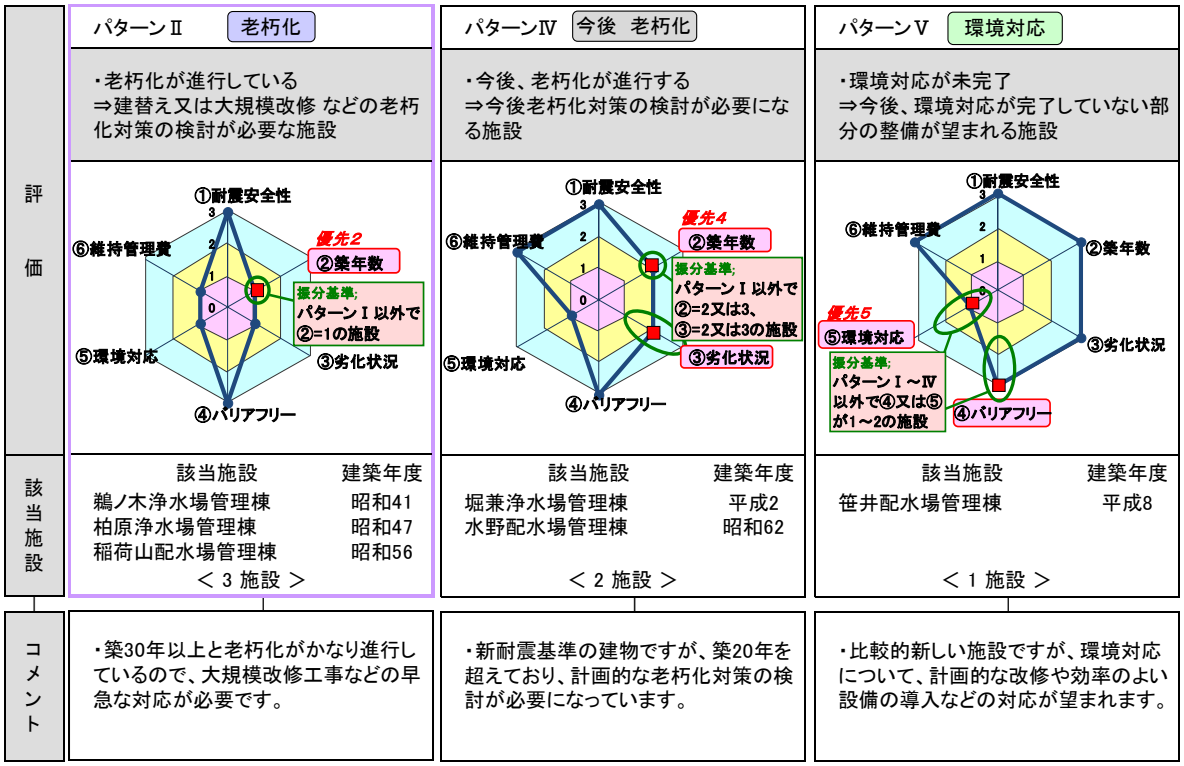
：平均値の1.4倍以上

①④⑤の凡例	
○	実施済み
△	対策中
×	未実施
―	不要

③の凡例	
○	劣化がみられないもの
△	一部に劣化がみられるもの・不明
×	屋根・外壁等の重要部位に重大な劣化がみられるもの

※3　施設運転管理委託費を含む

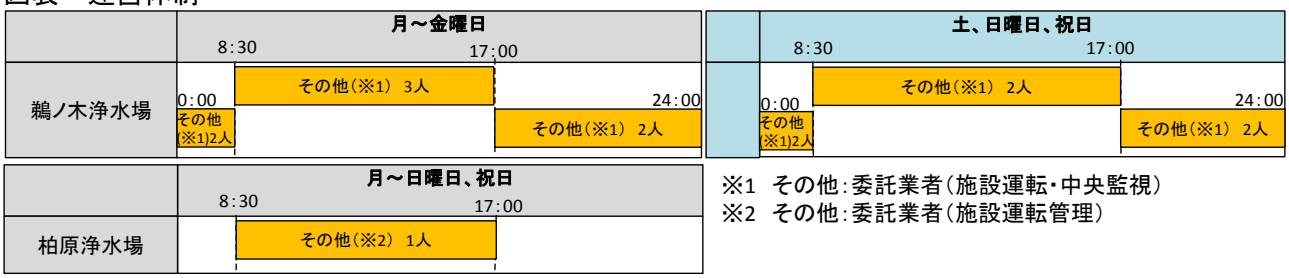
鵜ノ木浄水場管理棟等の３施設は築 30 年以上が経過しており、大規模改修工事などの早急な対応が必要になっています。堀兼浄水場管理棟、水野配水場管理棟は築 20 年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。また、環境対応が進んでいないため、計画的な改修に伴い効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。



② 運営状況

鵜ノ木浄水場と柏原浄水場は委託業者が従事しています。なお、鵜ノ木浄水場は、24 時間体制で運営しています。

図表　運営体制



※1　その他：委託業者（施設運転・中央監視）
※2　その他：委託業者（施設運転管理）

３）実態のまとめ

■ 建物面

- 今後は水需要の減少が予測される一方で、水道施設の老朽化が課題となっており、鵜ノ木浄水場管理棟をはじめとする３施設は築 30 年以上が経過しており、大規模改修工事などの早急な対応が必要になっています。
- 水道施設における建物の更新や改修は、狭山市水道ビジョン、狭山市水道事業基本計画、狭山市水道施設耐震化計画に基づき、計画的に実施していく予定となっています。

（２８）その他施設

１）施設概要

①　施設一覧

本市では、その他の施設として、事務所や管理施設など 15 施設を保有しています。

これらのうち、社会福祉協議会東口事務所は障害者基幹相談支援センターと、准看護学校・シルバー人材センターは狭山元気プラザ（さやま市民大学）と、デイサービス稲荷山はふれあい健康センターとの複合施設となっています。

設置目的

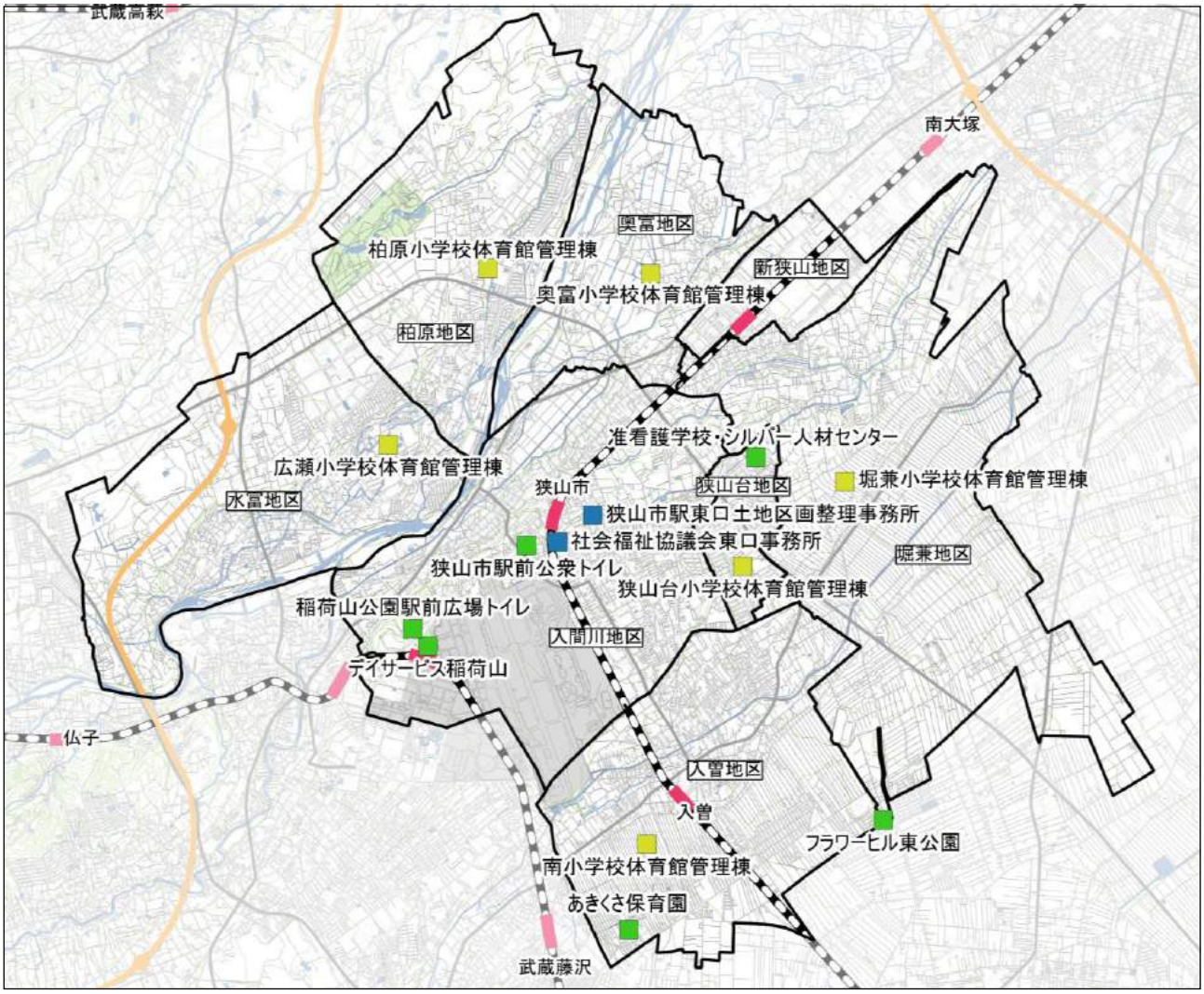
フラワーヒル東公園	憩いまたは遊び場の提供。
稲荷山公園駅前広場・狭山市駅前公衆トイレ	衛生環境の維持。
准看護学校	学校教育法及び保健師助産師看護師法に基づき、学生に対し准看護師として必要な基礎的知識・技術を教授し、地域社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。
あきくさ保育園	児童福祉法第 24 条第１項に規定する保育を必要とする児童を入所させて保育するため。
シルバー人材センター	会員が、長年培ってきた経験や能力、知恵を活かし、共に働き、共に助け合うことにより、地域のお役に立ちながら、生きがいを持つとともに魅力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする。
デイサービス稲荷山	在宅介護を目的としたデイサービス事業を行うため。
体育館管理棟	小学校の体育館を開放事業により利用する市民の利便性向上のため。

図表　施設一覧　　※　　：築 30 年以上施設

用途	地区	名称	所在地	延床面積（㎡）	建築年度（年度）	構造（主たる建物）	複合・併設施設	土地所有
事務所	入間川	1 社会福祉協議会東口事務所	富士見 1-1-11	117.58	平成18	鉄骨	障害者基幹相談支援センター	市
	入間川	2 狭山市駅東口土地区画整理事務所	祇園 10-1	526.98	昭和46	鉄筋コンクリート		市
管理施設	入曽	3 南小学校　体育館管理棟	水野 815-1	159.00	昭和53	コンクリートブロック		市
	堀兼	4 堀兼小学校　体育館管理棟	堀兼 1234	105.00	昭和56	鉄筋コンクリート		市
	奥富	5 奥富小学校　体育館管理棟	下奥富 1019	159.00	昭和53	コンクリートブロック		市
	狭山台	6 狭山台小学校　体育館管理棟	狭山台 4-25	110.00	昭和50	鉄筋コンクリート		市
	柏原	7 柏原小学校　体育館管理棟	柏原 1141	110.00	昭和55	鉄筋コンクリート		市
	水富	8 広瀬小学校　体育館管理棟	広瀬東 4-4-1	105.00	昭和57	鉄筋コンクリート		市
その他	堀兼	9 フラワーヒル東公園	加佐志 546-13	177.00	平成12	木		市
	入間川	10 稲荷山公園駅前広場トイレ	稲荷山 1-7	47.00	昭和63	鉄筋コンクリート		借地
	入間川	11 狭山市駅前公衆トイレ	入間川 1-3414-13ほか	48.87	平成24	鉄筋コンクリート・鉄骨		借地
	狭山台	12 准看護学校	狭山台 1-21	1,925.91	昭和55	鉄筋コンクリート	狭山元気プラザ（さやま市民大学）	市
	入曽	13 あきくさ保育園	水野 1246-7	766.00	昭和52	鉄筋コンクリート		市
	狭山台	14 シルバー人材センター	狭山台 1-21	451.38	昭和49	鉄筋コンクリート	狭山元気プラザ（さやま市民大学）	市
	入間川	15 デイサービス稲荷山	稲荷山 1-12-3	291.81	平成9	鉄筋コンクリート	ふれあい健康センター	市
	合計			5,100.53				

②　配置状況

図表　その他施設位置図



２）実態把握

①　建物状況

■ その他施設の建物総合評価結果

その他施設 15 施設の建物状況について、「第３章 ２公共施設の建物総合評価」に基づき評価を行いました。

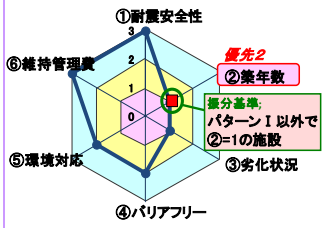
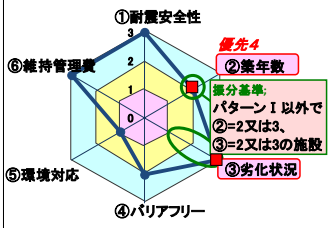
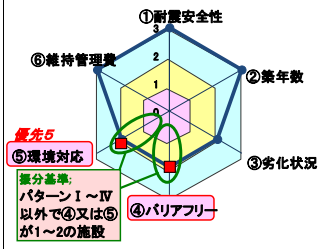
			基本情報		①耐震化	②老朽化			③劣化状況	④バリアフリー対応						⑤環境対応		
用途	No.	施設名	建築年度	延床面積（㎡）	耐震診断・耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	劣化問診票回答評価	段差なし	案内設備・案内所	エレベーター	※1 車椅子対応トイレ	障がい者用駐車場	授乳室・ベビーシート	自然エネルギー・太陽光発電の導入	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2
事務所	1	社会福祉協議会東口事務所	平成18	118	－	9		9	△	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	2	狭山市駅東口土地区画整理事務所	昭和46	527	－	44		44	対象外	×	×	×	×	×	×	×	×	×
管理施設	3	南小学校　体育館管理棟	昭和53	159	－	37		37	対象外	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	4	堀兼小学校　体育館管理棟	昭和56	105	－	34		34	対象外	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	5	奥富小学校　体育館管理棟	昭和53	159	－	37		37	対象外	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	6	狭山台小学校　体育館管理棟	昭和50	110	－	40		40	対象外	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	7	柏原小学校　体育館管理棟	昭和55	110	－	35		35	対象外	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	8	広瀬小学校　体育館管理棟	昭和57	105	－	33		33	対象外	×	×	×	×	×	×	×	×	×
その他施設	9	フラワーヒル東公園	平成12	177	－	15		15	対象外	○	×	×	×	×	×	×	×	×
	10	稲荷山公園駅前広場トイレ	昭和63	47	－	27		27	対象外	○	×	×	○	×	×	×	×	○
	11	狭山市駅前公衆トイレ	平成24	49	－	3		3	対象外	○	○	－	○	－	○	×	×	○
	12	准看護学校	昭和55	1,926	○	35		35	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×
	13	あきくさ保育園	昭和52	766	－	38		38	**対象外**	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	14	シルバー人材センター	昭和49	451	○	41		41	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×
	15	デイサービス稲荷山	平成9	292	－	18		18	△	○	○	○	○	○	×	○	×	○
		合計・平均		5,101														

※1 オストメイト対応トイレ含む
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

①④⑤の凡例	
○	実施済み
△	対策中
×	未実施
―	不要

③の凡例	
○	劣化がみられないもの
△	一部に劣化がみられるもの・不明
×	屋根・外壁等の重要部位に重大な劣化がみられるもの

狭山市駅東口土地区画整理事務所等の 10 施設は、築 30 年以上と老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。稲荷山公園駅前広場トイレは、築 20 年以上を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。社会福祉協議会東口事務所等 4 施設は、バリアフリーや環境対応について、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。

	パターンⅡ 老朽化	パターンⅣ 今後 老朽化	パターンⅤ バリアフリー・環境対応
評価	・老朽化が進行している ⇒建替え又は大規模改修 などの老朽化対策の検討が必要な施設	・今後、老朽化が進行する ⇒今後老朽化対策の検討が必要になる施設	・バリアフリー、環境対応が未完了 ⇒今後、バリアフリーや環境対応が完了していない部分の整備が望まれる施設
			
該当施設	該当施設 / 建築年度 狭山市駅東口土地区画整理事務所 昭和46 南小学校 体育館管理棟 昭和53 堀兼小学校 体育館管理棟 昭和56 奥富小学校 体育館管理棟 昭和53 狭山台小学校 体育館管理棟 昭和50 柏原小学校 体育館管理棟 昭和55 広瀬小学校 体育館管理棟 昭和57 准看護学校 昭和55 あきくさ保育園 昭和52 シルバー人材センター 昭和49 ＜ 10 施設 ＞	該当施設 / 建築年度 稲荷山公園駅前広場トイレ 昭和63 ＜ 1 施設 ＞	該当施設 / 建築年度 社会福祉協議会東口事務所 平成18 フラワーヒル東公園 平成12 狭山市駅前公衆トイレ 平成24 デイサービス稲荷山 平成9 ＜ 4 施設 ＞
コメント	・築30年以上と老朽化がかなり進行しているので、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。	・新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。	・比較的新しい施設ですが、バリアフリーや環境対応について、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。

② 運営状況

社会福祉協議会東口事務所は一般職員が 1 人従事しています。

東口区画整理事務所は一般職員が同じ時間帯で 8 人、臨時職員 9 時から 15 時で 1 人が従事しています。

図表　運営体制

３）実態のまとめ

■ 建物面

- 社会福祉協議会東口事務所は、社会福祉会館の事務スペースが狭隘したために設けた別館であり、将来的には機能集約が必要です。
- 狭山市駅東口土地区画整理事務所は、平成 29 年度をもって閉鎖し、本庁舎内に移転する予定となっています。移転後の跡地利用についての明確な方針が定まっていないため、検討が必要です。
- 学校体育館管理棟は、利用の実態は、多くが開放体育館利用者の用具置き場となっており、整備当初の目的に沿った施設とはなっておらず、今後の施設のあり方について検討する必要があります。
- フラワーヒル東公園は、公園管理施設としての位置付けではありますが、都市公園の区域外に立地しており、将来の維持・更新の計画のなかでは、施設の性格や位置付け等について柔軟に検討する必要があります。
- 稲荷山公園駅前広場や狭山市駅前公衆のトイレでは、利用者のマナーの向上が課題となっています。
- あきくさ保育園は、建物の無償貸与期間が平成 29 年３月末で満了するため、契約更新に当たり、土地を含め、契約内容を検討する必要があります。
- 准看護学校、シルバー人材センターは、協働自治推進課が行政財産の目的外使用許可をしている施設であり、狭山元気プラザ内の施設であるため、狭山元気プラザの将来の計画に合わせていく必要があります。

（２９）未利用地

市が保有する土地財産のうち、今後の利用が定まっていない、いわゆる未利用地は 29 ヶ所、約 4.8 万㎡あります。

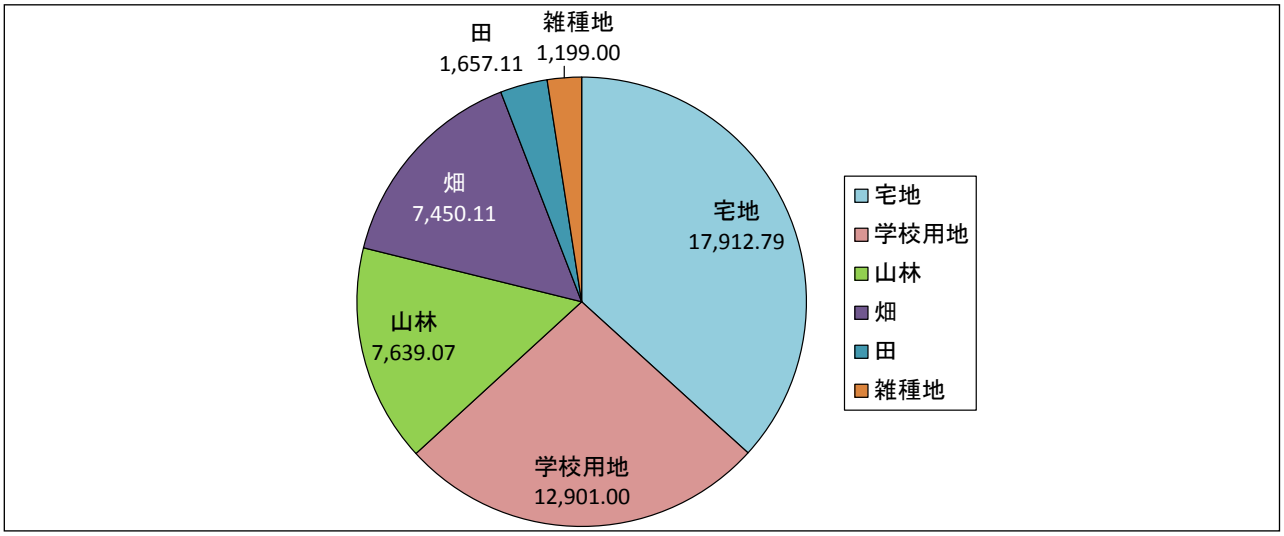
図表　未利用地（普通財産）一覧

地区	番　号	所　　在　　地	地　目	地　　積(㎡)
入間川	1	入間川3181-1ほか1筆	山　林	4,854.00
入間川	2	入間川1丁目3273-158	畑	165.00
入間川	3	入間川1丁目3374-2ほか3筆	山　林	11.07
			畑	2,371.34
入間川	4	入間川1丁目3442-2	宅　地	567.45
入間川	5	入間川1丁目3507-11	宅　地	203.86
入間川	6	入間川2丁目2631-11	宅　地	278.09
入間川	7	鵜ノ木4689-3ほか1筆	宅　地	499.75
入間川	8	稲荷山1丁目10-1	宅　地	592.55
入間川	9	富士見1丁目3025-1	畑	1,439.00
入間川	10	富士見1丁目3360-1ほか1筆	宅　地	1,770.11
入曽	11	南入曽877-5ほか3筆	雑種地	1,199.00
堀兼	12	中新田128ほか1筆	山　林	2,297.00
奥富	13	下奥富上610-29	宅　地	248.96
奥富	14	下奥富1810-2	宅　地	247.96
柏原	15	柏原736-2	山　林	477.00
柏原	16	柏原2520-28ほか2筆	畑	2,024.77
水富	17	広瀬台1丁目32-5	宅　地	250.88
水富	18	広瀬1丁目28-4	宅　地	270.25
水富	19	広瀬2丁目1842-7ほか2筆	宅　地	155.52
			田	1,657.11
水富	20	広瀬東1丁目2141-40	畑	1,450.00
水富	21	広瀬東4丁目43-33	宅　地	179.48
水富	22	根岸1丁目157-4	宅　地	47.29
狭山台	23	狭山台2丁目2-2ほか2筆	宅　地	335.01
狭山台	24	狭山台2丁目4-4ほか3筆	宅　地	734.48
合　　計				24,326.93

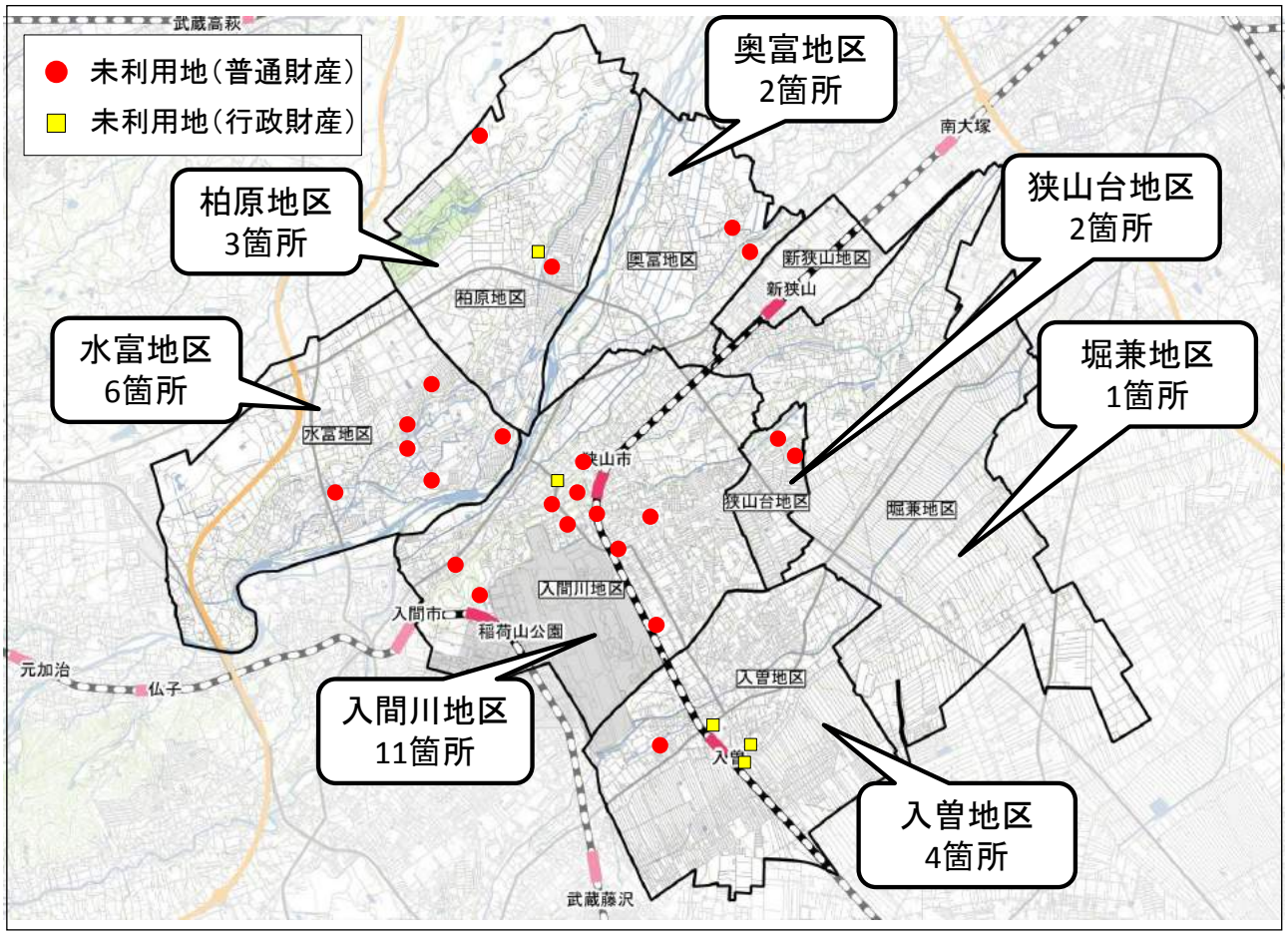
図表　未利用地（行政財産）一覧

地区	番　号	所　　在　　地	地　目	地　　積(㎡)
入間川	1	入間川3丁目3444-8ほか3筆	宅 地	5,608.29
入曽	2	南入曽427-1ほか1筆	宅 地	969.92
入曽	3	南入曽540-1ほか1筆	学校用地	12,901.00
入曽	4	水野452-1ほか1筆	宅 地	1,378.00
柏原	5	柏原2520－31ほか5筆	宅 地	3,574.94
		合　　計		24,432.15

図表　地目別地積　　（㎡）



図表　未利用地位置図



■　実態のまとめ

・　厳しい財政状況の中では、未利用地も貴重な財産であるため、財源確保や施設更新時の代替地等、有効活用していく必要があります。